平成３０年度

年 次 報 告 書

公益財団法人　ヤマト福祉財団

目　　次

1．平成 30 年度事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
平成 30 年度中に実施した助成事業
Ⅰ．障がい者に対する奨学金の支給
Ⅱ．ジャンプアップ助成金
Ⅲ．ステップアップ助成金
Ⅳ．障がい者福祉助成金
平成 30 年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム実施報告
平成 30 年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告
新堂塾 3 期、楠元塾 2 期活動報告
卒業者へのサポート
経済的自立力達成事業所紹介サイト「夢へのかけ橋」報告
ネパール小児白内障治療プロジェクトの報告
自然栽培パーティ第 3 回全国フォーラム
復興・再生支援事業
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』進捗状況
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』参入施設一覧
平成 30 年度「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表

2．平成 30 年度収支決算報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
賃借対照表
正味財産増減計算書
正味財産増減計算書内訳表
財務諸表に対する注記
財産目録
附属明細書
平成 30 年度事業報告　附属明細書
収支決算書
監査報告書

3．平成 30 年度寄付金寄贈者名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
賛助会員数一覧

4．役員名簿

5．2019 年度事業計画書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
同　　収支予算書
資金調達及び設備投資の見込みについて

１．平成 30 年度事業報告書

平成30年度事業報告書

（自・平成30年４月１日 ～ 至・平成31年３月31日）

1. 庶務事項

（1）財団設立年月日　平成5年9月10日

（2）基本財産

投資有価証券

ヤマトホールディングス株式会社（株式）

3,554,500株　10,162百万円

（3）役員等

①理事長	１名
②理事	８名
③監事	２名
④評議員	８名
⑤福祉助成金選考委員	５名
⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員	５名

（4）賛助会員

個人会員	71,080人

（5）事務局

①常務理事	１名
②事務局長	１名
③職員	２名

2. 事業報告

主な活動のひとつである「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」は、講座や事例報告、シンポジウムを交えて開催し、福岡、東京、札幌、大阪の４ヵ所に加えて沖縄でも開催しました。また、今期で6年目に入った「夢へのかけ橋」実践塾は、封入・封緘サービス塾と弁当・配食サービス塾の2塾15名が障がい者の経済的自立力向上のため実践を行いました。

栽培指導者を派遣する無農薬・無肥料の自然栽培の検証プロジェクトは、「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」発足3年となり、3月末現在、103ヵ所の福祉施設や販売店が加入しています。また、ヤマト運輸（株）の協力を得て実施している「障がい者のクロネコDM便配達事業」は、全国320事業所で1,675名が従事し、社会福祉法人ヤマト自立センターは、平成31年3月までに事業開始累計180名の一般就労実績となっています。また、9月8日に発生した北海道胆振東部地震においては、現地の被災施設を調査し、施設3ヵ所に助成金8,973,200円を贈呈しました。

（公1）助成事業

①奨学金支給

平成30年3月1日から4月13日まで応募書類請求期間、同年4月23日から5月18日を申請期間とし58名の応募がありました。選考委員会で16名を選考追加して、40名の奨学生に奨学金を提供しています。

平成30年度奨学金選考委員会

平成30年6月14日（木）14：00－16：00　ヤマト銀座ビル７Ｆ第5会議室にて開催
選考追加された奨学生16名は以下の通りです。

氏名	学年	在学大学	在学学部学科
渡辺　麻姫	1	首都大学東京	健康福祉学部理学療法学科
杉崎　雄大	1	筑波技術大学	保健科学部情報システム学科
遠藤　実希	5	摂南大学	薬学部薬学科
藤原　歩未	2	島根大学	人間科学部人間科学科
杉浦　有紀	2	金城学院大学	人間科学部現代子ども学科
奈良場　春輝	2	筑波大学	人文･文化学群人文学類
板　　隆史	2	京都府立大学	公共政策学部福祉社会学科
池内　風香	1	東京農業大学	地域環境科学部森林総合科学科
濱田　この実	1	武蔵野美術大学	造形学部油絵学科
高橋　慧	2	桜美林大学	グローバルコミュニケーション学群特別英語専修
川里　茅礼	2	園田学園女子大学	人間健康学部総合健康学科
有吉　愛知	3	専修大学	商学部会計学科
黒岩　晃	1	国際医療福祉大学	福岡保健医療学部医学検査学科
三浦　良介	1	広島大学	総合科学部総合科学科
石黒　舞	1	東京農業大学	地域環境科学部森林総合科学科
鳴瀬　未来	3	筑波技術大学	保健科学部保健科学科

②助成金

今年度も、昨年に引き続き助成金事業を障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額助成金」と一般的な福祉助成金の２つに分け、「障がい者給料増額助成金」の中に、ジャンプアップ助成金（定額500万円）･ステップアップ助成金（上限200万円）の2種の助成金を設定しました。平成29年10月1日から11月30日までを公募期間として174件の応募があり、平成30年3月12日に選考委員会を実施、同年4月から6月にかけて支部毎にヤマト運輸（株）の協力を得ながら贈呈式を行いました。

助　成　部　門	応募	決定	助成金額
①ジャンプアップ助成金（定額500万円）	33件	8件	40,000千円
②ステップアップ助成金（上限200万円）	55件	18件	30,460千円
小　　計	88件	26件	70,460千円
③福祉助成金（会議・出版・文化・スポーツ）	86件	11件	9,340千円
合　　計	174件	37件	79,800千円

※助成先一覧　9～15ページ

（公2）研修・育成事業

①セミナー事業「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」

対象者を施設職員から障がい者の働く場に関心のある方とし、日帰り形式の研修を実施した。全国5ヵ所で649名が参加し、これまでのセミナー受講者と合わせ累計10,931名となりました。

開催地	会場	開催日	参加人数
前年までの累計			10,282
福岡	エルガーラホール	7月13日	189
東京	全社協・灘尾ホール	7月27日	161
札幌	ACU-A　SAPPORO 16F	8月 3日	79
大阪	マイドームおおさか	8月24日	146
沖縄	沖縄コンベンションセンター	10月26日	74
合　　計			649
本年累計			10,931

②雇用・促進事業

「障がい者によるクロネコDM便配達事業」は、全国320事業所で1,675人の障がい者が配達を行っています。また、社会福祉法人ヤマト自立センターのスワン工舎新座・スワン工舎羽田の就労移行支援事業では、今期19名累計180名が一般就労しました。平成23年に立ち上げた就業・生活支援事業では今期は42名の登録者に対して就労支援・就労先での定着支援・金銭管理や一人暮らしなどの生活支援を行い、実習61名、就業者36名の実績をあげました。また、就労につながった方々との結びつきを図るため第11回スワン工舎卒業者の集いを開催しました。

③育成プロジェクト

小倉昌男賞受賞者によるプロジェクトとして平成22年より始まった受賞者リーダープロジェクト「夢へのかけ橋実践塾」は、本年度 新堂薫氏（第9回受賞者）を塾長とする塾が9月末に2年間の研修期間を満了し8名の修了者を送り出しました。また、楠元洋子氏（第13回受賞者）を塾長とした弁当・配食サービス塾では3月末現在7名が在籍して半年に一度の間隔で実践塾を開催し、ＰＤＣＡサイクルを回しています。また、塾生が申請して活用する事業改革モデル化資金については、塾長による書類審査を経て決裁し、事業改革モデルづくりを行っています。また、水稲自然栽培検証プロジェクトは、11月23日・11月24日に福岡市で第3回自然栽培パーティ全国フォーラムを開催、3月末現在103施設が会員登録しています。

（公3）表彰事業

障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、本年もヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。7月1日から9月15日まで公募を行い、10月22日の選考委員会で、東京都豊島区の上野容子氏と大分県大分市の村上和子氏に受賞が決定しました。また、贈呈式は12月6日に一般社団法人日本工業倶楽部にて、各界の方々やヤマトグループ役員、ヤマトグループ企業労働組合連合会役員をお迎えし開催いたしました。

（公4）広報・啓発等事業

①広報事業

◆ヤマト福祉財団News

ヤマト福祉財団ニュースを第58号から第61号まで年４回発行し「コラボメール便」としてヤマトグループ健康保険組合と共同で社員自宅まで配布しました。また、一般購読希望者859名と福祉施設作業所4,356ヵ所に無料配布を行いました。助成先や奨学生のレポートに加えて、パワーアップフォーラム、ヤマト福祉財団小倉昌男賞など財団主催の行事、実践塾やクロネコDM便配達の報告を行っています。

◆事業モデル別実践事例サイトの運用

小倉昌男賞や助成金の事例、実践塾の成果を資料化して福祉施設の経営者が施設の利用者増や工賃向上に役立つビジネスモデルを参照できる「経済的自立力達成事業所紹介サイト　夢へのかけ橋」をインターネット上に公開しています。このサイトでは、障害基礎年金と合わせて、年収112万円の貧困線を超えることのできる工賃3万円を超えた事業所を経済的自立力達成事業所として紹介しています。本年4事業所を追加し31事業所の実践事例を参照することができます。

②啓発事業

11月13日、周南市徳山駅前賑わい交流施設で、山口県周南市の「さわやか工房」と山口県光市の「しあわせ」が共同で障がい者本人によるクロネコDM便特別報告会を開催し、50名の出席者の前で4名のクロネコメイトさんが発表しました。また、長崎県長崎市の「コリアンダーの家」は、11月21日に法人の20周年記念イベントとして、クロネコDM便特別報告会を開催し104名の出席者の前で7名のクロネコメイトさんが発表しました。

③その他

◆全Ａネットによる「良き就労継続支援Ａ型事業所の拡大支援事業」

全国のA型事業所の経営の健全化をはかり、働く障がいのある人のディーセントワークの実現を進めるため、NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会（全Ａネット）が行うA型好事例集の作成に助成しました。また、パワーアップフォーラム札幌会場ではA型事業所の経営をテーマに取り上げて、好事例報告も行いました。次年度では、この好事例集の配布を行い、優良事業所を育てるための研修につないでいくこととしています。

◆日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業

「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するＮＧＯパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートしました。

◆ネパール小児白内障治療プロジェクトに対する協力事業

第17回ヤマト福祉財団小倉昌男賞を受賞した竹内昌彦氏が立ち上げた基金と共同で立ち上げたネパールで貧困のため治療を諦めている小児白内障患者の治療プロジェクトについて、本年度は、12月に現地郊外の小学校２校において眼科検診による要治療者スクリーニングを実施しました。当日は、ヤマトグループ社員の協力により集まった文具を全校生徒に配布しています。2月には現地で見つかった斜視児童３名をカトマンズの病院で手術しました。また、NPO法人日本ネパール女性教育協会が育成したネパール女性教員のネットワークから要治療児童の存在情報が集まりはじめており、必要に応じて治療を進めていく予定となっています。

◆きょうされん40周年記念映画製作に係る製作費助成

東日本大震災の教訓を映画化し、現在も続く被災地の作業所の苦悩や不安への最大の支援「震災を忘れまい」を後押しするため、製作費の助成を行いました。次年度に各地で上映会が開催される予定となっています。

◆パラリンピック開催への協力

1月6日、ヤマトホールディングス（株）の協力のもと愛知県名古屋市で行われていた日本車いすバスケットボール女子強化指定選手の合宿にて、生産を担った障がい者２名を招いて自然栽培パーティが育てた米でできたおにぎりとイチゴを差し入れしました。次年度もパラリンピックに向けて支援活動を行っていきます。

（公5）復興・再生支援事業

平成30年9月6日に発生した胆振東部地震で被災した障がい者施設の復興再生を支援するための緊急助成として、まず、平成30年11月19日付にて、特定非営利活動法人自立支援センター歩歩路（札幌市東区）に300万円を倒壊したグループホームの移転再建費用の一部として助成しました。次に平成31年2月21日付にて、厚真町にある社会福祉法人厚真福祉会の仮設入所施設に対して入浴用電動昇降ストレッチャー２組300万円とむかわ町にある社会福祉法人愛誠会の移転グループホームの照明・暖房器具や就労施設のしいたけ栽培自動散水システムの復旧費用297万3200円を助成しました。胆振東部地震に関する復興・再生支援事業は合計3件総額897万3200円となりました。

■ 賛助会員の状況

当財団の母体であるヤマトホールディングス（株）とそのグループ会社で組織する賛助会員数は71,080人となっています。

平成30年度中に実施した助成事業

Ⅰ．障がい者に対する奨学金の支給

■ 障がい者大学生 40名

	大学名	学 年	氏 名
1	摂南大学	5年生	遠藤　実希
2	慶応義塾大学	4年生	後藤　佑季
3	筑波技術大学	4年生	東丸　円香
4	日本社会事業大学	4年生	阿部　里南
5	長崎大学	4年生	鬼丸　禎史
6	筑波技術大学	4年生	青山　舜
7	東洋大学	4年生	山崎　雄世
8	東京大学	4年生	植田　健人
9	城西大学	4年生	藤田　裕大
10	立教大学	4年生	網本万里奈
11	国際基督教大学	4年生	大下　歩
12	慶応義塾大学	3年生	池田ブライアン雅貴
13	京都大学	3年生	油田　優衣
14	九州大学	3年生	坂井　法仁
15	聖隷クリストファー大学	3年生	長谷　果林
16	大東文化大学	3年生	八尾　陽夏
17	北海道教育大学	3年生	碓井　琴音
18	筑波大学	3年生	高橋利恵子
19	芝浦工業大学	3年生	スーヅーシャン
20	東京工科大学	3年生	河内　勇樹

	大学名	学 年	氏 名
21	筑波技術大学	3年生	鳴瀬　未来
22	専修大学	3年生	有吉　愛知
23	宮城大学	2年生	幸谷　圭都
24	東京大学	2年生	杉本　優太
25	兵庫県立大学	2年生	永瀬　紗織
26	県立広島大学	2年生	多留　陽葉
27	島根大学	2年生	松崎　桃佳
28	筑波大学	2年生	奈良場春輝
29	桜美林大学	2年生	高橋　慧
30	金城学院大学	2年生	杉浦　有紀
31	京都府立大学	2年生	板　　隆史
32	園田学園女子大学	2年生	川里　茅礼
33	島根大学	2年生	藤原　歩未
34	筑波技術大学	1年生	杉崎　雄大
35	首都大学東京	1年生	渡辺　麻姫
36	東京農業大学	1年生	池内　風香
37	東京農業大学	1年生	石黒　舞
38	武蔵野美術大学	1年生	濱田この実
39	広島大学	1年生	三浦　良介
40	国際医療福祉大学	1年生	黒岩　晃

Ⅱ. ジャンプアップ助成金

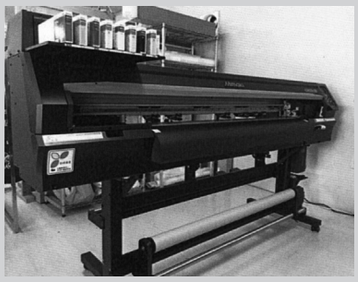
助成先	助成対象事業の内容および助成額

1

北海道旭川市

就労継続支援施設
チーム紅蓮

◇就労継続支援A型



■ 刺繍ミシン・UVプリンター・自動プレス機等の導入
■ 助成金　5,000,000円

「障がい当事者による、障がい者の自立就労サポート」を掲げるチーム紅蓮は、旭川市で多岐にわたる「地域の共創事業」を展開。プリント・クラフト事業では、Tシャツや横断幕等の制作を手がけてきました。お客さまの要望に応えるため、助成によりさまざまな素材に対応するカラープリンターや、刺繍ミシン、屋外対応の応援幕やプレートを制作できる機械を整備しました。これにより売上増を図り、働きたい障がい者の仲間を増やしていきます。

2

北海道北斗市

はあと

◇就労継続支援B型

■ 作業棟エレベーター・エアコン新設工事資金
■ 助成金　5,000,000円

函館市内ホテルから出るタオルなどのクリーニング事業が好調な「はあと」。北海道新幹線の開通もあり、受注量は4tトラック2台分に増加しましたが、作業環境に問題が生じてきました。夏場は工場の室温が40℃以上になることと2階建て中古住宅を利用した作業棟では狭い階段での搬出入が重労働になっていることです。助成によってエレベーター・エアコンを整備し、利用者の健康管理と生産性の向上を図り、給料の倍増を狙います。

3

北海道余市郡

特定非営利活動法人
余市はまなす

◇就労継続支援B型

■ 食品工場の増築改装、厨房設備の整備費用
■ 助成金　5,000,000円

余市はまなすは利用者の高齢化・重症化で作物栽培の作業が徐々に困難になる中で、もう一つの事業であるアップルパイの製造に切り替えていくことにしました。その美味しさとマーガリン・添加物不使用が評判を呼び、2013年ごろから生産量が飛躍。手狭ゆえ作業・保管スペースはもちろん新製品開発などが難しくなっていた食品工場を助成により増築改装を行いました。生産能力は一気に2倍の2万個になる予定です。

4

岩手県紫波郡

障害者支援施設
新生園

◇就労継続支援B型

■ オンデマンド印刷機、丁合機、手差しミシン機の購入
■ 助成金　5,000,000円

洗濯科と印刷科を有する新生園。印刷科では学校関係、官公庁、企業や自治会から印刷業務の受注をしています。1991年購入の丁合機は、部品の生産が終了し修理が不可能。10年前に導入したオンデマンド印刷機は故障しがちで保守点検料やカウンター料金が高額です。助成により新機種を導入し、外注に出していたカラー印刷封筒や冊子についても1,000冊までは施設内で制作可能になりました。売上増を見込んでいます。

助成先	助成対象事業の内容および助成額

5

石川県鳳珠郡

日本海倶楽部
ザ・ファーム

◇就労継続支援B型

■ レトルト製造機器購入資金（小型高温高圧調理機等）
■ 助成金　5,000,000円

3haの耕作放棄地を購入し、石川県でカボチャやブドウといった作物の生産販売を主力とする同事業所。しかし、降雪などの影響もあって農閑期が長く、一年を通じて作業量と収入の安定化を図ることが大きな課題でした。そこで6次産業化へのシフトし、レトルト食品の「かぼちゃスープ」開発を考えました。助成によりその製造に必要な生産設備を導入し、自社ブランドの加工を進めています。

6

大阪府 堺市堺区

ともにーしょうりんじ

◇就労継続支援B型

■ おしぼり自動包装機購入資金
■ 助成金　5,000,000円

ともにーしょうりんじは、おしぼりとタオルのクリーニングに的を絞り、利用者の「生活の質」の向上を目指しています。しかし、現在使用しているおしぼり梱包機では、毎時700本程度が限界。さまざまな障がい特性にも対応のうえ給料アップを図るために、安全で処理速度が速く、単価の高い厚手の「高級おしぼり」も梱包できる新機種の増設を助成により整備。3年後にB型の平均月額給料6,000円アップを目指しています。

7

島根県松江市

ビストロ庵
タンドール

◇就労継続支援A型

■ POS連動タッチパネルオーダーシステム・両替機導入
■ 助成金　5,000,000円

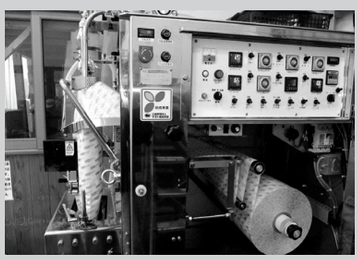
ビストロ庵タンドールは、JR松江駅近くに社会福祉法人ふらっとが開いた洋風レストランです。5年廃業率90%とも言われる飲食業において、節目となる5年を乗り越えましたが、売上は前年減の見通しです。この苦境を打開する策として助成によりIT活用のセルフオーダーシステムを導入しました。お客様のオーダーストレスの低減、スタッフ業務の効率化、POSデータの分析による客単価の向上で利益率を改善させます。

8

大分県津久見市

精神障害者就労支援センター・通所授産施設
とよみ園

◇就労継続支援B型



■ 保冷剤製造機購入
■ 助成金　5,000,000円

2000年開設のとよみ園は、当初から自主製品の重要性を認識し、地元企業の指導を受けて、保冷剤の製造販売を手がけています。大分県漁協を皮切りに積極的な営業を仕掛け、現在では近畿以西690社以上と取引を行い、利用者給料の50%を稼ぎ出しています。

昨夏、2台の製造機はフル稼働状態。そこで重さ・サイズについて顧客ニーズに対応できる新機種を助成により整備し、売上50%増を見込んでいます。

Ⅲ. ステップアップ助成金

助成先

助成対象事業の内容および助成額

1 北海道千歳市

NPO法人ハートフルネットワーク
ほほえみ

■配達用軽ワゴン
車両購入資金

■助成金
1,680,000円

2 北海道旭川市

旭川福祉園

■ビニールハウス・
暖房設備・潅水
設備・ハウス自動
開閉装置の購入・
電気工事

■助成金
2,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

3 北海道札幌市北区

NPO法人 札幌チャレンジド

■Webアクセシビ
リティ検査用
パソコン、ソフト
の購入資金

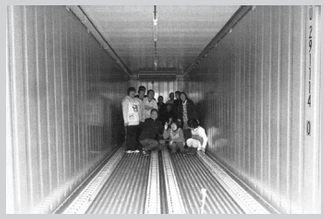
■助成金
750,000円

4 岩手県岩手郡

雫石町福祉作業所
かし和の郷

■菜種貯蔵冷蔵
コンテナ購入資金

■助成金
2,000,000円



助成先

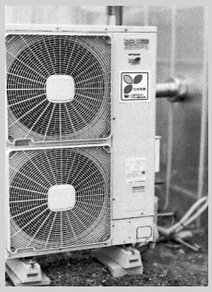
助成対象事業の内容および助成額

5 埼玉県さいたま市桜区

障害者支援施設
しびらき

■イチゴのクラウン
（根茎部分）冷却設備の
設置・整備資金

■助成金
2,000,000円



6 千葉県茂原市

カレンズ

■クッキー用ミキサー・
ラベラー・電動シーラー
購入資金

■助成金
1,500,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

7 山梨県甲府市

就労支援事業所
かしのみNeo

■ブラストチラー&ショックフリーザー機購入資金

■助成金
2,000,000円

8 東京都中野区

コロニー中野

■ガーメント製品を内製化するための機器一式の購入設置

■助成金
2,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

9 長野県伊那市

アンサンブル伊那第Ⅱ

■栗皮むき機、ブドウかん水設備資金

■助成金
910,000円

10 大阪府河内長野市

ワークメイト聖徳園

■ロールケーキ冷凍用のブラストスチラー&ショックフリーザー購入資金

■助成金
1,850,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

11 大阪府茨木市

アクアクララ北大阪

■宛名プリンターとバリアブルデータ印刷システム購入資金

■助成金
1,810,000円

12 兵庫県姫路市

ラーフ・ウッド

■最新のトラクター購入資金

■助成金
2,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

13 島根県出雲市

NPO法人 つわぶきネット

■菌床しいたけ栽培コンテナおよび菌床運搬車購入資金

■助成金
2,000,000円

14 長崎県五島市

五島あすなろ作業所

■麺研磨機・シュリンク機購入資金

■助成金
1,670,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

15 長崎県長崎市

そよ風の里

■焼き菓子用スチームコンベクションオーブン購入および厨房改修工事資金

■助成金
1,000,000円

16 長崎県佐世保市

チームハーベストキッチン

■野菜を洗浄、加熱、乾燥させるための機械、機器購入費用

■助成金
2,000,000円

助成先

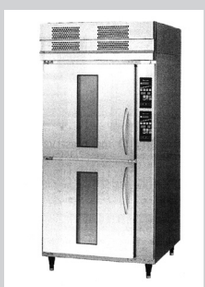
助成対象事業の内容および助成額

17 大分県大分市

ペパーミント

■ドゥコンディショナー購入資金

■助成金
1,290,000円



18 大分県別府市

多機能べっぷ優ゆう作業所

■クッキー製造機器の購入資金

■助成金
2,000,000円

Ⅳ.　障がい者福祉助成金

助成先

助成対象事業の内容および助成額

1　北海道苫小牧市

CARE　CENTER
アルドール

■ピアヘルパー養成講座 福祉的就労におけるステップアップ事業（研修）

■助成金
598,224円

2　北海道札幌市厚別区

一般社団法人
ジャスミン権利擁護センター

■成年後見制度の現状と今後の普及課題の調査事業（調査）

■助成金
330,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

3　宮城県仙台市青葉区

TOHOKU　STORMERS

■第1回
ウィルチェアーラグビー福島CUP（スポーツ）

■助成金
628,416円

4　埼玉県新座市

就労継続支援A型
SAIFUKU

■やさしく読める「LLブック」普及のための出版事業（出版）

■助成金
1,000,000円

助成先

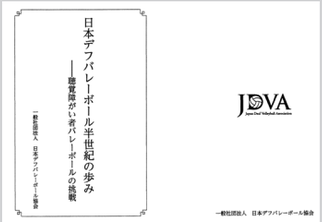
助成対象事業の内容および助成額

5　東京都大田区

一般社団法人
日本デフバレーボール協会

■日本デフバレーボール　半世紀の歩み～聴覚障害者バレーボールの挑戦～（出版）

■助成金
1,000,000円



6　東京都港区

一般社団法人
日本ボッチャ協会

■第20回日本ボッチャ選手権大会（スポーツ）

■助成金
1,000,000円

助成先

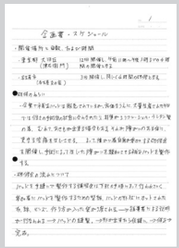
助成対象事業の内容および助成額

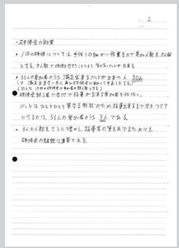
7 長野県松本市

乳ガン患者会「桜むね」

■乳房補正パッド作成技術を習得する研修会（研修）

■助成金
1,000,000円





8 愛知県名古屋市港区

社会福祉法人ふれ愛名古屋

■医療的ケア児者の地域生活シンポジウム＆重症児者多機能拠点の見学会（講演会）

■助成金
700,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

9 愛知県名古屋市中区

小規模作業所ドリーム伏見

■脳卒中障害者と家族を助ける暮らしのハンドブック作成事業（出版）

■助成金
710,000円

10 大阪府東大阪市

クリエイティブハウス「パンジーⅢ」

■私の歴史～知的障害者が語る人生の記録～（出版）

■助成金
1,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

11 宮崎県宮崎市

障がい福祉サービス事業所はながしま

■重症心身障がい児（者）の望ましい支援や制度の構築のための調査事業（調査）

■助成金
1,000,000円

平成30年度 障がい者の働く場
パワーアップフォーラム実施報告

2. プログラム内容

福岡会場

7月13日(金) エルガーラホール

「共に働き共に生きる」
障がい者の働く場

Program

10:00	あいさつ	
10:10	講演1	**時流講座　障がいのある人のディーセントワーク** NPO法人日本障害者協議会代表 藤井 克徳
11:00	講演2	**「今日も一日がんばった」真の共生の実現を目指して** (社福)共生シンフォニー　常務理事 中崎 ひとみ
11:50		休憩(70分)
13:00	講演3	**「福祉のしばりから脱却」共に生きるために選んだ途** (有)ドアーズ　代表取締役 柴田 智宏
13:50	講演4	**「家族の温かみを感じるために」元刑事のつくった働く場** (NPO)ENDEAVOR EVOLUTION 理事長　松浦 一樹
14:40		休憩(20分)
15:00	ビデオ上映	**働き甲斐のある仕事と暮らし** 毎年恒例の実践レポートビデオ。 ヤマト福祉財団で制作している 最新ビデオを上映します。
15:15	当事者報告	何のために働く場に通っているのか、 その思いを共有するために今年も 当事者に登壇をお願いしています。
15:30	シンポジウム	**社会と価値を共有できる働く場づくり** 「経済的自立力」と重い障がいのある人の仕事づくりは、どのように実現し折り合うことができるのか、講演者が会場のみなさんとともに考えます。 中崎 ひとみ・柴田 智宏・松浦 一樹・篠原 憲一(やまびこ福祉会 ゴー・スロー施設長(熊本県熊本市)) コーディネータ　藤井 克徳
17:00	終了	

東京会場

7月27日(金) 全社協・灘尾ホール

「生き方・暮らし方の向上を目指して」

Program

10:00	あいさつ	
10:10	講演1	**時流講座　障がいのある人のディーセントワーク** NPO法人日本障害者協議会代表 藤井 克徳
11:00	講演2	**「プライドのある自立」ぶろぼのが目指す人づくり** 社会福祉法人ぶろぼの 理事長 山内 民興
11:50		休憩(70分)
13:00	講演3	**「働くこと・暮らすこと」を支える力を高めるために** 社会福祉法人武蔵野千川福祉会 常務理事　新堂 薫
13:50	講演4	**「本人と家族の思いにこたえて」重度障がい者のITサポート** 東京コロニー 職能開発室 事業所長 堀込 真理子
14:40		休憩(20分)
15:00	ビデオ上映	**働き甲斐のある仕事と暮らし** 毎年恒例の実践レポートビデオ。 ヤマト福祉財団で制作している 最新ビデオを上映します。
15:15	当事者報告	何のために働く場に通っているのか、 その思いを共有するために今年も 当事者に登壇をお願いしています。
15:30	シンポジウム	**生き方・暮らし方の向上を目指して** 自立して働くこと・暮らすことを実現するために、講演者が会場のみなさんとともに考えます。 シンポジスト 山内 民興・新堂 薫・堀込 真理子 コーディネータ　藤井 克徳
17:00	終了	

大阪会場

8月24日(金) マイドームおおさか

「食」で広がる
障がい者の仕事づくり

Program

10:00	あいさつ	
10:05	講演1	**時流講座　障がいのある人のディーセントワーク** NPO法人日本障害者協議会代表 藤井 克徳
10:50	講演2	**障がいのある人が最高品質を極めるために** (社福)はらから福祉会 理事長 武田 元
11:20	講演3	**お弁当・高齢者向け配食サービスに夢を託して** (社福)キャンパスの会 理事長 楠元 洋子
11:50		**出展事業所紹介**
12:00		**大試食会(75分)**
13:15	講演4	**食品提供で大切にしたいこと** (社福)ひびき福祉会 理事長 亀井 勝
13:45		大試食会　質疑応答
14:45		休憩(15分)
15:00	ビデオ上映	**働き甲斐のある仕事と暮らし** 毎年恒例の実践レポートビデオ。 ヤマト福祉財団で制作している 最新ビデオを上映します。
15:15	当事者報告	「食」の現場で働く当事者に今年も 登壇をお願いしています。
15:30	シンポジウム	**経済的自立力を備えた経営** 障がいのある人のためにどのような環境や仕事が求められているのでしょうか。「食」の場に期待されることを会場のみなさんとともに考えます。 武田 元・楠元 洋子・亀井 勝・壹多條 雅子(NPO法人Creer) コーディネータ　藤井 克徳
17:00	終了	

1. 実施体制

より幅広い参加者を迎え、各地の実践報告を行う場としてのパワーアップフォーラム。「経済的自立力を備えた新しい福祉を目指して」をテーマに、平成30年度は全国4ヵ所で開催しました。

各会場ごとにテーマを設定。東京会場では「生き方・暮らし方の向上を目指して」というテーマで、重度障がい者の仕事をIT支援で実現している現状の講演や、当事者の発表もありました。。2回目となる大阪会場の大試食会も大盛況。A型事業所の課題や今後の在り方などを考えるフォーラムを札幌で行いました。

札幌会場

8月3日(金) ACU-A(アスティ45)16F

就労継続支援A型事業所の未来

Program

10:00		あいさつ
10:05	講演1	**時流講座　障がいのある人のディーセントワーク** NPO法人日本障害者協議会代表 藤井 克徳
10:50	講演2	**雇用と福祉にまたがる特性を活かし、新たな時代を切り開くA型事業所を目指して** 「中間的就労分野におけるA型事業の可能性検討事業」研究会座長 岩田 克彦
11:35	講演3	**行政説明** 厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課（予定）
12:20		休憩(55分)
13:15	事例報告 (各30分)	**札幌市障がい者協働事業から学ぶ** 事例報告1　荒野 耕司 (NPO)地域生活きたのセンター ぱお 代表 事例報告2　角谷 宏 (NPO)地域生活支援グループ・ 共働友楽舎ワークショップアリス 所長 事例報告3　石澤 利巳 (NPO)札幌障害者 活動支援センターライフ 専務理事
14:45	ご案内	「働くNIPPON！計画」 日本財団　竹村 利道
15:00		休憩(15分)
15:15	当事者の声	A型事業所で働く本人からのメッセージ
15:30	シンポジウム (75分)	**就労継続支援A型事業所の未来** 登壇者：研究会委員・事例報告者3名 コーディネータ　藤井 克徳
16:45	ご案内	全Aネットの目指すもの 全Aネット理事長　久保寺 一男
17:00	終了	

全Aネット主催　札幌会場

8月4日(土) ACU-A(アスティ45)16F

「はたらくNIPPON！計画」A型フォーラムin札幌

Program

10:00	分科会1	**テーマ：多様な雇用モデルから学ぶ経営改善のヒントとその未来** パネリスト：小畑 友希 社会福祉法人さっぽろひかり福祉会 常務理事 パネリスト：岡野 裕幸 NPO法人札幌チャレンジド 理事・事務局長 パネリスト：水野 智大 一般社団法人 Agricola(アグリコラ) 代表理事 コーディネータ：松井 亮輔　法政大学名誉教授
	分科会2	**テーマ：A型における就労支援を考える～中間的就労の試み・・・などなど** パネリスト：髙山 真也 株式会社シーケンス 代表取締役 就労継続支援A型事業所One Life 管理者 パネリスト：河野 亜希子 株式会社セブンフレンチ・サポート 就労支援事業所ぐろーあっぷ 管理者兼サービス管理責任者 パネリスト：千葉 美穂子 株式会社ラダーサポート 就労継続支援A型事業所 ラダーサポート管理者兼サービス管理責任者 コーディネータ：斎藤 規和　株式会社シムス 代表取締役
	分科会3	**テーマ：誰もが、当たり前に働いて生きていける町へ** 講演者：且田 久美 株式会社九神ファーム取締役 NPO法人プロジェクトめむろ副理事長 (エフピコグループ 特例子会社 エフピコダックス株式会社福山選別工場課長) コーディネータ：髙志 博明 NPO法人L and P(エル アンド ピー) 管理者兼サービス管理責任者
12:00		休憩(60分)
13:00	全体 ミーティング	1. 分科会報告　各コーディネータから報告 2. 全体ディスカッション **テーマ：A型事業所の果たす役割** パネリスト：①分科会1のコーディネータ(松井 亮輔) ②分科会2のコーディネータ(斎藤 規和) ③分科会3のコーディネータ(髙志 博明) コーディネータ：久保寺 一男(全Aネット理事長)
	大会宣言	北海道から良きA型事業運営をする宣言
15:00	終了	

福岡会場　7月13日（金）　》》エルガーラホール

「共に働き共に生きる」障がい者の働く場

福岡会場は、クッキー製造販売で年間1億3000万円を越える中崎ひとみ氏、製麺業で成功を収めてさらに異業種であるペットフード事業で働く場を提供する柴田智宏氏、元刑事から福祉の世界に転身した松浦一樹氏の3氏が講演を行いました。小倉昌男賞受賞者の3人に共通するのは何があってもあきらめない、利用者さんに寄り添い続ける姿勢です。会場から共感を呼び、多くの質問の手が挙がりました。

東京会場　7月27日（金）　》》全社協・灘尾ホール

「生き方・暮らし方の向上を目指して」

「生き方・暮らし方の向上を目指して」がサブテーマの東京会場。ITツールを使い、開発し、障がいが重くても働く機会を提供する、小倉昌男賞受賞者の山内民興氏、新堂薫氏、堀込真理子氏が講演を行いました。さらに働く本人からのメッセージでは、指1本でマウスを動かし在宅就労をする鹿久保芹菜さん、テレビ局の契約社員としてモニターの仕事を行う長谷川晴基さん、脊髄性筋萎縮症のお二人からの報告がありました。

札幌会場　8月3日（金）　》》ACU-A（アスティ45）

就労継続支援A型事業所の未来

全Aネット主催　8月4日（土）　》》ACU-A（アスティ45）

「はたらくNIPPON！計画」A型フォーラムin札幌

就労継続支援A型事業所を巡り、さまざまな課題が浮かび上がっています。A型事業所の将来に危機感を持った有志が集まる全Aネットとともに開催した札幌会場では、厚生労働省からの最新情報、札幌市障がい者協働事業の事例報告など盛りだくさんの内容となりました。翌日行われたA型フォーラムでは、3つの分科会に分かれ、北海道の地域にA型事業所が広がっていくために何が必要か、全体ディスカッションでは分科会を振り返り、パネリストたちと意見交換を行いました。

大阪会場　8月24日（金）　》》マイドーム大阪

「食」で広がる障がい者の仕事づくり

大阪会場は第2回目となる大試食会を開催しました。出展した11事業所のブースの前には昨年にも増して行列ができました。小倉昌男賞受賞者の講演では全国豆腐品評会で金賞を受賞したはらから福祉会の武田元氏、実践塾で弁当・配食サービス塾を指導するキャンバスの会の楠元洋子氏、地元大阪で餃子・春巻き・シュウマイの製造販売を行うひびき福祉会の亀井勝氏が登壇しました。

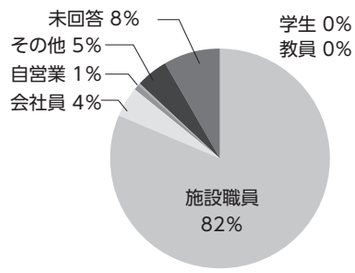
3. 実施日・場所・人数

開催日	開催地	会　場	参加人数
7月13日	福岡	エルガーラホール	189名
7月27日	東京	全社協・灘尾ホール	161名
8月　3日	札幌	ACU-A　SAPPORO　16F	79名
8月24日	大阪	マイドームおおさか	146名
10月26日	沖縄	沖縄コンベンションセンター	74名
合　計			649名

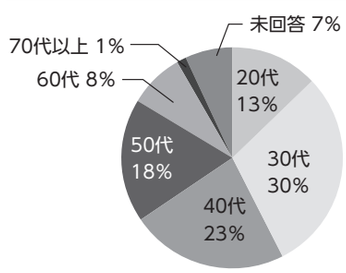
4. 平成30年度　障がい者の働く場パワーアップフォーラム　参加者の傾向

※アンケート回答者 445 名

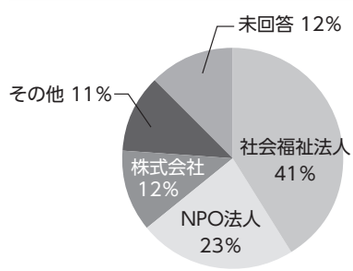
職 業



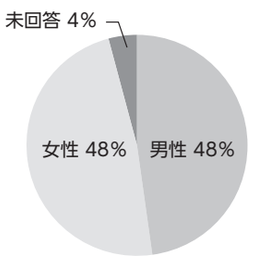
年 齢



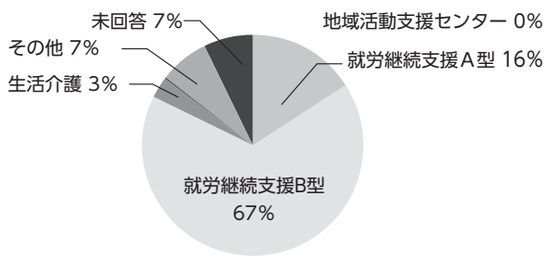
所 属



性 別

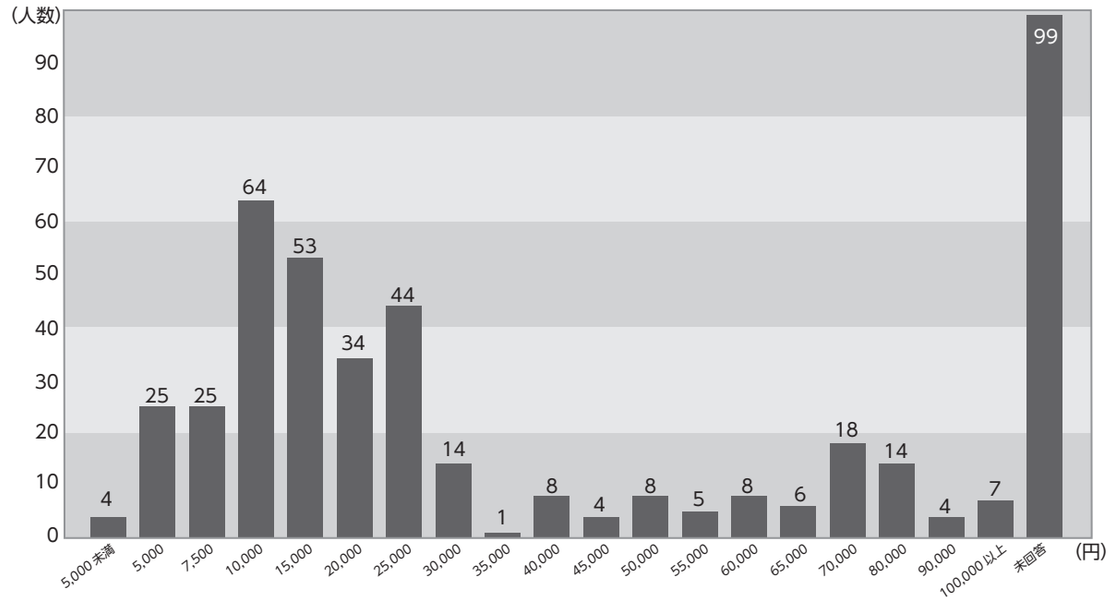


事 業 区 分



参加施設の平均給料の分布

※アンケート回答者 445 名　うち未回答 99 名



障がい者の働く場パワーアップフォーラム
沖縄キックオフの報告

パワーアップフォーラム沖縄は、パワーアップフォーラム沖縄実行委員が主導して、沖縄の事業所が自ら考え、深めていく「地域型パワーアップフォーラム」です。

当財団が平成24年に沖縄でパワーアップフォーラムを開催した当時に比べ、現在（平成30年）、働く障がい者の事業所は500ヵ所以上に増えています。この状況を踏まえ、実行委員は「これから3年後、5年後、10年後を見据えて障がいのある方を支えていくために、福祉に携わる者になにが必要とされるのか。多くの人と一緒に考え活動していきたい」と話します。当財団では、この活動を3年間にわたり応援していく計画です。

■ 3年間の活動計画

- **1年目：パワーアップフォーラム沖縄キックオフ**
  現在の沖縄での取り組み事例や実行委員会の討議をもとに、四つの分科会でプランを立て活動をスタート。
- **2年目：パワーアップフォーラム深堀り2019**
  実行したプランの結果をフォーラムで報告し、多くの人と情報を共有。結果を見定め、さらに深めます。
- **3年目：パワーアップフォーラム広がり2020**
  実践していることや知り合った仲間との交流を継続。各自の行動を、より広め推進していきます。

■ 実行委員名簿

・朝妻　彰　　きょうされん沖縄支部長　八重瀬町自立推進協議会会長
・村田涼子　（社福）若竹福祉会総合施設長
・桑江常和　（社福）若竹福祉会 社会就労センターわかたけ総括兼施設支援課長
・玉城　卓　（NPO）全Aネット沖縄支部事務局、TEAM VILLAGE 代表社員
・森田恵美子　（社福）とよみ福祉会 ひまわりファクトリー管理者
・金城和歌子　きょうされん沖縄支部事務局長、サポートセンターあすなろ主任
・永山盛秀　（一社）ハーネス代表
・高橋年男　（公社）沖縄県精神保健福祉会連合会事務局長
・喜納　平　（社福）トゥムヌイ福祉会理事長
・兼浜克弥　（公社）沖縄県精神保健福祉会連合会 宜野湾市地域活動支援センターはぴわん施設長
・新垣潤一　（fukushi works okinawa 代表）
・森田直広　（fukushi works okinawa）
・喜屋武真司　（NPO）エイブルサポートつばさ　障がい者生活介護センターつばさ

1年目（キックオフ）開催までの実行委員会の活動

パワーアップフォーラム開催までに、実行委員は3回の検討会を重ねて準備を進めてきました。当財団からは、担当者が現地に赴き、開催にあたっての運営準備をサポートしました。

●第1回実行委員会

・**日時／場所**：平成30年6月6日／カフェめしギャラリーさまさま
・**実行委員**：玉城 卓、喜屋武真司、金城和歌子、桑江常和、村田涼子、森田恵美子
・**財団事務局**：早川雅人、渡辺 聡、田村伸介
・**内　　容**：キックオフの開催日時・場所、講演者や四つのテーマで分科会を開くなどプログラムを決定。
分科会ごとにいま沖縄県の福祉施設が抱える問題とこれからの対策について報告する内容を次回への課題としました。

●第2回実行委員会

・**日時／場所**：平成30年7月5日／カフェめしギャラリーさまさま
・**実 行 委 員**：朝妻 彰、村田涼子、桑江常和、玉城 卓、森田恵美子、喜屋武真司、
金城和歌子、永山盛秀、喜納 平
・**財団事務局**：早川雅人、渡辺 聡、田村伸介
・**内　　容**：プログラム内容をより細かく検討。さらに分科会ごとに掘り下げてきた現状を報告し、分科会でなにを話し合うべきかなどを検討しました。またキックオフの際は、3年計画で行い、継続維持しながら課題をクリアし、夢を現実化していく旨を伝えていくことを確認しました。

●第3回実行委員会

・**日時／場所**：平成30年9月4日／カフェめしギャラリーさまさま
・**実 行 委 員**：朝妻 彰、村田涼子、桑江常和、玉城 卓、森田 恵美子、金城 和歌子、永山盛秀、
高橋年男、喜納 平、兼浜克弥、新垣潤一、森田直広
・**財団事務局**：早川雅人、渡辺 聡、田村伸介
・**内　　容**：キックオフ当日のプログラムの詳細を決定し、最終的な運営課題を洗い出し対策を固めました。また、万全の準備で本番に臨めるように、開催前日に再度実行委員が集り、打ち合わせ確認を行うこととしました。

パワーアップフォーラム沖縄キックオフ

・**日時／場所**：平成30年10月26日／沖縄コンベンションセンター
・**内　　容**：平成30年10月26日、パワーアップフォーラム沖縄キックオフを沖縄県宣野湾市で開催しました。シンポジウムでは、沖縄の事業所が抱えるさまざまな問題点とその解決への取り組み事例を3名のシンポジストが報告。さらにワークショップでは「共に語ろう！これからの10年」を主題に、四つの分科会を開きました。県内の多数の事業所が参加し、沖縄の福祉を変えていくためのプランを検討し合いました（詳しくは、P.23）。

○第1分科会「食文化・販路開拓・アンテナショップづくり ワークショップ」
まだ知られていない沖縄の食文化を、障がいのある人たちと一緒に広めるアンテナショップをつくります。

○第2分科会「ビジネスマッチングワークショップ」
企業と施設の出会いの場づくりをみんなの協力で進め、施設外就労などにもつなげていきます。

○第3分科会「観光・おもてなしワークショップ」
クルーズ船やホテルの宿泊者へのおもてなし、グリーン・ツーリズムなどのアイデアを出し合い実現します。

○第4分科会「何からはじめよう 仕事おこしワークショップ」
就労支援以外の業務に追われ、活発に動けない現状を変えるため、問題を整理・解決する場をつくります。

● パワーアップフォーラム沖縄キックオフの内容

日　程	プログラム
10月26日	■ 挨拶：瀬戸 薫理事長 ■ シンポジウム：沖縄県 障がい者の働く場づくりシンポジウム「今、現場で必要とされていること」 ・報告者：（社福）トゥムヌイ福祉会 理事長　喜納 平（きな たいら）氏／ （株）ゆにばいしがき 代表取締役　津嘉山 航（つかやま わたる）／ （有）やんばるライフ 専務取締役　比嘉ゑみ子 ・コーディネータ ：きょうされん 専務理事　藤井克徳氏
	■ ワークショップ：「共に語ろう！ これからの10年」 ・1：「食文化・販路開拓・アンテナショップづくり ワークショップ」 ～食文化・販路開拓イベントやアンテナショップづくり ・2：「ビジネスマッチングワークショップ」 ～地場企業と障がい者施設の出会いの場づくり ・3：「観光・おもてなしワークショップ」 ～観光やインバウンド・クルーズ船のおもてなしを通したマルシェ・イベントづくり ・4：「何からはじめよう 仕事おこし ワークショップ」 ～これから、仕事をはじめる新しい事業所のためのネットワークづくり ■ 時流講座：「障がいのある人のディーセントワーク」 きょうされん 専務理事　藤井 克徳氏 ■ 特別講演：「クロネコヤマトの“満足創造経営”」 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長　瀬戸 薫

その後の分科会の活動

パワーアップフォーラム沖縄キックオフ開催後、実行委員は、四つの分科会ごとに企画したプランを実行すべく活動を進めています。

●第1分科会「食文化・販路開拓・アンテナショップづくり ワークショップ」

・**日時／場所**：平成31年2月28日／カフェめしギャラリーさまさま
・**参　加　者**：津嘉山 航、森田恵美子、金城和歌子、萱原景子、山入端泰之、福里恭子
・**財団事務局**：渡辺 聡、田村伸介
・**内　　容**：参加者の現状報告から、問題点とアイデアを整理。成功を収めている京都嵐山や長崎の取り組みを参考に、沖縄でアンテナショップを運営していくためのイメージを構築しました。次回は、各事業所がマーケットで勝負できる商品を持っているのかを、試食した上で検討。今後どのように取り入れていくことができるかを具体的に詰めていくことを課題としました。

●第2分科会「ビジネスマッチングワークショップ」

・**日時／場所**：平成31年2月19日／カフェめしギャラリーさまさま
・**参　加　者**：比嘉ゑみ子、村田涼子、桑江常和、吉川嘉朝、比嘉里美、富田治敏、仲松志保、仲根建作、知念美香、當山孝之
・**財団事務局**：大江美幸
・**内　　容**：施設で働く利用者さんの得意な面を活かし、地元企業の経済の輪に入っていきたい。そのために、企業と施設の出会いの機会を積極的に設ける「ビジネスマッチング」の仕組みをつくり出す話し合いを進めました。各自の取り組みや障がい者雇用の実態報告などから、就労の開拓と賃金向上の課題を抽出。その解決にITビジネスや沖縄の農業などを企業ニーズと結び付ける提案も出ました。次回は地元企業にも参加いただけるように、各自がお声がけしていくことなどを宿題としました。

●第3分科会「観光・おもてなしワークショップ」

・**日時／場所**：平成31年2月14日／トゥムヌイ福祉会
・**参　加　者**：喜納 平、玉城 卓、新垣潤一、森田直広、瀬底美月、深谷直美、幸喜利奈、山城和樹、長野弘子、金子裕一、勝間田浩希
・**財団事務局**：飯塚美穂子
・**内　　容**：沖縄シップスエージェンシーの松田会長より観光・インバウンド戦略のレクチャーを受けました。その後、分科会が推進するプロジェクトについて具体的に検討。各事業所の商品をガチャガチャに入れて販売する企画、農業・ものづくりの体験型の観光ツアー、貝殻を使った雑貨制作など、それぞれを次回より段階的に進めていくことを取り決めました。

●第4分科会「何からはじめよう 仕事おこしワークショップ」

・**日時／場所**：平成31年1月30日／沖縄県総合福祉センター 第2会議室
・**参　加　者**：高橋年男、仲間友美、喜屋武真司、朝妻 彰、古堅 守、知花さおり、金城真緒、上間志乃
・**財団事務局**：早川雅人
・**内　　容**：参加者の希望する内容を次の四つの方向に整理し、グループ討議していきました。
①農福連携で仕事開拓（補助金の活用、地域連携、利用者の働きがい、先進地の見学）
②ＩＴ関連作業への挑戦（先進地域・事業所の見学、発達障がい者の就労）
③リゾート・伝統工芸（地域にある企業との連携、先進地域・事業所見学）
④アート作品の商品化（創作活動や商品開発の進め方、先進地域・事業所見学）

沖縄県で障がいのある方の働く場の拡大などになにができるのか。シンポジウムでは、左からきょうされん 藤井克徳専務理事、(有)やんばるライフ 比嘉ゑみ子専務取締役、(株)ゆにばいしがき津嘉山 航代表取締役、(社福)トゥムヌイ福祉会 喜納 平理事長、パワーアップフォーラム沖縄実行委員の新垣潤一氏が、それぞれの取り組みや意見を語りました。

＼ 沖縄の障がい者福祉を段階的に応援 ／

障がい者の働く場 パワーアップフォーラム

沖縄キックオフ!

10月26日、沖縄で6年ぶりのパワーアップフォーラムを開催しました。現在、県内の福祉施設数は約500に増え、利用者さんの仕事の確保と支援など、課題も増大。パワーアップフォーラム沖縄実行委員会が中心となり、これらの課題に自ら考え、取り組みを進めています。そんなみなさんを、ヤマト福祉財団は3年かけて段階的に応援することを計画。今回はそのキックオフです。

四つの分科会で、今後の取り組みを検討

分科会1「食文化・販路開拓・
アンテナショップづくり ワークショップ」
～食文化・販路開拓イベントやアンテナショップづくり

「沖縄ならではの食材を活かした飲食事業について、アイデアや意見を出し合いました」。

分科会2「ビジネスマッチングワークショップ」
～地場企業と障がい者施設の出会いの場づくり

「ジョブマッチングで、弱い立場の障がい者にも夢のある仕事と働き方を実現します」。

分科会3「観光・おもてなしワークショップ」
～観光やインバウンド・クルーズ船の
おもてなしを通じたマルシェ・イベントづくり

「それぞれが行う事業や商品を活かすために、興味のあるところから勉強会を実施します」。

分科会4「何からはじめよう 仕事おこし ワークショップ」
～これから、仕事をはじめる
新しい事業所のためのネットワークづくり

「『あれをしたい、これをしたい』から、見学会や勉強会を積み重ね、事業を形にします」。

四つの分科会で話し合ったポイントを各代表者が報告しました。

第1回目は、先駆者の取り組みや互いの情報・意見交換からスタート

「沖縄は、障がい者福祉施設の数が人口比からみて非常に多い県です。これを機に情報を交換し合い、自分たちになにができるかを考えてください」と瀬戸理事長が開催挨拶をしました。続いてきょうされんの藤井専務理事がコーディネータとなりシンポジウムへ。障がい者の働く場の拡大などを進める3名が登壇しました。

(社福)トゥムヌイ福祉会の喜納 平(きな たいら)理事長は、県産の豚肉やバイキング形式のメニューなどで人気レストランを経営。「私たちには利用者の給料を高くするというゴールがあるので、それに向かってスキームを動かしていく人材が必要です。求人サイトや就職フェアを自ら運営し、人材獲得を図ります」と報告しました。

(株)ゆにばいしがき津嘉山 航(つかやま わたる)代表取締役は、本島から400㎞も離れた八重山地区で5000坪の農園を経営しています。「マンゴーを柱にサトウキビの苗づくり、島らっきょうの栽培、パイン加工などを行っています。農業は細分化するといろいろな仕事を創出でき、土に、自然に触れて働くことでみなさんに良い変化が生まれています」と発表。

清掃用品レンタルのフランチャイズ店を経営する(有)やんばるライフの比嘉ゑみ子専務取締役は「どんな障がいがあっても工夫次第で関われる仕事があると気づきました。企業も福祉施設も、人から学んではじめて成長できます。完全な人なんていません。多様性を受け入れることが大切です」と伝えました。

午後は、四つのテーマで分科会を開催し、先駆者たちの事例を参考に、解決すべき問題点などを検討。さらに、藤井専務理事が時流講座を、瀬戸理事長が特別講演を行いました。

フォーラムで生まれた横の連携を活かし、今後も分科会ごとに活動を進めていきます。

平成30年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

1. 夢へのかけ橋 実践塾とは

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ“経済的自立力を備えた新しい福祉”に向かって行動を起こす施設を塾生とし、利用者さんの給料増額という目的を達成するための研修会です。平成30年度は、二つの塾で16名の塾生が「1年後3万円、2年後5万円」への給料増額を目指し、事業改革に取り組みました。

「新堂塾（第3期）」の8塾生は、平成28年9月～平成30年9月の全活動を終了しました。「楠元塾（第2期）」の8塾生は、平成29年9月～令和元年8月の2年間の活動に取り組んでいます。

塾生には、クラウドサービスによる「収支管理システム」を提供しています。塾生はこのシステムを活用し、毎日・月ごとの売上を把握。新たな目標の設定や改善策の検討・実行などに役立てています。また、塾生が起こす事業をモデル化して水平展開するための資金（「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金）を用意。この資金は、塾生が立てた事業プランから、効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、事業改革を進めるために必要な道具や働く環境を整え、実行結果を塾で検証するものです。

なお実践塾修了後も、利用者さんの給料増額を進めるために卒業者主体で勉強会などを開催しています。

2. 研修内容

各塾は独自に研修会、見学・勉強会、塾長による塾生施設の視察などを開催し、塾生一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できるように取り組みました。また複数の塾が一つの会場で合同研修会を開くことにより、互いに情報交換を行う機会も提供し、給料増額の目標達成につながる効果を狙いました。

- **販路拡大や商品開発など営業に関する新規事業や改善について事業プランを作成。**
- **2年間を通じて合同研修をはじめ、塾ごとに研修会や勉強会を開催し、自分の目標の進捗や他参加者の進捗などを確認。**
- **先行している施設より現場の課題などを説明。**
- **グループディスカッション・合同パネルディスカッションなども取り入れる。**
- **2年間、PDCAサイクル手法を実行して成果を出す。**

3. 夢へのかけ橋 実践塾　全体のスケジュール

新堂塾（第３期）

- 見学・勉強会（平成30年5月23日）
  ウイングデイ／チャレンジ・コヤリバ
- 塾長視察（平成30年6月27日）
  白いキャンバス

楠元塾（第２期）

- 第1回見学・勉強会（平成30年4月12・13日）
  海がめ物語／キッチンハウスみやま
- 第2回見学・勉強会（平成30年8月30・31日）
  のはら楽団／森のこびと

合同研修会・修了式（平成30年10月19・20日）

- 第6回新堂塾／修了式
- 第4回楠元塾／中間報告

- 第3回見学・勉強会（平成31年1月16～18日）
  いいはたらくばトポス／ハーモニー
- 第4回見学・勉強会（平成31年1月24・25日）
  キャッチボール
- 第5回楠元塾（平成31年3月13～15日）
  陽なたぼっこ／夢・さぽーと（1期生施設見学）

■ 卒業者へのサポート

〈新堂塾〉 第4回フォローアップ研修
（平成30年11月16・17日）
出愛いの里

4. 「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金

「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金として以下の塾生の事業改革を応援し、その実行結果を塾で検証しました。

（社福）小国町社会福祉協議会「陽なたぼっこ」

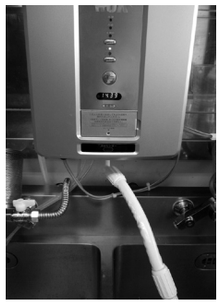
●助成内容：食品乾燥機を活用した食品加工事業に1,263,600円を助成

●目　　的：過疎化が進む現状に社会福祉協議会も福祉施策で全国でもまれなA型事業所の経営を行っています。主事業の弁当配食サービスは町の高齢者対策で価格の割引を行っているため、別事業で収益増を行います。食品乾燥機を活用し加工を行うことで土産物などの新商品開発を行います。

（NPO）レスパイトケアはちもり「森のこびと」

●助成内容：温度管理と衛生強化のための設備事業に1,171,044円を助成

●目　　的：2018年8月に現地勉強会で、楠元塾長の指導を受けました。今後の弁当の販売個数増加に対応するためにも、調理の際の温度管理と衛生管理を夏までに解決する必要があります。厨房内は20度を超えないように厨房専用エアコンを設置、食器や配膳台の殺菌消毒として電解水生成装置、自動水栓を整備します。



新堂塾（第３期）

新堂塾は、生産効率を高めるライン化の実現で給料増額を目指しています。塾長である（社福）武蔵野千川福祉会新堂常務理事は「ライン化とは、いままで一人で行っていた仕事を、いくつかの工程に分け、複数人で分担作業することで生産性を上げ、売り上げを伸ばすこと」と伝え、塾生は、働く環境の改善、利用者の能力向上、ビジネスマナー、お客様へのアプローチなど総合的な改善に取り組んでいます。

●塾　長：（社福）武蔵野千川福祉会　常務理事　新堂　薫 氏

○略歴

1985年、千川作業所に指導員として就職。1987年のチャレンジャー設立とともに異動し、1999年に同施設長に就任。社会福祉士。2010年9月～2013年3月『障がい者の働くちから革新塾（第1期新堂塾）』塾長。2013年９月～2015年９月『夢へのかけ橋実践塾　新堂塾（第２期）』塾長。2016年９月～2018年9月『新堂塾（第３期）』塾長。第９回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞（2008年度）。

塾長の名言

「利用者さんの成長に合わせ、職員も一緒に成長する」

「給料が増えると利用者さんの仕事への取り組み姿勢などが変化してきます。その姿は私たちにとってなにより大きな喜びであり、それを見た職員は、頑張る覚悟を固め、自ら考え行動できるようになります。利用者さんを育てているのではなく、私たちも育てられているのです」。

新堂塾：８施設（平成 30 年９月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（NPO）ウイング	ウイングデイ	就労継続Ｂ型・生活介護	100 円ショップ商品の組み立て・袋詰め、DM 封入	ネットショップ
（社福）福成会	チャレンジ・コヤリバ	就労継続Ｂ型・就労移行・生活介護	事業所内外での軽作業、清掃など	軽作業の単価アップ、施設外就労の給料向上、作業ラインの見直し、環境整備
（社福）大阪聴覚障害者福祉会	あいらぶ工房	就労継続Ｂ型・生活介護	製パン、製菓、施設内外販売、下請け作業（ねじ加工、100 円ショップ商品封入など）	軽作業の単価アップ、定期的下請け受注
（社福）三木市社会福祉協議会	はばたきの丘	生活介護・自立訓練	施設内で安全用具部品（ヘルメット、マスクなど）や自動車部品の組み立て、施設外で検品作業など	ヘルメット部品製造などで給料を向上、縫製機械導入で生産性向上
（社福）白いキャンバス福祉会	白いキャンバス	就労継続Ｂ型・就労移行	さをり織り・クッキーとパンの製造販売・受託作業	受託作業
（社福）ゆずりは会	エール	就労継続Ｂ型・就労移行	クリーニング事業・農業	クリーニング事業
（社福）武蔵野千川福祉会	ワークイン関前	就労継続Ｂ型・就労移行	DM 封入封かん作業、ボールペン詰め、施設外就労（清掃作業）	DM の封入封かん作業による収益向上
（社福）武蔵野千川福祉会	武蔵境ワーキングセンター	就労継続Ｂ型・就労移行	DM の封入封かん作業	DM の封入封かん作業による収益向上

新堂塾活動報告

塾生施設の見学・勉強会

● 日 時：平成30年５月23日
● 場 所：（NPO）ウイング・ウイングデイ（大阪府堺市）／
（社福）福成会・チャレンジ・コヤリバ（兵庫県尼崎市）

５月23日、新堂塾では２塾生の見学勉強会を行いました。最初は大阪府堺市にある（NPO）ウイングの事業所「ウイングデイ」へ。ここは、DMの封入封かんの仕事をライン化し、軌道に乗せたばかりです。新堂塾のアドバイザー 菅野教授は「利用者さんに仕事の指示を出すだけでなく、利用者さん本人がそれを確認でき、仕事の準備を始められる工夫が必要です。なんとなく流れ作業で進めていては、利用者さんはどんな仕事が動いているのかもわからない。それは作業であって仕事ではありませんよ」と伝えました。新堂塾長は「1時間でどれくらいやるとか、今日はここまでやろうとか、目標をつくってあげないとただやるだけになってしまいます。今日見た仕事は簡単なものですが、複雑な仕事になったとき、そういう基本ができてないと間違いにつながります」と指摘しました。

次に訪れた兵庫県尼崎市の（社福）福成会の事業所「チャレンジ・コヤリバ」は、工業用資材の複雑な部品組立てを行っているため、簡単な工程はライン作業で、難しい組立てはセル作業に分けて進めています。菅野教授は「いくら能力があってもどんなものをつくっているのかが見えないと、目標も見失い生産性は落ちてきます」と指摘。新堂塾長は「一人だけのセル作業は、緊張感、集中力を保つ工夫が大事。この人なら1時間で何個つくれるかなど、各人の能力を見極めて、明確な目標を立ててあげてください」とアドバイスしました。

他の塾生たちも自らの経験を踏まえ「ラインのスタートと終わりがわかりにくいので、完成品に途中段階の物が混在してしまう恐れを感じます。最後に数が合わないと、職員が一つずつ確認しなければならず、その分、営業などに使える時間が削られてしまいます」と感想を述べました。修了式まで残り３ヵ月となり、各塾生は自分なりの方法、考え方で、それぞれ改善を進めることができる力をしっかりとつけてきています。

■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
５月23日	■ 概要説明／ウイングデイ見学 （チャレンジ・コヤリバへ移動）
	■ 所長より概要説明／チャレンジ・コヤリバ見学 ■ ２施設見学の振り返りと講義（新堂塾長・菅野教授）

塾長視察

● 日 時：平成30年６月27日
● 場 所：（社福）白いキャンバス福祉会・白いキャンバス（熊本県人吉市）

６月27日、さをり織りやクッキー製造、受託作業をメインの事業としている熊本県人吉市の(社福)白いキャンバスで塾長視察を行いました。塾生は、仕事場を案内しながら「さまざまな仕事を手がけていますが、収益が思うように上がらないので、なにに力を入れて良いのかわかりません。仕事場を改善するにも、なにから手をつけて良いのかわからないでいます」と悩みを吐露。新堂塾長は「大切なのは、職員の意識改革です」と話し、職員も講義に参加するようにしました。

「私も最初は、どんな仕事をすべきか、いろいろと模索し続けましたが、なかなか売上結果は出ませんでした。それでも“利用者さんに少しでも多くの給料を支払いたい”という夢を職員に伝え続けることで、次第に全職員が意欲的に仕事の開拓にも取り組むように変わってきたのです。その結果、仕事が増え売上が伸び、１万円、また１万円と給料を増額できるようになりました。すると、利用者さんの仕事に向き合う姿勢に変化が現れ、それを見た保護者も理解してくれるようになったのです」と新堂塾長は自身の体験を話しました。

菅野教授は「利用者さんの給料が3万円になるまでは施設で働く職員の責任だと思ってください。3万円の仕事ができるようになった利用者は、誇りを持てるようになります、働くことで人格を形成していく、それこそ職員の果たすべき義務の一つです」とアドバイスしました。

■ 塾長視察の内容

日　程	プログラム
６月27日	■ 白いキャンバス現地視察／塾生報告 ■ 新堂塾長・菅野教授講義

視察のあと、塾生施設では、早速チラシを作成し顧客獲得への営業を開始。さらに、利用者さんの作業時の服装の統一といった仕事場の改善も進めるなど、職員一人ひとりの取り組み姿勢に変化が生まれてきました。

合同研修会・修了式

● 日 時：平成30年10月19・20日
● 場 所：ホテルフクラシア晴海（東京都中央区）

作業分化、工程のライン化、５Ｓなどで利用者さんの仕事の拡大と給料増額を目指してきた第３期・新堂塾生８名が、10月19・20日の修了式で２年間の成果報告を行いました。

「ライン化できる仕事に絞り込むことで売上も伸びてきました。今後も顧客獲得に営業を続けます」。「作業の工程分化で利用者さんの仕事の幅が広がり、モチベーションも上がっています」。「あの人にこの仕事は無理だと職員が勝手に決めつけていた。その間違いに気づいたことが一番の成果です」など、塾生は数字に見えない手応えも報告しました。

新堂塾長は「私たちの仕事は、２年や３年で簡単に結果が出てはくれません。それでもあきらめず利用者さんのために努力を

続ける強い気持ちを持ってください」と講評しました。菅野教授は『働くを提供し、働く力を伸ばすために』をテーマに講演。新堂塾での取り組みの基本をおさらいし、利用者さんを育てていく上での今後の課題を段階的に示しました。

翌日の分科会で塾生は、これからの目標を再確認。「卒業して終りではなく、今日からが新たなスタート地点」と初心を忘れず、今後も給料増額への取り組みを続ける意志を確かめました。

■ 合同研修会・修了式の内容

日　程	プログラム
10月19日	■ 瀬戸理事長挨拶
	■ 新堂塾成果報告（新堂塾長より講評） ■ 楠元塾中間報告（楠元塾長より講評） ■ 実践塾卒業者代表より発表（２名） ■ 菅野教授講評・講義
	■ 表彰式
10月20日	■ 新堂塾分科会　　■ 楠元塾分科会

※P34楠元塾の合同研修会･修了式（中間報告）の内容は上記のとおり

合同研修会・修了式

２年や３年で成果が出なくても、頑張り続ける強い意志を持ってほしい

10月19・20日、第３期・新堂塾生は２年間の研修を終え合同研修会・修了式を迎えました。瀬戸理事長は「みなさんは、いろいろなことを学び苦労をしてきましたが、前に進む糧となったはず。いまはまだ満足できる数字に到達していなくても、胸を張って報告してください」と挨拶。その言葉を受け、８名の塾生が、それぞれ取り組んできた内容と成果、達成できなかった点や原因も振り返りました。続いて弁当・配食サービスの第２期楠元塾塾生が中間成果を報告。さらにお祝いに駆けつけた新堂塾・楠元塾の卒業生２名が近況を伝えました。

「入塾当初は、1日に販売できる弁当は片手で数えられる程度。そんな私でも塾長のメニューや盛り付け方を真似しながら少しずつ改善し、卒業時には約130食まで伸ばしました」と楠元塾１期生の（NPO）さくらんぼのお家の飯田 香代子さん。新堂塾1期生の（社福）ゆたか福祉会の稲垣伸治さんは「塾在籍中には、誇れるような結果を残せていません。しかし、塾での学びを根気よく実践し続け、一つ成果を上げると次の課題を職員全員で設定。いまでは入塾時の目標の月額給料５万円を超えています」と伝えました。「困ったときは、塾で学んだ原点に立ち返れば問題も解決できます」と瀬戸理事長は塾生たちにエールを贈り、新堂塾長から塾長賞の表彰も行いました。

翌日の分科会では、卒業後も塾長・菅野教授の教えを忘れず、目標に向かって取り組みを続けていこうと確認しました。

塾長賞受賞者

(社福)三木市社会福祉協議会
三木市立障害者総合支援センター「はばたきの丘」

高垣 愛さん

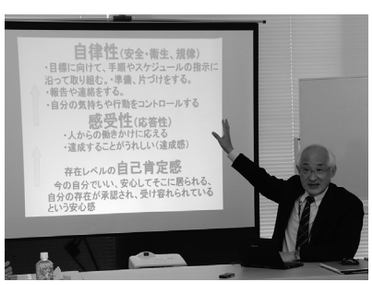
ヘルメット部品製造などで給料を増額

ヘルメット部品の製造を事業の柱にするため、お客様のもとに職員が連携して営業をかけて売上を伸ばすことに成功した「はばたきの丘」。「当初は、職員の同意を得るために塾長や菅野先生に助けていただいたことも。いまはPDCAを回しながら、全部署が利用者さんのために同じ方向を向き、力を合わせています」。新堂塾長は「32名の利用者さんに最も高い伸び率で給料を支給することができた高垣さんの努力は、みんなが認めるところです」と評価。「出来高ではなく、仕事を時給600円でお客様に契約いただくことで、収入の安定を図れるようになりました。これからは利用者さんの中から作業班ごとにリーダーを育て、一人ひとりの職業能力を向上するとともに、全体の品質とスピードのアップを同時に高めるようにより工夫していきます」と高垣さんは今後の抱負を話しました。

■ 新堂塾各塾生の2年間の変化

単位：円（売上金額、平均給料）　単位：人（支払人数）

		平成28年９月	平成28年12月	平成29年３月	平成29年６月	平成29年９月	平成29年12月	平成30年３月	平成30年６月	平成30年９月
ウィングデイ	売上金額	6,087	23,589	28,532	21,948	33,647	34,800	32,146	43,136	43,840
	支払人数	4	6	6	8	8	8	6	7	7
	平均給料（一人当たり）	2,663	3,932	4,755	2,744	4,206	4,350	5,358	6,162	6,263
チャレンジ・コヤリバ	売上金額	165,711	132,179	221,683	214,111	283,960	301,727	304,388	333,369	296,150
	支払人数	9	8	9	8	9	9	9	11	11
	平均給料（一人当たり）	16,217	14,198	25,276	23,347	28,370	29,954	30,271	27,436	24,207
あいらぶ工房	売上金額	160,033	197,023	211,690	267,258	192,645	182,172	233,847	184,856	187,952
	支払人数	12	12	12	12	12	10	10	9	9
	平均給料（一人当たり）	9,930	12,745	14,047	14,273	14,195	15,967	20,615	17,276	18,402
はばたきの丘	売上金額	726,601	655,444	778,617	853,574	797,731	861,301	816,582	934,655	859,896
	支払人数	31	31	31	29	28	28	31	32	33
	平均給料（一人当たり）	38,591	15,678	45,879	21,449	21,339	20,440	59,979	24,215	34,755
白いキャンバス	売上金額	388,317	551,155	452,665	225,744	241,405	230,051	469,385	202,072	331,580
	支払人数	19	18	17	18	18	17	17	17	17
	平均給料（一人当たり）	13,153	13,248	13,794	14,622	14,833	14,912	14,600	15,776	15,694
エール	売上金額	1,701,617	1,522,825	1,662,379	2,356,240	1,512,359	2,064,238	2,080,786	2,442,140	2,359,647
	支払人数	28	28	28	30	32	31	30	34	32
	平均給料（一人当たり）	30,350	30,350	30,350	32,746	30,700	30,699	30,699	30,750	30,750
ワークイン関前	売上金額	1,526,105	1,125,678	1,663,729	1,419,747	1,566,971	1,416,773	1,308,087	1,877,982	1,212,008
	支払人数	27	27	27	26	26	26	26	26	25
	平均給料（一人当たり）	38,072	37,858	76,468	46,470	42,516	42,516	102,661	16,797	33,890
武蔵境ワーキングセンター	売上金額	1,809,747	1,360,831	1,643,478	1,450,890	1,524,809	1,215,198	1,507,847	1,724,985	1,594,895
	支払人数	23	23	23	22	22	22	22	23	23
	平均給料（一人当たり）	51,147	47,003	62,249	62,102	56,144	54,839	58,336	60,230	51,968



楠元塾
（第２期）

平成29年９月「弁当・配食サービス事業」を対象として給料増額を目指す楠元塾（第２期）を開講しました。塾長である（社福）キャンバスの会 楠元理事長は、“みなさんは第１期生が築いた弁当・配食サービス事業のノウハウをそのまま取り入れ、活用できます。さらに失敗例も成功例も参考にでき、より効率的に目標達成への近道を進めます。目指すのは、お客様が求める売れるメニューづくりと、利用者さんの給料アップのためになにをするかです”と塾生に呼びかけています。

●塾　長：（社福）キャンバスの会　理事長　楠元 洋子 氏

○略歴

2007年に（社福）キャンバスの会を立ち上げ、「障がいの重さに関係なく、一人でも多くの利用者さんに働く場とお給料を」のテーマで弁当・配食サービス事業を開始。現在1日2000食以上を販売。その他にもリネン事業、レストランの運営など、幅広く障がいのある方の働く場を創出している。また、2017年には重症心身障がい者と家族のために医療的ケアもできる福祉施設『はながしま診療所』を開設した。2014年９月～2016年９月『夢へのかけ橋実践塾　楠元塾（第１期）』塾長。2017年９月～『楠元塾（第２期）』塾長。第13回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（2012年度）。

塾長の名　言

「弁当配食サービスは、日々改善できる有利な事業」

「弁当配食サービスは、毎日、売上結果が出てきますし、メニューごとの販売数からお客様の求める傾向も見えてきます。PDCAでは、これをもとに、新しいメニュー開発や営業先の開拓、また生産体制の見直しなどを行ってください。日々改善、工夫できるのが、この事業の強みです」。

楠元塾塾生：８施設（平成 31 年３月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【今後の方向性】
（NPO）山脈	キッチンハウスみやま	就労継続Ｂ型	宅配弁当・昼食・イベント出店	現在 270 ～ 300 食を 500 食へ
（社福）八ヶ岳名水会	多機能事業所のはら楽団	就労継続Ａ・Ｂ	弁当・給食・食堂	弁当を中心とした事業
（社福）小国町社会福祉協議会 サポートセンター悠愛	就労支援センター 陽なたぼっこ	就労継続Ａ・Ｂ型	弁当	20 名に 80,000 円支給
（一社）おひさま	いいはたらくばトポス	就労継続Ｂ型	弁当を中心とした事業	弁当を中心とした事業
（社福）入間東部福祉会	三芳太陽の家 ハーモニー	就労継続Ｂ型・生活介護	弁当	弁当を中心とした事業
（NPO）海がめ	海がめ物語	就労継続Ｂ型	弁当・給食・スイーツ	４月に 100 食を目標
（NPO）ふれあい	就労継続支援Ｂ型 キャッチボール	就労継続Ｂ型	弁当	高齢者向け
（NPO）レスパイトケアはちもり	多機能事業所森のこびと	就労継続Ｂ型	パン・野菜生産・黒にんにく製造・食堂業務委託	弁当を中心とした事業

楠元塾活動報告

第1回塾生施設の見学・勉強会

● 日 時：平成30年４月12・13日
● 場 所：(NPO)海がめ・海がめ物語(栃木県栃木市)／
(NPO)山脈・キッチンハウスみやま(群馬県北群馬郡)

楠元塾は、４月12・13日に２つの塾生施設で見学・勉強会を実施しました。４月12日は、栃木県栃木市の（NPO）海がめの事業所「海がめ物語」へ。厨房など仕事場を見学した楠元塾長は、早速、包丁やまな板の殺菌の仕方、揚げ物用の油の保管・取り替えのタイミングなど衛生管理について指摘しました。さらに「配膳台のレイアウトや調理器具の置き方も、利用者さんが動きやすい動線へと工夫し、移動の際には互いに声かけをして安全確認を行ってください」と指導しました。塾生からは「フライヤーの掃除は、油が温かいうちにやった方が油汚れが落ちやすい。オーブンの扉も同じで、最初はちょっと大変だけど、頑張ってやっておけば、毎日の掃除も楽になるはず」などの改善案も。楠元塾長は「早め早めにやることですね。効率的に仕事を進められるように、職員と役割分担をしておきましょう。利用者さんの支援は他の職員に任せ、調理場の責任者である塾生は、仕込みや調理の段取りから配達に間に合うように全体の進行管理を担当し、原価率も正確に出してください」と話しました。

その後、群馬県北群馬郡へ移動し、翌日は（NPO）山脈の「キッチンハウスみやま」を見学。弁当を試食した楠元塾長は「この美味しさで売上が伸びないのは、生産性が悪いからです。まずは、いま使用しているリターナブルの容器を使い捨て容器に変えてみてはどうでしょう。これまで容器の洗浄作業を担当していた利用者さんが、ニンジンの皮剥きやカットなど、仕込みを行う人手を必要とする仕事に参加でき、作業もはかどるはずです」と提案しました。「一番必要なのは、利用者さんの仕事への意欲を高めることです。みんなが目にする一番大きなカレンダーに、その日の売上目標と実際の販売個数を書き、目標に達したときは印を付けます。これを見れば、利用者さんもやる気になってきますよ」とアドバイスしました。

さらに全塾生に向けて「お弁当は2020年までにHACCPを取得しないと、病院などの仕事を受注できなくなります。その地域で“一番衛生管理がしっかりしている弁当屋”と評価されるレベルまで高めていきましょう」と、衛生管理への取り組みを今後の課題の一つとしました。

■ 第１回塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
４月12日	■ 海がめ物語見学・調理指導 ■ 試食会・勉強会 （キッチンハウスみやまへ移動）
４月13日	■ キッチンハウスみやま見学・調理指導 ■ 試食会・勉強会

第２回塾生施設の見学・勉強会

● 日 時：平成30年８月30・31日
● 場 所：（社福）八ヶ岳名水会・のはら楽団（山梨県北杜市）／
（NPO）レスパイトケアはちもり・森のこびと（長野県東筑摩郡）

８月30・31日に行った第２回見学・勉強会で最初に訪れたのは、山梨県北杜市にある（社福）八ヶ岳名水会の事業所「のはら楽団」です。のはら楽団は、法人の給食を行っていますが、新たに弁当事業もはじめようと入塾しました。「美味しく見せるための工夫は凝らしていると思いますが、盛り付け用のサンプルはつくっていますか。ケチャップのかけ方や枝豆の入れ方など、利用者さんには言葉で説明するよりも目で見てわかりやすくしてあげることが大切です」と楠元塾長。さらに、作業効率を上げるために、３・４列の配膳を２列にするようにアドバィスしました。「手前を開けることでボウルなどを置けて作業がしやすくなり、配膳のスピードアップができます。また職員は、利用者さんの体調を気遣う声かけだけでなく、作業を進展させるための明確な指示が出せるようになってください」と伝えました。

翌日は、長野県の（NPO）レスパイトケアはちもりの「森のこびと」のお弁当づくりの作業場を見学。すみずみまで5Sが行き届き、利用者さんと職員が、狭い作業場を効率良く動く姿に塾長も感心しきりです。「人口の少ないこの地域では高齢者の割合が多く、高齢者食のお客様を獲得することが売上アップに直結するのでなんとかしていきたい」と塾生は話します。昨日見学したのはら楽団も含め、多くの塾生が今後の課題としているのが高齢者食、高齢者施設への配食サービスです。

「高齢者食と一般の弁当を一緒にやっていくには、それなりの覚悟と責任が必要となります。みなさんは、刻み食やとろみ食などの高齢者食のお弁当技術をしっかりと持っていますか。それがあれば、他の弁当屋やコンビニなどに大きく差を付けることができます。また、美味しさだけでなく、カロリー計算や栄養バランスと健康面までを配慮したメニューを提案できるように、管理栄養士も雇った方が良いでしょう。そしてなによりも大事なのは、衛生管理を徹底し、地域の方、高齢者施設、病院などにしっかりと信頼いただける体制を整えておくことです。5Sだけではなく、消毒と洗浄の２つを加えた7Sを実践するようにしてください。そのためには手洗い器を自動化するなどの改善を一つひとつ進め、HACCPにも対応できるように準備をしていきましょう」と全塾生に対して、新たな課題とアドバイスを送りました。

■ 第２回塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
８月30日	■ のはら楽団見学・調理指導 ■ 試食会・勉強会 （森のこびとへ移動）
８月31日	■ 森のこびと見学・調理指導 ■ 試食会・勉強会

合同研修会・修了式（中間報告）

※概要・プログラムはP29を参照ください。

● 日 時：平成30年10月19・20日
● 場 所：ホテルフクラシア晴海（東京都中央区）

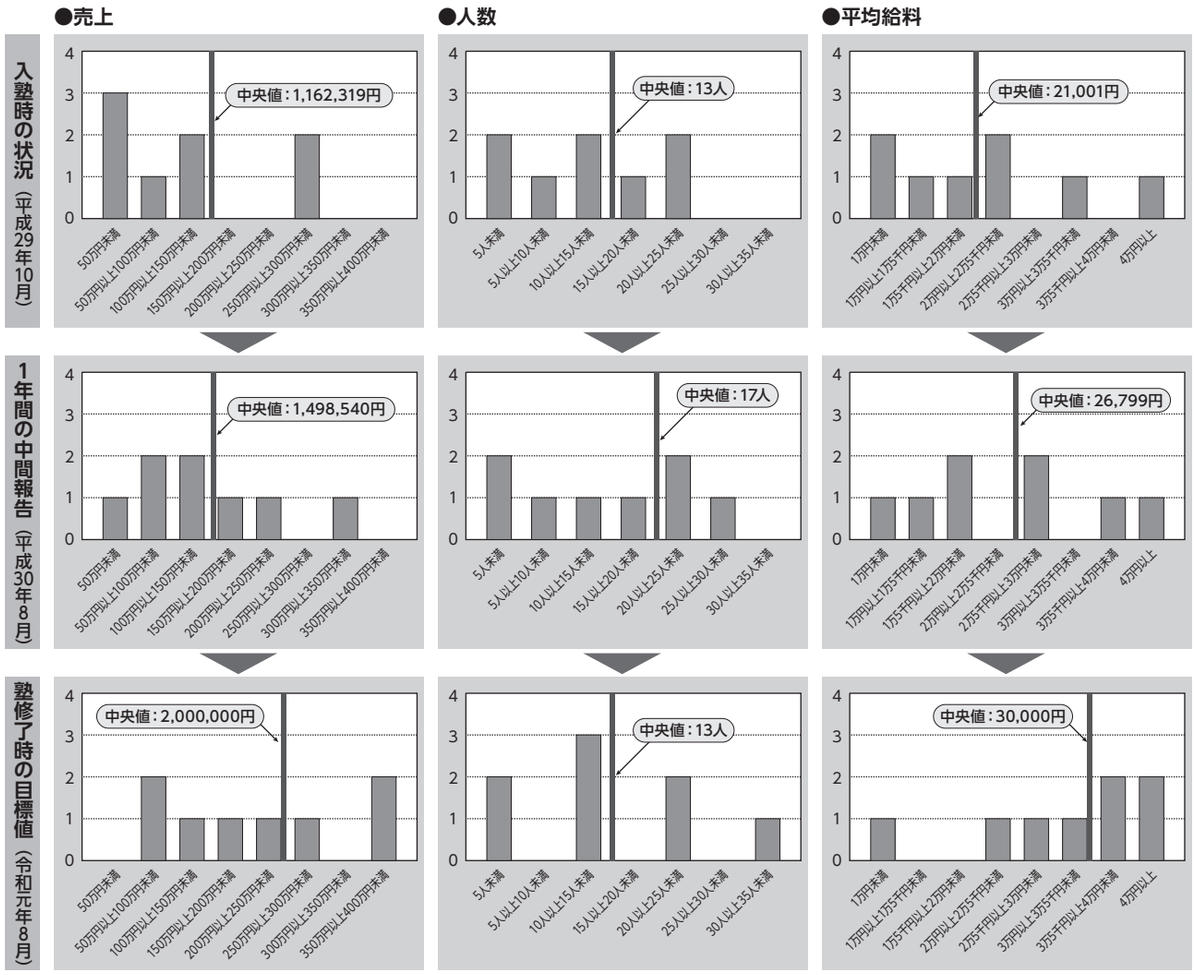
第2期楠元塾生が、合同研修会・修了式で中間報告を行いました。

「男性客が多いのでボリュームのある種類を増やしてみたところ、1日約70個から約220個まで販売数が増えました」。「入塾するまで経費についてはあまり深く考えていませんでした。塾長に棚卸しや弁当の容器などでコスト削減する方法をアドバイスいただき、少しずつ利益率が向上し、利用者さんの給料も増額できています」。「利用者さんに作業手順をわかりやすく指示ボードに書き、それぞれがどんな仕事をしているのかを理解できるようにしました」。

翌日の分科会では、この中間報告をもとに、応援に駆けつけた1期生のアドバイスも受けながら、改善点を見直していくことに。

「入塾したときに思い描いたことを、みなさんはどこまで達成できていますか。弁当の盛り付け、在庫管理や販売管理、働く環境として動線や衛生面など、1年前とどう変化しましたか。PDCAサイクルでつねに全職員と目標を共有し、協力し合ってください。まだ1年あると思うか、もう1年しかないと考えるかで、これからの取り組み方は大きく違ってきますよ」と楠元塾長は塾生を鼓舞しました。

■ 楠元塾塾生の中間報告（1年間の成果と最終目標の分布図）



各塾生の中間報告とコミットメントした最終目標

■ キッチンハウス　みやま

項　目	入塾時の状況（2017年10月）	1年間の中間報告（2018年8月）	塾修了時の目標値（2019年8月）
売　　上（円）	2,524,140	2,394,440	3,500,000
1日あたりの個数（個）	257	220	300
利用者人数（人）	23	20	20
平均給料（円）	21,001	26,799	30,000

■ のはら楽団

項　目	入塾時の状況（2017年10月）	1年間の中間報告（2018年8月）	塾修了時の目標値（2019年8月）
売　　上（円）	1,162,319	1,498,540	1,900,000
1日あたりの個数（個）	93	121	166
利用者人数（人）	7	7	10
平均給料（円）	B 9,600/ A 72,792	B 13,475/ A 74,480	B 28,900/ A106,920

■ 陽なたぼっこ

項　目	入塾時の状況（2017年10月）	1年間の中間報告（2018年8月）	塾修了時の目標値（2019年8月）
売　　上（円）	2,572,550	3,046,220	3,607,104
1日あたりの個数（個）	263	280	299
利用者人数（人）	13	17	13
平均給料（円）	71,517	73,216	78,797

■ いいはたらくばトポス

項　目	入塾時の状況（2017年10月）	1年間の中間報告（2018年8月）	塾修了時の目標値（2019年8月）
売　　上（円）	733,860	1,800,905	2,688,000
1日あたりの個数（個）	70	201	320
利用者人数（人）	15	24	24
平均給料（円）	21,581	27,104	45,000

■ 三芳太陽の家ハーモニー

項　目	入塾時の状況（2017年10月）	1年間の中間報告（2018年8月）	塾修了時の目標値（2019年8月）
売　　上（円）	227,600	537,550	700,000
1日あたりの個数（個）	38	57	80
利用者人数（人）	10	10	13
平均給料（円）	32,640	36,082	35,000

■ 海がめ物語

項　目	入塾時の状況（2017年10月）	1年間の中間報告（2018年8月）	塾修了時の目標値（2019年8月）
売　　上（円）	246,000	661,200	1,000,000
1日あたりの個数（個）	29	87	125
利用者人数（人）	3	2	4
平均給料（円）	10,616	16,900	35,000

■ 就労継続支援B型 キャッチボール

項　目	入塾時の状況（2017年10月）	1年間の中間報告（2018年8月）	塾修了時の目標値（2019年8月）
売　　上（円）	1,183,080	1,127,700	2,000,000
1日あたりの個数（個）	122	130	210
利用者人数（人）	24	26	30
平均給料（円）	17,575	17,711	21,000

■ 森のこびと

項　目	入塾時の状況（2017年10月）	1年間の中間報告（2018年8月）	塾修了時の目標値（2019年8月）
売　　上（円）	140,000	223,500	500,000
1日あたりの個数（個）	13	23	50
利用者人数（人）	1	2	2
平均給料（円）			

第3回塾生施設の見学・勉強会

● 日 時：平成31年1月16～18日
● 場 所：（一社）おひさま・いいはたらくばトポス（茨城県牛久市）／
（社福）入間東部福祉会・三芳太陽の家ハーモニー（埼玉県入間郡）

1月16～18日、楠元塾は二つの塾生施設で見学・勉強会を行いました。16・17日は、茨城県牛久市の（一社）おひさまの事業所「いいはたくばトポス」へ。初日に仕事場を見学し、翌日は見学の続きと試食会・勉強会を行いました。「料理は、どれも美味しくできています。あとは、盛り付けを工夫すればもっと人気が出るはずです」と楠元塾長。9マス弁当ではどれが主役のおかずとなるのかを見映え良く盛り付けるポイントなどを説明しました。さらに「棚卸しもきちんとやっていきましょう。醤油などのボトルにシールを貼り、古いものから順に使えるようにわかりやすく工夫すること。賞味期限が切れたら捨てるしかない、それはお金を捨てるのと同じですよ」とアドバイス。また、調理の手順について「これからの季節、より気をつけてほしいのは衛生管理です。たとえば、前日に用意した煮物は、詰める前にもう一度きちんと火を通すなど、やるべきことはたくさんあります」と指導しました。

18日は、埼玉県入間郡の（社福）入間東部福祉会の「三芳太陽の家ハーモニー」を見学し、試食も行いました。ハーモニーは、三芳町の文化会館内で福祉喫茶を運営し、弁当の販売も行っています。利用者さんの仕事ぶりなどを見学した楠元塾長は「コロッケも随分と上手に揚げることができるようになりましたね。職員の指導が良いのだとわかります」と評価しました。ハーモニーは、お客様が気持ちよく寛げるように清潔に店内を清掃し、厨房や食材庫の衛生管理もきれいに整理整頓されているように見えます。感心して見学している塾生たちに対し、楠元塾長は「これではまだ5Sの段階です。どこで靴を脱ぎ、スリッパに履き替えるのか。手洗いは自動化して洗浄・消毒液と決められた量と時間で毎回行えるようにする。ユニフォームは毎日洗い、スリッパも毎日外に干す。これは気をつけるべきことの一部に過ぎませんよ」と指摘。「衛生管理は、飲食業の基本です。そこを怠るとお客様や地域の方からの信用を失い、取り返しがつかないことになってしまいます。すぐにすべてを実現することは無理でも、いまから段階的に改善を進めてください」と全塾生に厳しくアドバイスしました。

■ 第３回塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
1月16・17日	■ いいはたらくばトポス見学・調理指導 ■ 試食会・勉強会 （ハーモニーへ移動）
1月18日	■ ハーモニー見学・調理指導 ■ 試食会・勉強会

第４回塾生施設の見学・勉強会

● 日 時：平成31年1月24・25日
● 場 所：（NPO）ふれあい・キャッチボール（宮崎県東臼杵郡）

1月24・25日、見学・勉強会に訪れたのは、宮崎県東臼杵郡にある（NPO）ふれあいの事業所「キャッチボール」です。キャッチボールの塾生は、思ったように給料を増額することができない、職員をまとめていくことができないと悩んできました。そこで勉強会には、塾生だけではなく事業所のスタッフも参加。どうやって原価や人件費などを計算していくのかを学び、全職員が積極的に事務処理や事業所経営に参加できるようにしていきました。

■ 第４回塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
1月24日	■（NPO）ふれあい・事務打ち合わせ
1月25日	■ キャッチボール見学・調理指導 ■ 試食会・勉強会

第５回楠元塾研修会

● 日 時：平成31年3月13～15日
● 場 所：（社福）小国町社会福祉協議会サポートセンター悠愛・陽なたぼっこ（熊本県阿蘇郡）／
（NPO）夢・さぽーと（熊本県宇城市）

3月13・14日、楠元塾２期生の第５回研修会を熊本県阿蘇郡の（社福）小国町社会福祉協議会サポートセンター悠愛の事業所「就労支援センター陽なたぼっこ」で行いました。８名の塾生施設を見学してきましたが、この事業所が最後となります。

仕事場の様子を見た楠元塾長は「利用者さんの手洗いの時間が短く、まだ雑になっています。職員が手洗いの方法をしっかりと教えてあげてください」とチェック。試食後には「定番メニューは充実しているので、イベントや行事用の特別メニューをはじめては」とアドバイスしました。とろみや刻み食など他の弁当屋さんにはない高齢者食のノウハウも持つ陽なたぼっこの売上の柱は、高齢者への配食サービスです。「一度に盛り付けようと、たくさん弁当箱を並べすぎていますね。並べる数を減らして、できたものから早く配達に出られるようにすると効率も上がると思います。それでも高齢者一人ひとりの自宅に弁当を届けるのは大変です。私の施設でも限界を感じて個人への配食を辞め、高齢者施設などにまとめて届けるように変えていきました。デイサービスや高齢者施設の給食などを代行してやれないか、営業してみてください」と伝えました。

見学後は、各塾生が近況を報告。前回、見学・勉強会で訪れたキャッチボールは「職員のやる気に火が付き、いまはみんなで新規顧客開拓や新商品の開発を進めています」とうれしそうです。リターナブル容器から使い捨て容器に変えたキッチンハウスみやまは「容器の洗浄作業から解放された利用者さんが仕込み作業などに加わり、生産性も盛り付けも良くなりました。水道代や光熱費も削減できています」など、各人が取り組みを報告しました。

翌日は、同じ熊本県の宇城市でお弁当のかず味を運営する楠元

塾一期生「夢・さぽーと」へ。「さすがに先輩だけありますね。いいものを作っています」と楠元塾長が評価するほど、品質の高いメニューに美しい盛り付け、さらに５Ｓを徹底した仕事場にキビキビと働く利用者さんの姿など、すべてが塾生たちの良い手本になっています。「利用者さんのモチベーションを高めるためにどんな工夫をしているか」との塾生の質問に、夢・さぽーとの福原和美理事長は「皆勤賞を出しています。利用者さんみんなの前で受賞者に手渡し、次は私もと目標になってもらっています。これをはじめてから休みがちだった利用者さんも継続できるようになりました」と伝えました。なぜもっと売上が伸びないのか不思議だと話す楠元塾長に、福原さんは「唐揚げは人気がありおかずとして購入する方が多いのですが、弁当400円に対し300円にしかならず売上が減るため、おかずの販売は止めました」と報告。「それはもったいない。もう一品足して380円のおかずとして販売すれば良いのです。お客様が求めている商品をどう売るか。工夫次第で売上は変わりますよ」とアイデアを出しました。「塾生のみなさんは、いろいろな改善のヒントを得たと思います。実践塾もあと6ヵ月です。自分たちにできることを一つひとつやり遂げ、少しでも結果を出してください。その積み重ねが、職員と利用者さんの自信となり、きっと次につながっていきますからね」とラストスパートへ向けて、楠元塾長が塾生を励ましました。

■ 第５回楠元塾研修会の内容

日　程	プログラム
3月13日	■ 陽なたぼっこ見学 ■ 報告会
3月14日	■ 陽なたぼっこ見学 ■ 試食会・勉強会 （夢・さぽーとへ移動）
3月15日	■ 夢・さぽーと見学 ■ 試食会・勉強会

**楠元塾
塾生の変化**

（一社）おひさま『いいはたらくばトポス』

弁当事業

弁当事業をはじめるために入塾した茨城県牛久市の（一社）おひさまの事業所「いいはたらくばトポス」。平成30年11月から弁当事業を開始し、1月の見学・勉強会で楠元塾長から受けたアドバイスを指標に改善に取り組んでいます。さらに、他塾生の施設を見学する際には、参考にすべき点を次々と写真に撮影。「食材ストックの方法も、こんな風にエリアを分ければ良いのだと、実際の姿を拝見できたことでよく理解できました。この写真を見れば、職員や利用者さんにも一目で伝わると思います」。他にもメニュー開発や盛り付け方法、7Sの具体的な実践方法などの良い事例を取り入れるとともに、お店のPRや営業活動も積極的に進めています。その結果、当初は1日60食ぐらいだった弁当販売数が、多い日で423食に。「生産性も向上し、8時から作り始めて10時20分には弁当作業が終わるようになりました」と報告。楠元塾長は「やる気満々ですね。この調子で改善すれば、さらに100個は伸ばせるでしょう」と評価しています。

夢へのかけ橋実践塾　卒業者へのサポート

利用者さんの給料増額という同じ目標に向かい２年間学び、実践してきた夢へのかけ橋実践塾の卒業者たち（第１・２期武田塾、亀井塾／第１・２・３期新堂塾／第１期楠元塾、熊田塾、５万円必達塾）。そのつながりは現在も続き、卒業者自らが研修会などを企画し、その開催をヤマト福祉財団がサポートしています。

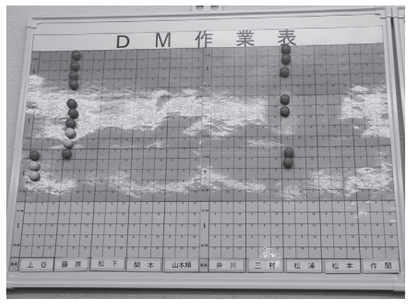
新堂塾・第４回フォローアップ研修in姫路

● 日 時：平成30年11月16・17日
● 場 所：（NPO）出愛いの里福祉会・障がい者支援センター出愛いの里（兵庫県姫路市）

実践塾卒業後も、互いの取り組み状況を報告し、利用者さんの給料増額と職能アップなどのヒントを共有し合っている新堂塾のフォローアップ研修。第４回は、新堂塾１期から３期までの卒業者８名が参加し、新堂塾第１期生の卒業者・兵庫県姫路市の障がい者支援センター出愛いの里で開催しました。出愛いの里は、DMの封入封かん事業を事業の柱として、就労継続支援B型の23名の利用者さんが、作業分化とライン化により日々仕事に従事しています。

初日は、仕事場を見学した後、仕事の進め方や作業場のレイアウト、机の高さや出来高表などの改善アイデアを出し合いました。続いて各人の現在の実践報告へ。出愛いの里では、生活介護の12名の利用者さんの働く力をどう育てているかについても報告しました。

翌日の研修会には、出愛いの里の職員も参加。昨日に続き卒業者の実践報告と質疑応答からスタートしました。その後は、新堂塾長の「仕事の実際」と題した講演へ。ポイントは、DM業界の変化に今後どう対応していくかです。塾長施設のチャレンジャーでは、大量のDMも郵便番号ごとに件数をチェックできる検査機を導入しているなど、具体例を交えて話をしました。続いてアドバイザーの東京学芸大学菅野教授が「働くを提供し、働く力を伸ばすために」をテーマに講演。「目の前の売上や給料と数字ばかりに気を取られてしまい、本来の目的を見失っていないだろうか。利用者の働き続ける態度を育てること、障がいを言い訳にしないで、そこに挑戦することこそが、福祉の職員の仕事です」と、卒業者たちの目指すべき指標を改めて提示しました。



■ 第４回フォローアップ研修の内容

日　程	プログラム
11月16日	■ 出愛いの里見学 ■ 卒業者報告・質疑
11月17日	■ 卒業者報告・質疑 ■ 新堂塾長の講評・講演 ■ 菅野教授の講評・講演

経済的自立力達成事業所紹介サイト
「夢へのかけ橋」報告

（NPO）五島あすなろ会　五島あすなろ作業所

事業所紹介

基本情報　2018年度　　更新日：2018年10月30日

食品製造	対象事業売上総額（年間）	28,011,151 円	対象事業売上総額（月額）	2,334,862 円
	対象事業給料支給総額（年間）	16,585,750 円	対象事業給料支給総額（月額）	1,382,146 円
	対象事業月額平均給料	62,825 円	対象事業人数	22 人
NPO法人あすなろ会　五島あすなろ作業所				長崎県五島市

ステップアップ助成金

助成金種類・金額／2018年度ステップアップ助成金　167万円
助成内容／醪研磨機：1台、シュリンク機：1台

事業形態	就労継続Ｂ型	利用者種別	混合
事業所のある環境	島の玄関である福江港を中心として発展した市街地は、公共施設、住宅、商業施設の建設がむずかしく、人口に入った昭和町に建設されることになった。それに伴い、五島あすなろ作業所がある緑昭町が島の中心へ移っている。住宅も増え、島の主要な地域につながる幹線道路が通り、総合病院も近くにあり、利用者様にも安心できる環境である。		
利用者合計人数（事業所全体）	22人	年度月額平均給料（事業所全体）	62,825円
ホームページ・連絡先等	http://www.umakafoods.jp/ 長崎県五島市昭和町2176番地1		

アクセスマップ

売上・月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		2018年9月単月	2017年度	2016年度
売上（年間）	対象事業	2,602,859	28,011,151	29,478,957
	その他			
	合　計	2,602,859	28,011,151	29,478,957
人数（期末）	対象事業	20	22	20
	その他	0	0	0
	合　計	20	22	20
給料支給総額	対象事業	1,038,550	16,585,750	14,439,900
	その他	0	0	0
	合　計	1,038,550	16,585,750	14,439,900
月額平均給料	対象事業	51,928	62,825	60,166
	その他			
事業所全体月額平均給料		51,928	62,825	60,166

更新日：2018年10月30日

磨きをかけた特産品で、地理的制約から飛翔する

事業展開の経緯

■地域経済圏の外側を目指す

東シナ海に浮かぶ五島列島の福江島で、長崎県内トップクラスの約63,000円の給料を実現している「五島あすなろ作業所」。その主な事業は、五島市指定ゴミ袋の製袋事業とお昼参り代行事業、そして、五島手延べうどんの製造販売です。

上五島を本場とする「五島手延べうどん」は製造過程で塗り伸ばされる椿油により、細麺ながら強いコシを持つのが特徴です。認知度が昨今、とみに上昇し、日本三大うどんの一つに数え上げられるようにもなりました。

製袋事業や昼参代行事業は島の経済に依拠したビジネスです。残念ながら、人口減少が見込まれている島の将来を考えると、いずれ事業収入の頭打ち・減少は避けられません。そこで「五島あすなろ作業所」は2011年ごろから、うどん事業の拡大に力点を置き、島外に討って出る戦略をチョイス。五島手延べうどんに注目が集まっている機運も追い風にして、2017年度はうどん事業単体で約2,800万円を売り上げました。

粉をこねるところから乾燥するところまで1日、翌日に麺をカットし包装、出荷

■波を捉えるのは、不断の取り組みがあってこそ

2001年に開設された五島あすなろ作業所ですが、そのルーツは1992年に登記されたうまか食品株式会社に遡ります。興したのは前理事長の土岐速志氏です。氏は業務上の事故で若くして足を失いました。

漁業やたばこ栽培といった一次産業が主体だった当時の五島に、障がいのある多くの働く場はごくわずか。そこで氏が自ら、障がい者の職場として立ち上げたのが、五島うどんの製造を手がける株式会社でした。その後、旧自立支援法の施行などにともなって、同社は五島あすなろ作業所に取収されました。

現在の高業績の背景には、地場の特産に目を付けた慧眼と、26年にわたって蓄えた確かな製造技術が生かされており、単にブームを捉えただけではないことが窺えます。

工場が併設された五島あすなろ作業所

給料増額への取り組み

■利用者の可能性を決めつけない

五島手延べうどんの製麺には多くの工程がともない、経験に基づいた臨機応変な対応が求められます。こ

（社福）さっぽろひかり福祉会　ひかり工房

事業所紹介

基本情報　2017年度　　更新日：2018年12月26日

パン製造販売	対象事業売上総額（年間）	77,822,935 円	対象事業売上総額（月額）	6,485,244 円
	対象事業給料支給総額（年間）	28,913,918 円	対象事業給料支給総額（月額）	2,409,493 円
	対象事業月額平均給料	69,504 円	対象事業人数	44 人
社会福祉法人さっぽろひかり福祉会　ひかり工房				北海道札幌市東区北33条東

ジャンプアップ助成金　障がい者福祉助成金　小倉昌男賞

小倉昌男賞
第11回ヤマト福祉小倉昌男賞（2010年）

障がい者福祉助成金
助成金種類・金額／2009年度福祉助成金　100万円
助成内容／バリアフリーのエントランスを整備

助成金種類・金額／2017年度ジャンプアップ助成金助成金　500万円
助成内容／石窯オーブンおよびコンベクションオーブン購入

事業形態	就労継続A型、就労継続B型	利用者種別	混合
事業所のある環境	新道東町内会　世帯数1,939世帯、人口約3,200人、一軒家175軒・９０%がマンション（分譲・賃貸）やアパート、都市型の人口変動ではあるが、町内会活動が活発、当法人は設立時（平成15年）から地域密着型事業を行っている。		
利用者合計人数（事業所全体）	44人	年度月額平均給料（事業所全体）	54,761円
ホームページ・連絡先等	mail：pankoubou@sapporohikari.or.jp 北海道札幌市東区北33条東14-5-1		

アクセスマップ

売上・月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		2018年(H30) 10月単月	2017(H29) 年度	2016(H28) 年度
売上（年間）	対象事業	7,325,993	77,822,935	79,484,494
	その他			
	合　計	7,325,993	77,822,935	79,484,494
人数（期末）	対象事業	34	44	43
	その他			
	合　計	34	44	43
給料支給総額	対象事業	2,502,574	28,913,918	28,759,409
	その他			
	合　計	2,502,574	28,913,918	28,759,409
月額平均給料	対象事業	73,605	54,761	55,735
	その他			
事業所全体月額平均給料		73,605	54,761	55,735

更新日：2018年12月26日

本格志向で地域と密着。 全員参加の経営で歩みを止めない

事業展開の経緯

■地域と歩むブーランジェリー

1992年、6畳2間からスタートした作業所を原点とする社会福祉法人さっぽろひかり福祉会が利益の上がらない下請け作業からの脱却を図り、パンの製造販売に踏み出したのは開所から11年を経た2003年のことです。

当初、出店に難色を示した地元町内会ですが、事情を理解すると協力に転じ、近隣町内会が後援会を務める全国でも珍しいケースとなりました。

店舗を置く新道東町内会は世帯数1,939世帯、人口約3,200人。うち90%がマンションなど集合住宅という都市型エリア。地域密着型事業を心がけ、近隣保育園からの給食パンの受注など、地域との連携を重視した営業を積極的に図り、住民の口コミや販売協力もあって、2003年度570万円だった売上は毎年約1.5倍で増加。2007年度には2,800万円を売上げ、精神障がい者の事業所では北海道で最も高い工賃を実現しました。

2009年には店舗の改装を実施。広さを35㎡に倍増させ、店舗から表通りまでのアプローチも改修しました。より店舗を認識しやすくすると同時にバリアフリー化で集客のアップを計画し、店舗売上比率が外販のおよそ半分の18%であった状況の改善に取り組みました。

2015年度には売上高8,600万円、平均給料は72,000円にまで到達しています。

2009年度の助成金で店舗までのアプローチを整備

給料増額への取り組み

■ 月額平均給料３万円以上を支給している事業所を先行事例として紹介

平成26年11月27日に開設した『経済的自立力達成事業所紹介サイト　夢へのかけ橋』では、「月額平均給料３万円以上を支給している事業所」を模範的な先行事例として紹介。平成30年度は、４事業所の紹介を加えました。

（社福）有田つくし福祉会　早月農園

事業所紹介

基本情報　2017年度　　更新日：2019年02月05日

	対象事業売上総額（年間）	13,747,057 円	対象事業売上総額（月額）	1,145,588 円
	対象事業給料支給総額（年間）	7,362,405 円	対象事業給料支給総額（月額）	613,533 円
農業	対象事業月額平均給料	30,298 円	対象事業人数	20 人
社会福祉法人有田つくし福祉会　早月農園				和歌山県和歌山県有田郡有田川町尾上

ジャンプアップ助成金　実践塾

障がい者福祉助成金
助成金種類・金額／2013年度障がい者給料増額支援助成金　100万円
助成内容／ビニルハウス新設

助成金種類・金額／2015年度障がい者給料増額支援助成金ステップアップ助成金　200万円
助成内容／選果機・モノレール設置・ラベルプリンタ

助成金種類・金額／2017年度ジャンプアップ助成金助成金　500万円
助成内容／相橋運搬用モノレールの修復費、ジャム・マーマレードの製造器の購入費

塾名・参加年／熊田塾　第１期 2015年10月～2017年9月

事業形態	就労継続Ｂ型	利用者種別	知的
事業所のある環境	有田みかんで有名な有田川町は多くの自然に囲まれており、みかんや山椒は有名ですがそのほかにも色々な作物が栽培されています。代々農家という家もたくさんあり、町の中心部のファーマーズマーケットはいつも賑わっています。ただ一方で過疎化が進んでいる地域も多く、高齢化少子化問題、後継者問題、耕作放棄地…など近年における様々な課題があります。 早月農園が所在する有田川町尾上地区は、すすきで名高い生石山のふもと『早月谷川』沿いの中山間集落で平地がほとんど無く、居宅は県道沿いのほか、果樹園と混在して急斜面に散在しています。 小売店が１店しかなく、公共交通機関の衰退（１週間に１回のコミュニティバスのみ）も見受けられます。自動車を利用できない層にはとても不便です。一人暮らしの家事労働負担も大きい地域です。		
利用者合計人数（事業所全体）	20人	年度月額平均給料（事業所全体）	30,298円
ホームページ・連絡先等	http://www.wasaren.org/hayatsuki/ 和歌山県和歌山県有田郡有田川町尾上13-1		

アクセスマップ

売上・月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		2018年(H30) 12月単月	2017(H29) 年度	2016(H28) 年度
売上（年間）	対象事業	2,546,793	13,747,057	9,116,846
	その他	207,616	2,526,106	2,583,154
	合　計	2,754,409	16,273,163	11,700,000
人数（期末）	対象事業	15	20	19
	その他			
	合　計	15	20	19
給料支給総額	対象事業	479,816	7,362,405	5,501,039
	その他			
	合　計	479,816	7,362,405	5,501,039
月額平均給料	対象事業	31,987	30,298	23,918
	その他			
事業所全体月額平均給料		31,987	30,298	23,918

更新日：2019年02月05日

一途さと柔軟な姿勢で地域の農業にエネルギーを注ぐ

事業展開の経緯

■利用者ニーズを満たすため、新規分野へ

５年という短期間で平均給料月額３万円の大台を達成した有田つくし福祉会「早月農園」。柑橘類を中心に山椒や梅、野菜の生産に乗り出したのは2012年のことです。

もともと、障がいを持った一人の女性の「私も働きたい、働く場所が欲しい」という願いに共感したボランティアたちが、1993年に開所した小規模作業所を源とする有田つくし福祉会は、内職のほか主にパンの製造と店頭および訪問販売に取り組んできました。

やがて、生地から手作りする本格派のパンは地域の方から好評を得、やり甲斐や責任のある仕事になったのですが、内職やパンの製造販売とはまた違った視点の作業である農業に着目しました。

苺では季節の野菜が中心、少量多品種で販売

■過疎地での農地保持にも貢献

有田みかんで知られる有田川町ですが、高齢化や耕作放棄地の問題は、日本の津々浦々で見られるように、この地でも例外ではありません。

事業所は、過疎の進む中山間地で廃校となった小学校校舎を無償で借り受けました。25a程度の農地で野

（NPO）さくらんぼのお家

事業所紹介

基本情報　2017年度　　更新日：2019年02月15日

	対象事業売上総額（年間）	21,913,998 円	対象事業売上総額（月額）	1,826,166 円
	対象事業給料支給総額（年間）	5,611,896 円	対象事業給料支給総額（月額）	467,658 円
弁当販売・配食	対象事業月額平均給料	93,532 円	対象事業人数	5 人
（NPO）さくらんぼのお家				島根県江津市桜江町谷住郷

実践塾

助成金種類・金額／「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金　300万円
助成内容／調理場改修工事・新厨房機器導入資金他

塾名・参加年／橋元塾　第１期 2014年～2016年

事業形態	就労継続A型　就労継続B型	利用者種別	混合
事業所のある環境	島根県西部で江の川流域人口２４０００人の江津市の中の人口２０００人の中山間地域に位置する桜江町という所で一人暮らしのお年寄り世帯がほぼ３分の１を占め企業は工場が１つと建築業、土木業の会社が６社あります。商店はAコープ、コンビニのローソン、ガソリンスタンド、郵便局、江津市役所桜江支所、消防署などがあり桜江町の中心地です。江津市の中心地に行くには約２０ｋｍあります。		
利用者合計人数（事業所全体）	15人	年度月額平均給料（事業所全体）	93,532円
ホームページ・連絡先等	島根県江津市桜江町谷住郷１７１３番地１		

アクセスマップ

売上・月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		2018年(H30) 8月単月	2017(H29) 年度	2016(H28) 年度
売上（年間）	対象事業	1,203,000	21,993,918	20,995,638
	その他	375,000	5,104,500	5,683,656
	合　計	1,578,000	27,098,418	26,679,294
人数（期末）	対象事業	5	5	8
	その他	9	10	16
	合　計	14	15	24
給料支給総額	対象事業	493,620	5,611,896	3,481,810
	その他	213,500	3,403,000	6,138,103
	合　計	707,120	9,014,896	9,619,913
月額平均給料	対象事業	98,724	93,532	36,269
	その他			
事業所全体月額平均給料		50,509	50,083	33,402

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料・賃料
土地			
建物			
設備	購入	3,500,000	
備品	購入	3,500,000	
その他			
合計	-	7,000,000	0

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	
借入金	4,000,000
ヤマト助成金	3,000,000
その他助成金	
合計	7,000,000

更新日：2019年02月15日

1万円がやっとだった給料を約5万円に

事業展開の経緯

■弁当事業で1日174食、売上185万円以上を達成

島根県江津市で就労継続支援A型（定員10名）・B型（定員20名）を運営する（NPO）さくらんぼのお家。2012年4月、障がい者が地域の人と一緒に働き、家庭を築きごく普通の幸せを実現できる職場づくりを目指して開所しました。開設当初はパン・菓子製造販売を中心に工賃5000円のB型でしたが、2014年に行政からの委託を受け、買い物難民や独居老人の見守りを兼ねた弁当・配食サービスを開始しました。2017年8月には1日の弁当販売数174食、売上は185万円を超え、利用者さんの給料も47万9493円を達成しています。

事業所の横は中国地方で最大の川「江の川」が流れる

■塾長の一喝で、負けず嫌いに火がつく

今は平均200食、多いときは300食を製造するさくらんぼのお家も、2014年10月の1日につくる弁当販売数はわずか3食、給料は1万円にやっと届く程度。それを改善できたのは、同年に弁当・配食サービス事業を専門に学ぶ夢へのかけ橋実践塾・橋元塾（1期生）に入塾したことがきっかけでした。

しかし、入塾して半年が経っても弁当販売数は伸びません。飯田香代子所長は「他の塾生が少しずつでも改善できているのに、自分はまったく成果が出ない。勉強会のたびに、このままだと次はないよと激励され

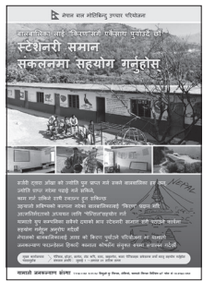
ネパール小児白内障治療プロジェクトの報告

プロジェクトの周知活動

ネパールの子どもたちに希望の光を届ける「ネパール小児白内障治療プロジェクト」が動き出しました。

2018年12月9日・10日にダーディン郡の二つの村で子どもたちを集めて、アイキャンプ（眼の診察）を行うことが決定。それに先駆けて、6月12日に羽田クロノゲートで勤務するネパール人社員と情報共有を行いました。

ヤマトグループのみなさんに周知するため、プロジェクト活動の意味や内容を告知するポスターを日本語とネパール語で作成し、ネパール人が多く働く主管支店やベースを中心にポスターを配布。また、アイキャンプに集まった子どもたちに贈るために、ヤマトグループのみなさんから文房具のご寄付を協力いただきました。



2018年12月現地へ

アイキャンプを行ったのは、首都カトマンズから車で約2時間かかる山間地域のダーディン郡ククレチョール村、ジーバンプール村の2ヵ所です。

9日はククレチョール村の「シュリ ダシュラトチャンドラ学校」、10日はジーバンプール村の「シュリ マヘシュダルマ学校」で、子どもたちの眼の診察を実施しました。2日間で診察したのは、424人。何らかの疾病者は131人。そのうちメガネが必要な子どもが24人、斜視や弱視のため手術が必要な子どもを4人見つけることができました。

4人のうち3人が2019年2月にカトマンズ医科大学での斜視矯正手術を行い、その後視力が向上しています。

<概　要>

●現地訪問メンバー
ヒカリカナタ基金7名、
ヤマト福祉財団3名

●現地カウンターパート／
本プロジェクトの受け入れ機関で診察・診療・手術を担当
プロフェッショナル・サポート・サービス・ネパール（PSSN）

●コンサルタント
菅沼一夫氏

●主な日程

12月 7日	羽田集合
8日	羽田→タイ・バンコク経由ネパール・カトマンズへ
9日	アイキャンプ1　ダーディン郡ククレチョール村 「シュリ　ダシュラトチャンドラ学校」 ネパール盲人卓球協会視察　日本人会商工部会で瀬戸理事長講演
10日	アイキャンプ2　ダーディン郡ジーバンプール村 「シュリ　マヘシュダルマ学校」 大使公邸訪問
11日	カトマンズ医科大学でヒカリカナタ基金　竹内理事長講演 視覚障がい者教育施設訪問
12日	カトマンズ→タイ・バンコク経由で羽田へ
13日	羽田着

12月 9日　アイキャンプ1／ククレチョール村 「シュリ　ダシュラトチャンドラ学校」

校長先生を先頭に、きちんと並んで
検査の順番を待つ生徒たち

視力検査は診療所の庭で

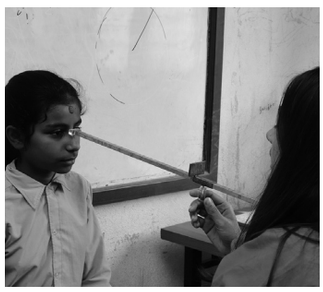
ヒカリカナタ基金の竹内理事長（左）

12月 9日　ネパール盲人卓球協会視察　日本人会商工部会で瀬戸理事長講演

ヒカリカナタ基金の竹内理事長は卓球のオリンピアン。
ネパール盲人卓球協会を訪問しました

在ネパール日本人会商工部会で現地でビジネスを行う
会員に向けて、瀬戸理事長が講演を行いました

12月10日　アイキャンプ2／ジーバンプール村 「シュリ　マヘシュダルマ学校」



斜視・弱視の子どもが
多くみられました

ヤマトグループのみなさんのご協力で
文房具をお届けしました

校庭で色覚検査を実施

12月11日　カトマンズ医科大学でヒカリカナタ基金　竹内理事長講演
視覚障がい者教育施設訪問

カトマンズ医科大学で、竹内理事長が講演

普通クラスで一番前の席に座る
目の悪い生徒

点字の教科書を読む、授業の様子を見学

料で実施します。

1000人の眼を治したい

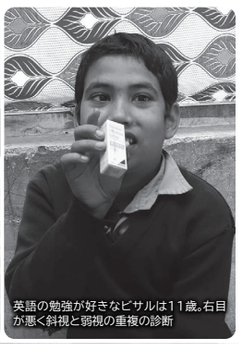
アイキャンプを終えて、TSSのリーダーであるDr. サビナは、話します。「私は目の見えない子どもが、自分で生活することができて、お金を稼ぎ、人生を広げられる、そのためのリハビリセンターを作りたい。それが私の使命だと思っています」。

第17回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者で、このプロジェクトをはじめたヒカリカナタ基金の竹内理事長は「みなさんの協力があって、ようやくネパールの子どもたちに会うことができました。裸足で走り回ってケンカもせず、検査の順番を待っている子どもたちは、私の子どもの頃を思い出させてくれます。私は1000人の眼を治したい。ヒカリカナタ基金は、ヤマト福祉財団と力をあわせて、大勢の方の目の改善に努力していきたいと思います。この活動が日本に伝わり、ネパールに伝わって、目の悪い人が見つけやすくなることを願っています」と、思いを話してくれました。

・・・

アイキャンプの他に、ネパール盲人卓球協会の見学、視覚障害者教育施設の訪問、カトマンズ医科大学での竹内理事長の講演、日本人会商工部会での瀬戸理事長の講演などを行い、ネパール小児白内障治療プロジェクトのスケジュールを終了しました。

メガネが必要なサンデスは恥ずかしがり屋の13歳


英語の勉強が好きなビサルは11歳。右目が悪く斜視と弱視の重複の診断

斜視が原因で、左目が特に悪くなった15歳のブラクルティ。斜視を治して女優になりたい

診察の終わった生徒に一人ずつ文具のプレゼント

眼は一番重要なので、1年に一度はこのような検査をやりたいとディープ校長

ヒカリカナタ基金の竹内理事長がカトマンズ医科大学で医学生に講演を行いました

スケジュール3日目の12月11日には、カトマンズ医科大学で竹内理事長が医学生に向け講演を行いました。

講演では、竹内氏の目が見えなくなって、どんな半生を送ってきたか、講演や本を書いた謝金でモンゴルやキルギスにマッサージを教える学校をつくったこと、ネパールでの活動のことなどを話し、最後に「みなさんが、患者さんの病気に対して、患者さんと一緒に戦う、一流の医者になってほしいと祈っています」と講演を締めくくりました。

医学生に混じって、竹内氏の講演を聴いていたナムナマチェンドラ校（普通クラスに目の悪い生徒が学んでいる）の目の悪い生徒が、「感動しました」「目が見えないことが苦だったけれど、話を聞いて楽になりました」「良かった、涙が出てきました」と、口々に感想を伝えてくれました。

在ネパール日本人会商工部会で瀬戸理事長が講演しました

1日目のアイキャンプが終了した12月9日の夜、在ネパール日本人会商工部会で『クロネコヤマトの「満足創造経営」～お客様の声は宝の山～』というタイトルで、瀬戸理事長が講演を行いました。

現地で働くビジネスマンや、旅行代理店、建設、教育、ホテル、飲食業などネパールで仕事を行う30数社の会員から関係者を含め50名以上が参加しました。

講演後には質問も多く飛び交い、盛況のうちに講演会が終了しました。

左目が斜視、偏頭痛もあるというカルパナ16歳。ネパール語の先生になりたい

クリシュナ校長を先頭にシュリー ダサラット チャンドラセカンダリースクールの生徒たちが検査の順番を待っています

ヒカリカナタ基金の竹内理事長もヤマトの法被を着て参加

斜視と弱視の両方を診断されたクリシャンは4歳、カトマンズで手術が必要

将来はおまわりさんになりたい、という14歳のバン

理事長も検査のお手伝いをしました

眼の中のホクロを大きくなる前に取る手術が必要と診断されたプーナムの夢は心臓専門のドクターになること

ネパール小児白内障治療プロジェクト

アイキャンプ（眼の診察）に400人以上の子どもが集まりました

2018年12月9日～11日

軍隊に入りたいという5歳のアニシュはメガネをかけて斜視を矯正

Dr.サビナが先頭に立って診察

サッカー選手になりたいという15歳のラトナ。眼にケガをして手術後の検診に

山間の地域でアイキャンプを実施

ネパールの子どもたちに希望の光を届ける「ネパール小児白内障治療プロジェクト」がスタート。2018年12月9・10日の2日間にわたり、ダーディン郡の二つの学校でアイキャンプを実施しました。

ヒカリカナタ基金と財団のメンバーは、首都のカトマンズから4WDの車に分乗し、ダーディン郡へ。国道から舗装されていない土埃の立つデコボコ道や、道なき道を約2時間かけて、1日目のチャトラデウラリのククレチョール村に到着しました。村唯一の診療所では、前日から現地医療チーム（PSSN※）が準備を進めています。我々が到着するとすぐに『シュリー ダサラット チャンドラ セカンダリースクール』の生徒が集まってきました。

早速、近視・遠視・乱視などを見る視力検査、斜視を診断する眼球運動や眼位などの検査、色覚検査ののち、角膜や水晶体など、それぞれ一人ずつ診察していきます。

視力が弱い子には、検眼をし後日カトマンズでメガネを渡せるような処方箋をつくりました。目薬を処方される子ども、斜視や弱視を診断され、矯正トレーニングを行う子ども、矯正手術が必要な子どもも見つかりました。

翌日は、1日目よりもう少し山奥のジーバンプールへ。ぴょろんこの急坂を登ったところに『シュリーマヘッシュ ダルマ セカンダリースクール』があります。朝8時過ぎから近所の子どもや生徒が集まってきました。

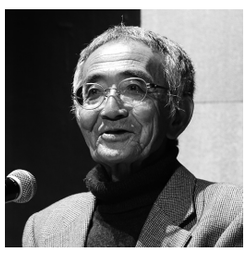
ヒカリカナタ基金と財団、現地の医療スタッフは、ヤマトグループの法被を着て参加。前日と同じ要領で、診察が進みました。

この二日間で、診察を受けた子どもたちは全部で425人。そのうちメガネが必要な子どもを24人、手術が必要な子ども4人を見つけることができました。手術が必要な子どもは、カトマンズ医科大学病院で後日手術をすることになります。いずれも無

※PSSN：プロフェッショナル・サポート・サービス・ネパール

自然栽培パーティ 第３回全国フォーラムin福岡

● 日 時：平成30年11月23・24日
● 場 所：アクロス福岡／西新パレスホール（福島県福岡市）



11月23・24日、福岡県のアクロス福岡にて「自然栽培パーティ第３回全国フォーラム」が開催されました。自然栽培パーティが目指すのは、無農薬・無肥料・無除草剤で付加価値の高い農作物を育て、障がいのある方が地域農業の新たな担い手となっていくこと。現在、会員登録数は、全国で103にまで拡大しています。

初日は、自然栽培パーティ 磯部竜太理事長の「つくる人と食べる人、それぞれのお話を聞いて、もっと多くの方に自然栽培の楽しさを知っていただきたい」との主催者挨拶からスタート。続いて当財団の瀬戸理事長、福岡県労働部障がい福祉課長が来賓を代表して挨拶しました。

特別講演では「食べる人」の立場から、平成30年に日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークスの工藤公康監督が講演。「より体に良いものをと食材を探した妻は、自然栽培の農家と出会いました。妻の料理が、私を支えてくれています」と話し会場を沸かせました。記念講演は、「つくる人」である奇跡のリンゴの木村秋則氏です。「自然栽培は、食のルネッサンスです。2020年東京オリンピック・パラリンピックで世界に発信しましょう」と呼びかけました。

続いて実践報告へ。報告1では、佐伯康人氏をはじめ自然栽培を主事業にする四つの福祉施設が登壇。「いろいろ失敗もしましたが、本当に野菜の味がする！と喜んでいただけたとき、苦労も吹き飛びました」「いい土をつくることが、いい社会を築き、いい人を育てることにもなっていく」と現場の声を伝えました。

報告２では、自然栽培パーティの磯部理事長をはじめ、流通や自然栽培を通して地域との係わりなどに取り組む４名が登壇。「農業で得るのはお金だけではない。地域の方、子どもたち、企業とも深いつながりが生まれます」「指導してくれる農家の方、流通を支える企業など、みんなで力を合わせ、福祉と地域の問題を一緒に解決していく、それこそが農福連携です」と報告しました。

翌日は、西新パレスホールで勉強会を開催。自然農法歴42年、稲本農園の稲本薫氏が、自らの経験に基づく実践的なノウハウなどを紹介。（株）北海道有機認証センターの塩田彦隆氏は、これからの農業に不可欠となるＪＧＡＰの認証取得について解説しました。

この第３回全国フォーラムの開催を、本財団は支援しています。

■ 自然栽培パーティ 第３回全国フォーラムの内容

日　程	プログラム
11月23日	■ フォーラム（アクロス福岡） ■ 主催者挨拶：磯部 竜太理事長（自然栽培パーティ） ■ 来 賓 挨 拶：瀬戸 薫理事長ほか ■ 特別講演　福岡ソフトバンクホークス監督 工藤公康氏 ■ 記念講演「リンゴの花が咲いたあと」木村秋則氏 ■ 実践報告１「自然栽培パーティの百姓は、百笑だ。」 ■ 実践報告２「農業は、もっと誇っていいんじゃないか。」
11月24日	■ フォーラム実践勉強会（西新パレスホール） ■ 講演１「自然栽培の野菜づくり」稲本農園 稲本薫氏 ■ 講演２「GAP認証について」 （株）北海道有機認証センター センター長 塩田彦隆氏 ■意見交換会

復興・再生支援事業

ヤマト福祉財団は胆振東部地震で被災した施設3ヵ所に復興再生助成金を贈呈しました。3ヵ所への助成総額は、8,973,200円となりました。

北海道胆振東部地震で被災したグループホームに300万円を助成しました

9月6日の北海道胆振東部地震により、札幌市東区の（NPO）自立支援センター歩歩路が運営している共同住宅ペーターが半壊。入居していた重度身心障がい者4世帯5名が、プライバシーの確保も難しい避難生活を余儀なくされています。ヤマト福祉財団は、新しく見つかった移転先の重度身心障がい者向け住宅の改装費用600万円のうち、300万円を助成。11月14日贈呈書を現地にお届けしました。12月中旬に工事・引越が終わり、暖かい居室でお正月を迎えました。

入居予定住宅の前でみなさんと記念撮影。
助成金贈呈書を持つ（NPO）自立支援センター歩歩路　澗口理事長（左端）、感謝状を受け取ったヤマト運輸札幌主管支店　藤崎主管支店長（中央）、ヤマト運輸労働組合札幌支部宮阪委員長（右から3番目）

胆振東部地震の震源地で被災した施設2ヵ所に助成しました

2月21日、ヤマト運輸（株）千歳主管支店にて、胆振東部地震で震源地にあった厚真町、むかわ町の施設2ヵ所に復興再生助成金を贈呈しました。

・（社福）厚真福祉会 ／ 入浴用担架、電動昇降ストレッチャー各2台、PHS電話機　3,000,000円
・（社福）愛　誠　会 ／ グループホームの照明・暖房設備等　2,973,200円

松井北海道支社長より、（社福）愛誠会横山宏史理事長へ贈呈

左より奈良岡千歳支部執行委員長、厚真福祉会の岩筋雅弘理事長、愛誠会の横山宏史理事長、松井支社長

障がい者のクロネコDM便配達事業　・進捗状況・

〈取り組み経過〉

平成30年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国２ヵ所の施設（山口県周南市・長崎県長崎市）で開催。
平成29年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国１ヵ所の施設（北海道帯広市）で開催。
平成28年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国２ヵ所の施設（山形県鶴岡市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
平成28年8月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」をリニューアル。 ヤマト運輸（株）品質向上推進部と連携をとり、社内に9,080部納品。
平成27年10月～11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国２ヵ所の施設（熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区）で開催。
平成27年4月	新サービス「クロネコDM便」開始。 「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコDM便配達事業」へと変更。
平成27年3月	「クロネコメール便」サービス廃止。
平成26年10月 ～平成27年2月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国３ヵ所の施設（東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市）で開催。
平成25年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国３ヵ所の施設（神奈川県横浜市戸塚区・熊本県上益城郡益城町・埼玉県鴻巣市）で開催。
平成24年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国４ヵ所の施設（岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫路市）で開催。
平成23年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国４ヵ所の施設（大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市）で開催。
平成22年12月12日	クロネコメール便配達　本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を東北福祉大学で開催。約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の９施設23人が発表を行った。また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設でメール便配達を一日体験した様子を発表。
平成22年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催のミニ報告会）を開催。 全国４ヵ所の施設（神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京都江東区）で開催。

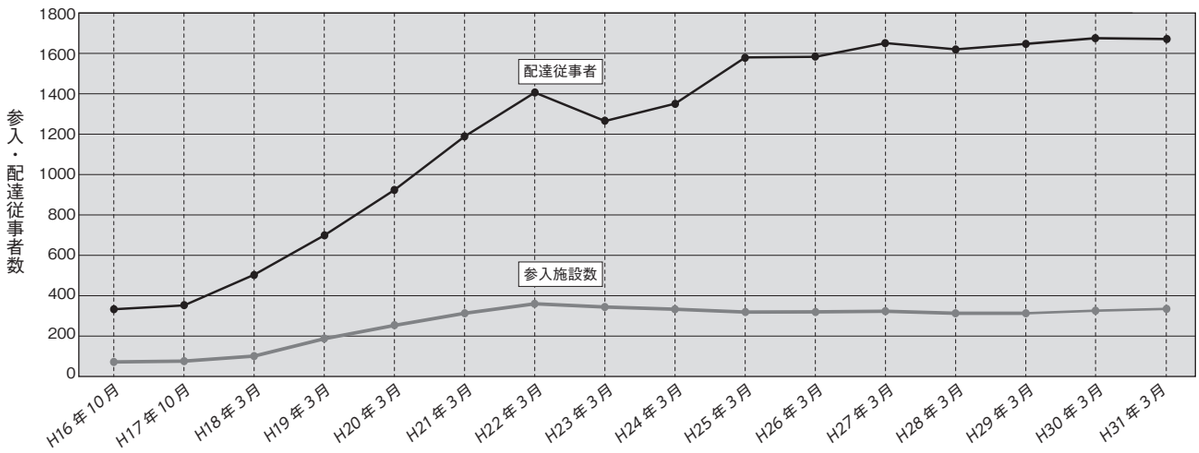
平成22年7月	障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ。 全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステムを立ち上げる。
平成22年6月19日	クロネコメール便配達　本人による特別報告会を大分で開催。大分県でメール便配達事業を行う９施設が参加。23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出来事を報告。
平成21年12月12日	当事者33名と仙台東北福祉大学実学臨床教育推進室の学生12名、一般参加者156名による第５回メール便配達特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。
平成21年8月22日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、関東地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。関東地区157名からなる参加者に、５都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。
平成21年5月～6月	事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版ＤＶＤ」の制作と社内外への配布（200枚）。本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を図るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸（株）全国支店長および主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。
平成21年3月16日	全国47都道府県全参入。
平成20年12月3日	配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278ヵ所・配達従事者1,012名を対象とした調査。結果、配達に携わった約16％の障がいのある人達が一般の会社に就職。
平成20年11月1日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。さらに、実学臨床教育推進室の学生７名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。
平成20年9月19日	NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。社会性・事業性・革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価をうける。
平成20年8月30日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10ヵ所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。
平成20年4月	施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。福祉施設ドリームブイ（東京都北区）所属メイト酒井さんが、お客さまからお褒めの言葉をいただく。
平成20年2月28日	（社団）日本フィランソロピー協会による第５回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本事業で取り組まれている活動として高い評価をうける。
平成20年1月	ヤマト運輸（株）木川　眞社長が福祉施設を訪問。　「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ＆ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』（町田市）を訪れ、メイトの皆さん（５名）との座談会参加と現場での配達状況を視察。

平成20年1月	クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。潜在能力および顕在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。
平成19年12月 ～平成20年1月	12月26日時点での参入施設231ヵ所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。
平成19年12月	障害者週間事業イベントとして、（財）ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会（13名のメイトさんが発表）「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。32ヵ所の施設・作業所（秋田・福島・宮城）から約100名が参加した。
平成19年11月	「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん８名を紹介。
平成19年8月	ヤマト運輸（株）が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。
平成19年8月	（社団）日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」に紹介される。
平成19年7月	配達従事者1,004名。事業開始から34ヵ月で1,000名を達成。
平成19年6月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部配布。
平成19年4月	月刊誌「マリ・クレール」５月号特別付録（企業のCSR活動に焦点をあてた特集）にメール便配達事業が紹介される。
平成19年3月	「配達事例集」リニューアル版発刊。全国11ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介。
平成19年2月	イギリスのソーシャル・ファーム「リンケージ・コミュニティー・トラスト」で働く知的障がい者５名とディレクター８名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。クロネコメール便の配達現場を視察。
平成18年12月	「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。障害者週間（12月３日～12月９日）期間中に、各地で開催されたシンポジュウム会場において配布された。（「障害者白書」テーマ、“共生する社会”について障がいのある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子）
平成18年 10月10日～12日	東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジュウムおよび東京都第三セクター企業２社とのコラボ企画展示を開催。（ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映）
平成17年12月	障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。 ・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。 ・施設・作業所のメイトさん８名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。 （2008年12月現在　14,000部配布）

平成17年10月	参入施設・作業所の“地域で働く人々の姿”を網羅した「配達カルテ」を作成。社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。
平成17年7月	啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介した「配達事例集」を作成。 （2008年12月現在　16,000部配布）
平成17年3月	社内外からの事業問合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業案内を掲載。
平成17年2月	軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別料率を設定し、軽商用リース車の斡旋をスタート。
平成16年10月	民間支援四団体加盟の全施設・作業所（3,520ヵ所）に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。 WIJメール便委員会発足（日本セルプ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体）

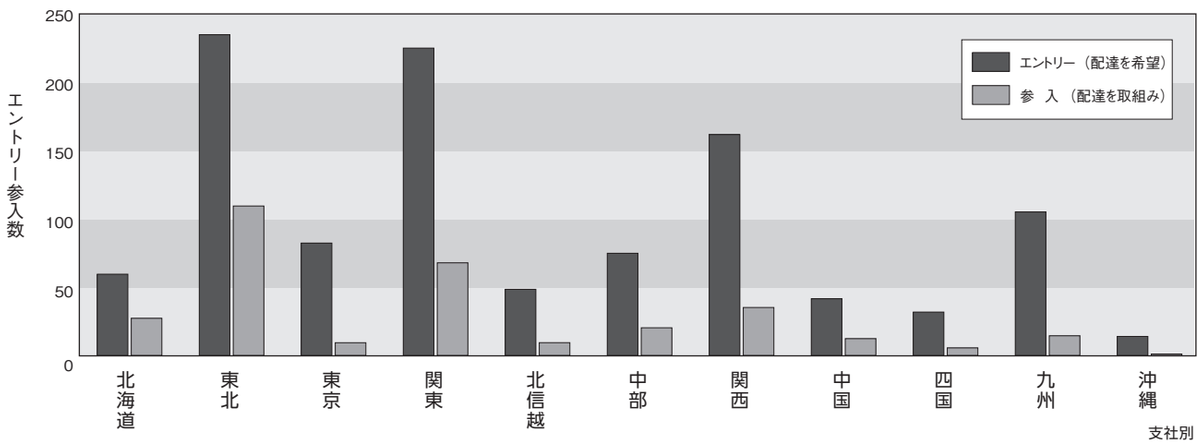
■進捗状況補足資料　平成 31 年 3 月 31 日 現在（図表 1・2・3）

図表 1.　参入施設数/配達従事者数推移　320施設/1,675名

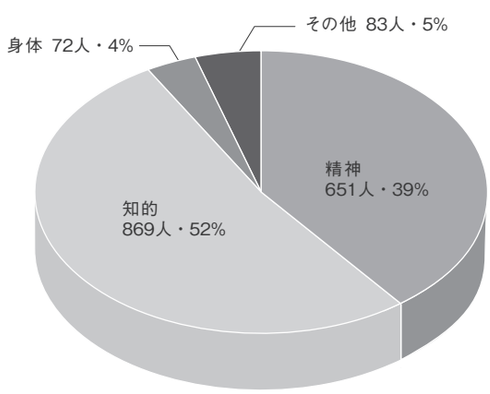


※平成 22 年 7 月以降、集計方法を財団支部の報告から参入施設からの報告に変更したため実績に差が生じています。

図表 2.　全国支社別　エントリー/参入状況　1,088施設/320施設



図表 3.　障がい別配達従事者人数とその割合



『障がい者のクロネコDM便配達事業』参入施設一覧　320施設

施設・事業所名	住所
わーく・ひまわり	北海道札幌市豊平区
はんど&はんど	北海道札幌市手稲区
自由工房	北海道札幌市手稲区
ヴォーグ	北海道札幌市清田区
いちもく神居	北海道旭川市
すまいる	北海道旭川市
ライフサポート QIRA	北海道虻田郡ニセコ町
ワークステーション輝	北海道虻田郡倶知安町
前田の家	北海道岩内郡共和町
オフィスきらり	北海道釧路市
はばたき	北海道釧路市
やまびこ	北海道恵庭市
マイウエイ	北海道小樽市
わーくさぽーと　のどか	北海道上川郡比布町
青空	北海道深川市
ハートフルネットワークほほえみ	北海道千歳市
ゆうび	北海道千歳市
きずな	北海道帯広市
トリノ	北海道帯広市
就労継続支援事業所大作　帯広	北海道帯広市
クローバー	北海道帯広市
クローバーベリー	北海道河東郡音更町
就労継続支援事業所大作　本別町	北海道中川郡本別町
若草友の会共同作業所	北海道滝川市
コミュニティハウスしずない	北海道日高郡新ひだか町
夕陽が丘	北海道函館市
おはよう	北海道函館市
美幌地域就労支援センター	北海道網走郡美幌町
ワークセンターつばき	青森県五所川原市
創	青森県五所川原市
ワークハウスとわだ	青森県十和田市
ベア・ハウス	青森県上北郡おいらせ町

施設・事業所名	住所
ほっとワークはぴくる	青森県上北郡野辺地町
ゆみと就労支援事業所	青森県上北郡六戸町
夢香房すてっぷ	青森県青森市
ふうあの家	青森県青森市
青森うとうの園	青森県青森市
柿の木苑	青森県八戸市
田面木の家	青森県八戸市
エンジェルハウス	青森県八戸市
トータルサポート・ソレイユ	青森県八戸市
あるふぁ	青森県八戸市
サポートセンターあさひ	青森県三戸郡南部町
NPO 法人太陽の園	秋田県横手市
ひまわり社	秋田県横手市
出発の家	秋田県鹿角市
いなほ作業所	秋田県秋田市
ドリームカンパニーあゆみ	秋田県秋田市
サンあんぐる	秋田県仙北郡美郷町
愛仙	秋田県仙北市
工房ＪＯＹさあくる	秋田県大館市
ふれあい作業所	秋田県大仙市
ほっぺ	秋田県大仙市
サンワーク大曲	秋田県大仙市
しみず	秋田県大仙市
男鹿浜辺の里	秋田県男鹿市
コスモス	秋田県能代市
根分け会	秋田県由利本荘市
千厩ワークプラザ	岩手県一関市
つくし共同作業所	岩手県釜石市
りんりん舎	岩手県岩手郡滝沢村
さくら製作所	岩手県紫波郡紫波町
あさあけの園	岩手県紫波郡矢巾町
杜の家	岩手県盛岡市

施設・事業所名	住所
盛岡杉生園	岩手県盛岡市
となんカナン	岩手県盛岡市
のびやか丸	岩手県盛岡市
生生学舎アダージョ	岩手県盛岡市
太田の園	岩手県盛岡市
ぐるんぱ	岩手県盛岡市
ジョブアシストモリオカ	岩手県盛岡市
ゆうき社	岩手県大船渡市
ポパイの家	岩手県八幡平市
いわて共生会あけぼの	岩手県北上市
ワークハウス　アトリエ Sun	岩手県宮古市
ワークス洋野	岩手県九戸郡洋野町
HOPE GARDEN 気仙沼	宮城県気仙沼市
とれいん	宮城県気仙沼市
七ヶ浜町あさひ園	宮城県宮城郡七ヶ浜町
コスモス	宮城県石巻市
みんなの夢広場	宮城県石巻市
桜・さくら	宮城県石巻市
しじゅうからアットワーク	宮城県仙台市宮城野区
ハートライフせんだい　創働舎	宮城県仙台市宮城野区
ワークつるがや	宮城県仙台市宮城野区
わ・は・わ若林	宮城県仙台市若林区
わ・は・わ沖野	宮城県仙台市若林区
Ｌｉｎｋｓ　五橋	宮城県仙台市若林区
こころや	宮城県仙台市青葉区
わ・は・わ広瀬	宮城県仙台市青葉区
つなぎっこ	宮城県仙台市青葉区
ぱーとなー	宮城県仙台市青葉区
みんなの広場・工房きまち	宮城県仙台市青葉区
ハート米夢仙台青葉事業所	宮城県仙台市青葉区
ほっとスペース歩歩	宮城県仙台市泉区
アトリエ・ソキウス	宮城県仙台市泉区
みどり工房永和台	宮城県仙台市泉区
ポッケの森	宮城県仙台市太白区
工房けやき	宮城県仙台市太白区

施設・事業所名	住所
のぞみ園	宮城県多賀城市
工房パルコ	宮城県大崎市
わ・は・わ美里	宮城県遠田郡美里町
ビッグちゃお	山形県山形市
ステップアップ霞城	山形県山形市
メディアかがやき	山形県山形市
ハーモニー	山形県山形市
グループ未知	山形県山形市
ワークランドべにばな	山形県山形市
まある	山形県山形市
デイサポートセンターじゃんぷ	山形県山形市
あらた	山形県酒田市
シャイニー新庄升形	山形県新庄市
手づくりクッキーおからや	山形県鶴岡市
大けやきの家	山形県東根市
ひまわり園	山形県東田川郡庄内町
ひまわり南陽	山形県南陽市
フラワーコート米沢	山形県米沢市
すてっぷ	山形県米沢市
むすび	山形県寒河江市
わっしょい！	山形県村山市
チャオ	福島県いわき市
輪楽創	福島県伊達郡桑折町
ゆうゆうハウス	福島県河沼郡会津坂下町
レーベン	福島県会津若松市
ほっとハウスやすらぎ	福島県会津若松市
ペンギン東台	福島県郡山市
ペンギン村共同作業所	福島県郡山市
キャロット八山田	福島県郡山市
ひまわりの家	福島県相馬市
みはる工房	福島県田村郡三春町
ほっと悠 Ms	福島県南相馬市原町区
きぼうのあさがお	福島県南相馬市鹿島区
自立研究所ビーンズ	福島県南相馬市鹿島区
なごみの家	福島県白河市

施設・事業所名	住所
ゆ～もあ～と	福島県福島市
SWELL・IN・FUKUSHIMA	福島県福島市
あさひスマイル	福島県福島市
Work － SCS 笹谷	福島県福島市
Work － SCS 南福島	福島県福島市
来夢	東京都北区
ことのは修義館	東京都江戸川区
Ｎａｖｉｏけやき	東京都世田谷区
しごとも	東京都世田谷区
すまいる・フォレスト	東京都練馬区
すきっぷ	東京都三鷹市
結の会	東京都八王子市
千川作業所	東京都武蔵野市
ＭＥＩＭＩ・ＣＬＵＢ	東京都東久留米市
飛翔クラブ	東京都東村山市
共同作業所ふれあい	茨城県ひたちなか市
はあとぽっぽ	茨城県坂東市
らしん盤	茨城県取手市
ゆきわりそう	茨城県水戸市
やまびこ	茨城県水戸市
けやきの家	茨城県石岡市
第２けやき作業所	栃木県芳賀郡芳賀町
いっすんぼうし	栃木県小山市
県東ライフサポートセンター・真岡	栃木県真岡市
伊勢崎市桑の実福祉作業所	群馬県伊勢崎市
若草作業所	群馬県館林市
あゆみ舎	埼玉県さいたま市大宮区
つばさ共同作業所	埼玉県さいたま市中央区
生活支援センターこしがや	埼玉県越谷市
志木市精神保健福祉をすすめる会	埼玉県志木市
ゆりのき支援センター	埼玉県春日部市
わっくす	埼玉県春日部市
ライトハウス	埼玉県ふじみ野市
熊谷たんぽぽ	埼玉県熊谷市
ひなたぼっこ	埼玉県熊谷市

施設・事業所名	住所
コスモス共同作業所	埼玉県鴻巣市
ゆめきた工房	埼玉県坂戸市
ジョブサポートはぶたえ	埼玉県深谷市
フレンドリー	埼玉県深谷市
ワークセンターせんば	埼玉県川越市
サルース	埼玉県川越市
鶴ケ島ゆめの園	埼玉県鶴ケ島市
ぽれぽれ	千葉県市原市
まぁぶるひろ	千葉県千葉市花見川区
ワークホーム海の実	千葉県千葉市中央区
フロンティア	千葉県千葉市中央区
ワークス未来千葉	千葉県千葉市美浜区
たけの子工房	千葉県千葉市緑区
就労サポートリーブ	千葉県袖ケ浦市
hana	千葉県木更津市
イエローハート	千葉県我孫子市
i 工房	千葉県我孫子市
かんばす	千葉県船橋市
アーモ	千葉県船橋市
カレーサ	千葉県船橋市
生活工房こだま	千葉県柏市
ぽけっと	千葉県白井市
すずらん	千葉県八千代市
ハンディジャンプ	神奈川県横浜市磯子区
シャロームの家	神奈川県横浜市磯子区
エンジョイメント	神奈川県横浜市磯子区
いぶきの風	神奈川県横浜市戸塚区
りんごの木	神奈川県横浜市戸塚区
フラワーロード	神奈川県横浜市港南区
いろえんぴつ	神奈川県横浜市港北区
ひとつの芽	神奈川県横浜市泉区
エアリアル	神奈川県海老名市
青い麦の家	神奈川県鎌倉市
茅ケ崎第二ワーキングハウス	神奈川県茅ケ崎市
トライフィールドわーくあーつ	神奈川県厚木市

施設・事業所名	住所
セルプきたかせ	神奈川県川崎市幸区
つばさ	神奈川県川崎市高津区
オリーブの木	神奈川県川崎市中原区
第２けやき作業所	神奈川県相模原市南区
ありのまま舎	神奈川県相模原市緑区
ハートピア湘南	神奈川県藤沢市
第３藤沢ひまわり	神奈川県藤沢市
るる湘南	神奈川県藤沢市
フリースペース　ステラ・ポラーレ	神奈川県藤沢市
スイートベリー KATUYAMA	山梨県南都留郡
南アルプス市松の実作業所	山梨県南アルプス市
樫の実作業所	山梨県甲府市
すみよし生活支援センター	山梨県甲府市
むつみの家	山梨県都留市
阿賀野市さくらの会作業所	新潟県阿賀野市
手楽来家	新潟県新潟市江南区
和工房	新潟県新潟市西区
豆の木	新潟県新潟市西区
希望の家	新潟県長岡市
希望の里つばさ	長野県岡谷市
ワンステップ	長野県松本市
エコーンファミリー	長野県長野市
くろべ工房	富山県黒部市
ゆめさぽーとらいちょう	富山県富山市
ネットワークひこばえ	静岡県静岡市葵区
ウィン作業所	静岡県静岡市葵区
ラポール・チャクラ	静岡県静岡市駿河区
交流広場ライフアート	愛知県名古屋中村区
アネモネ	愛知県名古屋市緑区
おちゃや	愛知県名古屋市天白区
さくらんぼ	愛知県名古屋市中川区
ファンタジスタ名古屋	愛知県名古屋市西区
就労・コミュニティセンター Abbey	愛知県名古屋市昭和区
のぞみ	愛知県名古屋市守山区
TUTTI	愛知県名古屋市東区

施設・事業所名	住所
くうねる・イマーゴ	愛知県名古屋市千種区
アーム	愛知県豊田市
トレーニングスペース　リンク	愛知県半田市
ワーキングスペースおおぶ	愛知県大府市
やすらぎの家	愛知県新城市
笑い太鼓岡崎	愛知県岡崎市
輝望	愛知県豊岡市
垂坂山ブルーミング	三重県四日市市
サポートセンターあいぷろ	三重県四日市市
グリンリーフ	岐阜県岐阜市
ワークセンターひびき	大阪府東大阪市
オリーブ	大阪府大阪市平野区
手琴堂	大阪府大阪市都島区
ニコサービス	大阪府大阪市城東区
のぞみ共同作業所	大阪府吹田市
第三工房ヒューマン	大阪府吹田市
ドルフィンハート・ドルフィンアイ	大阪府堺市堺区
高槻ワーク工房	大阪府高槻市
ステラ守口	大阪府守口市
オレンジの会	京都府京都市東山区
ＳＡＰふっとぷりんつ	京都府京田辺市
かがやきの杜	京都府京丹後市
たむたむ荘	奈良県奈良市
さわやぎ	奈良県奈良市
来夢 green	奈良県奈良市
もりの実事業所	奈良県北葛城郡広陵町
たんぽぽ作業所	和歌山県紀の川市
岩出サンワーク	和歌山県岩出市
すまいる・フレンズ	兵庫県神戸市須磨区
たすけあい	兵庫県神戸市須磨区
御影倶楽部	兵庫県神戸市東灘区
ＥｎＴｒｙ	兵庫県神戸市垂水区
ひまわり作業所	兵庫県淡路市
アミアミ	兵庫県洲本市
ぐろ～りあ	兵庫県尼崎市

施設・事業所名	住所
共同作業所ふる－る	兵庫県尼崎市
雑居工房	兵庫県尼崎市
出愛いの里	兵庫県姫路市
しらさぎ作業所	兵庫県姫路市
自立の家きらら	兵庫県宝塚市
かるべの郷ドリームワークス	兵庫県養父市
ＴＯＤＡＹ	兵庫県三木市
西宮作業所クローバー	兵庫県西宮市
てんとうか	兵庫県西宮市
アミル甲子園口	兵庫県西宮市
元気アップみのり作業所	兵庫県相生市
手毬の里　虹	岡山県玉野市
ゆめの木・わかば	広島県福山市
三次共同作業所	広島県三次市
しまなみ瀬戸田夢工房	広島県尾道市
オレンジ作業所	広島県尾道市
あいあい作業所	広島県廿日市市
さわやか工房	山口県周南市
ワークステーション大歳	山口県山口市
ステップあそかの園	山口県山口市
しあわせ	山口県光市
ボン・シャンス	鳥取県倉吉市
コミュニティーハウス楽	鳥取県倉吉市
川本ワークス	島根県邑智郡川本町
かけはし	香川県坂出市
どんどこどん	徳島県坂野郡松茂町
ワークセンタースマイル	徳島県阿波市
第２あおぞら	高知県高知市
いろえんぴつ	愛媛県松山市
ワークハウス睦美	愛媛県伊予市
さるびあ作業所	福岡県筑紫野市
ケアポートがんぎだん	福岡県福岡市西区
夢ぽけっと	福岡県福岡市南区
はぁもにい	福岡県柳川市
コリアンダーの家	長崎県長崎市

施設・事業所名	住所
どんぐり村	熊本県上天草市
らぷらんどカフェ	熊本県熊本市中央区
ピープルステーション	大分県大分市
どんぐりの家	大分県大分市
ワーク大分すみれ会	大分県大分市
べっぷ優ゆう作業所	大分県別府市
メロディー	大分県別府市
はまゆう園多機能型恒富事業所	宮崎県延岡市
ななえ福祉作業所	宮崎県都城市
ＳＵＮはぁーと	宮崎県宮崎市
キャンプグリーンヒル	沖縄県うるま市

■ 平成30年度　支社別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入施設数	月次報告入力済施設数	入力率			クロネコDM便配達従事者人数			クロネコDM便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北海道	2018年4月	28	28	100.0%	100.0%	0.0%	158	111	47	35,998	29,792	120.8%	66.5	63.0	3.5
	5月	29	29	100.0%	100.0%	0.0%	167	109	58	33,075	27,422	120.6%	59.2	58.6	0.6
	6月	29	29	100.0%	100.0%	0.0%	152	113	39	36,311	31,040	117.0%	64.0	63.1	0.9
	7月	29	29	100.0%	100.0%	0.0%	149	116	33	29,519	26,940	109.6%	52.3	59.1	-6.8
	8月	29	29	100.0%	100.0%	0.0%	177	113	64	25,355	26,947	94.1%	47.9	60.1	-12.2
	9月	29	29	100.0%	100.0%	0.0%	181	133	48	28,080	34,527	81.3%	59.1	73.0	-13.9
	10月	29	29	100.0%	100.0%	0.0%	169	150	19	34,003	35,671	95.3%	57.7	70.5	-12.8
	11月	29	29	100.0%	100.0%	0.0%	150	148	2	32,811	30,122	108.9%	60.8	62.1	-1.3
	12月	28	28	100.0%	100.0%	0.0%	130	151	-21	26,752	28,720	93.1%	56.8	58.6	-1.8
	2019年1月	28	28	100.0%	100.0%	0.0%	128	151	-23	27,708	30,282	91.5%	58.7	62.1	-3.4
	2月	28	28	100.0%	100.0%	0.0%	131	147	-16	29,385	32,043	91.7%	60.1	68.0	-7.9
	3月	28	28	100.0%	100.0%	0.0%	131	145	-14	28,682	35,095	81.7%	57.2	64.3	-7.1
東北	2018年4月	108	108	100.0%	100.0%	0.0%	550	529	21	130,491	123,681	105.5%	71.2	72.2	-1.0
	5月	108	108	100.0%	100.0%	0.0%	557	546	11	136,435	126,764	107.6%	72.3	71.6	0.7
	6月	109	109	100.0%	100.0%	0.0%	609	544	65	133,950	132,655	101.0%	63.8	70.7	-6.9
	7月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	552	546	6	122,778	127,089	96.6%	65.7	71.4	-5.7
	8月	112	112	100.0%	100.0%	0.0%	573	521	52	106,576	151,146	70.5%	58.8	75.2	-16.4
	9月	112	112	100.0%	100.0%	0.0%	570	581	-11	121,712	135,028	90.1%	69.3	76.2	-6.9
	10月	109	109	100.0%	100.0%	0.0%	582	562	20	140,463	134,881	104.1%	72.5	72.5	0.0
	11月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	571	548	23	129,317	132,242	97.8%	69.0	72.9	-3.9
	12月	109	109	100.0%	100.0%	0.0%	585	532	53	114,288	112,341	101.7%	68.6	64.3	4.3
	2019年1月	110	110	100.0%	100.0%	0.0%	594	525	69	118,944	124,859	95.3%	67.8	73.8	-6.0
	2月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	593	529	64	122,688	124,443	98.6%	69.7	69.3	0.4
	3月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	622	560	62	128,627	136,651	94.1%	68.6	71.6	-3.0
東京	2018年4月	11	10	90.9%	100.0%	-9.1%	58	91	-33	40,128	48,699	82.4%	221.7	202.1	19.6
	5月	11	10	90.9%	92.9%	-1.9%	67	73	-6	32,905	41,327	79.6%	182.8	187.0	-4.2
	6月	11	11	100.0%	92.9%	7.1%	72	68	4	38,493	46,171	83.4%	191.5	191.6	-0.1
	7月	11	11	100.0%	85.7%	14.3%	71	67	4	37,361	42,727	87.4%	113.2	191.6	-78.4
	8月	11	11	100.0%	85.7%	14.3%	69	68	1	33,542	36,801	91.1%	179.4	177.8	1.6
	9月	11	11	100.0%	78.6%	21.4%	70	66	4	34,664	41,815	82.9%	200.4	215.5	-15.1
	10月	11	11	100.0%	78.6%	21.4%	73	66	7	37,021	42,633	86.8%	173.8	235.5	-61.7
	11月	10	10	100.0%	85.7%	14.3%	69	70	-1	34,160	43,554	78.4%	189.8	225.7	-35.9
	12月	10	10	100.0%	85.7%	14.3%	70	71	-1	31,752	42,346	75.0%	183.5	220.6	-37.1
	2019年1月	10	10	100.0%	85.7%	14.3%	71	72	-1	28,870	38,092	75.8%	169.8	217.7	-47.9
	2月	10	10	100.0%	92.3%	7.7%	70	73	-3	29,597	35,653	83.0%	171.1	195.9	-24.8
	3月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	68	84	-16	32,703	45,003	72.7%	177.7	196.5	-18.8
関東	2018年4月	71	67	94.4%	91.8%	2.6%	461	453	8	77,730	88,911	87.4%	66.5	76.0	-9.5
	5月	71	67	94.4%	94.5%	-0.2%	473	464	9	76,392	91,007	83.9%	65.1	77.1	-12.0
	6月	71	63	88.7%	91.7%	-2.9%	443	437	6	75,434	95,395	79.1%	68.4	76.3	-7.9
	7月	71	65	91.5%	93.0%	-1.4%	440	458	-18	65,354	82,673	79.1%	58.1	71.2	-13.1
	8月	71	65	91.5%	97.2%	-5.6%	456	467	-11	67,059	79,345	84.5%	60.7	67.9	-7.2
南関東	2018年9月	39	38	97.4%	87.5%	9.9%	269	241	28	33,849	61,276	55.2%	57.3	89.9	-32.6
	10月	39	37	94.9%	100.0%	-5.1%	253	298	-45	36,360	72,068	50.5%	56.2	101.1	-44.9
	11月	39	37	94.9%	100.0%	-5.1%	247	294	-47	32,756	54,826	59.7%	51.3	79.3	-28.0
	12月	39	35	89.7%	100.0%	-10.3%	234	293	-59	27,356	46,542	58.8%	50.2	71.6	-21.4
	2019年1月	39	33	84.6%	98.6%	-14.0%	196	286	-90	23,210	46,339	50.1%	47.5	76.1	-28.6
	2月	39	37	94.9%	100.0%	-5.1%	244	279	-35	29,213	46,000	63.5%	50.6	69.6	-19.0
	3月	39	36	92.3%	100.0%	-7.7%	214	286	-72	28,502	48,938	58.2%	48.6	67.8	-19.2
北関東	2018年9月	32	26	81.3%	93.5%	-12.3%	176	206	-30	26,897	36,826	73.0%	68.6	71.9	-3.3
	10月	30	28	93.3%	100.0%	-6.7%	198	213	-15	37,453	40,545	92.4%	74.3	75.2	-0.9
	11月	30	28	93.3%	100.0%	-6.7%	195	214	-19	36,681	39,344	93.2%	73.2	75.5	-2.3
	12月	30	28	93.3%	100.0%	-6.7%	195	217	-22	28,350	33,885	83.7%	64.1	63.8	0.3
	2019年1月	30	29	96.7%	100.0%	-3.3%	199	221	-22	29,603	35,832	82.6%	66.4	73.3	-6.9
	2月	30	29	96.7%	90.0%	6.7%	203	210	-7	34,859	36,596	95.3%	75.1	74.8	0.3
	3月	30	28	93.3%	93.5%	-0.2%	201	171	30	32,001	35,825	89.3%	66.9	78.4	-11.5

■ 平成30年度　支社別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入施設数	月次報告入力済施設数	入力率			クロネコDM便配達従事者人数			クロネコDM便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北信越	2018年4月	10	10	100.0%	80.0%	20.0%	32	34	-2	19,574	17,487	111.9%	107.5	115.8	-8.3
	5月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	35	39	-4	19,365	19,286	100.4%	105.8	99.4	6.4
	6月	10	9	90.0%	100.0%	-10.0%	30	40	-10	17,576	19,818	88.7%	104.6	99.6	5.0
	7月	10	9	90.0%	100.0%	-10.0%	31	37	-6	14,879	19,391	76.7%	88.6	102.6	-14.0
	8月	10	7	70.0%	90.0%	-20.0%	25	36	-11	14,431	16,579	87.0%	108.5	96.4	12.1
	9月	10	8	80.0%	90.0%	-10.0%	27	34	-7	14,184	20,066	70.7%	102.8	116.0	-13.2
	10月	10	8	80.0%	90.0%	-10.0%	27	31	-4	17,433	19,300	90.3%	114.7	110.3	4.4
	11月	10	8	80.0%	90.0%	-10.0%	28	34	-6	15,831	19,768	80.1%	104.8	118.4	-13.6
	12月	10	8	80.0%	90.0%	-10.0%	28	36	-8	12,625	16,323	77.3%	94.2	96.6	-2.4
	2019年1月	10	8	80.0%	80.0%	0.0%	28	32	-4	14,620	18,177	80.4%	108.3	130.8	-22.5
	2月	10	9	90.0%	80.0%	10.0%	31	34	-3	15,670	15,195	103.1%	103.1	119.6	-16.5
	3月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	42	38	4	17,320	19,609	88.3%	95.2	108.3	-13.1
中部	2018年4月	18	14	77.8%	66.7%	11.1%	87	81	6	15,712	15,195	103.4%	62.8	54.3	8.5
	5月	18	14	77.8%	72.2%	5.6%	85	96	-11	15,172	13,502	112.4%	57.0	55.3	1.7
	6月	18	14	77.8%	72.2%	5.6%	84	84	0	16,181	14,988	108.0%	57.6	59.0	-1.4
	7月	18	14	77.8%	66.7%	11.1%	83	66	17	14,616	12,317	118.7%	54.1	54.7	-0.6
	8月	20	15	75.0%	77.8%	-2.8%	74	83	-9	12,784	11,545	110.7%	53.0	46.4	6.6
	9月	20	15	75.0%	72.2%	2.8%	84	47	37	14,621	13,763	106.2%	63.0	55.5	7.5
	10月	20	14	70.0%	77.8%	-7.8%	81	82	-1	16,363	15,086	108.5%	69.9	57.4	12.5
	11月	21	15	71.4%	72.2%	-0.8%	82	63	19	14,425	12,284	117.4%	59.9	53.2	6.7
	12月	21	16	76.2%	72.2%	4.0%	86	61	25	13,728	10,484	130.9%	58.9	45.8	13.1
	2019年1月	21	16	100.0%	72.2%	27.8%	88	65	23	13,930	9,988	139.5%	57.6	45.6	12.0
	2月	21	15	71.4%	77.8%	-6.3%	82	87	-5	12,375	14,180	87.3%	53.8	59.1	-5.3
	3月	21	17	81.0%	77.8%	3.2%	91	85	6	17,057	15,520	109.9%	60.3	61.3	-1.0
関西	2018年4月	35	27	77.1%	77.1%	0.0%	174	185	-11	38,243	42,720	89.5%	78.4	92.1	-13.7
	5月	35	26	74.3%	75.0%	-0.7%	152	165	-13	35,315	34,222	103.2%	73.1	69.3	3.8
	6月	35	25	71.4%	77.8%	-6.3%	136	160	-24	36,622	39,937	91.7%	80.8	75.9	4.9
	7月	35	25	71.4%	86.1%	-14.7%	124	185	-61	31,520	42,764	73.7%	74.0	77.2	-3.2
	8月	35	23	65.7%	83.3%	-17.6%	123	179	-56	27,080	37,888	71.5%	70.5	71.6	-1.1
	9月	35	26	74.3%	88.9%	-14.6%	157	202	-45	27,603	48,149	57.3%	75.6	83.3	-7.7
	10月	35	26	74.3%	88.9%	-14.6%	151	185	-34	33,832	48,405	69.9%	73.9	81.9	-8.0
	11月	36	29	80.6%	80.6%	0.0%	160	169	-9	39,028	41,350	94.4%	78.1	79.1	-1.0
	12月	36	28	77.8%	83.3%	-5.6%	169	186	-17	27,881	38,015	73.3%	64.1	70.5	-6.4
	2019年1月	36	28	77.8%	88.9%	-11.1%	169	194	-25	32,614	39,234	83.1%	75.3	72.7	2.6
	2月	36	27	75.0%	86.1%	-11.1%	160	193	-33	26,342	39,288	67.0%	63.5	74.0	-10.5
	3月	36	29	80.6%	72.2%	8.3%	155	149	6	37,076	38,463	96.4%	75.7	79.6	-3.9
中国	2018年4月	13	13	100.0%	92.3%	7.7%	73	58	15	29,322	31,933	91.8%	130.9	143.8	-12.9
	5月	13	12	92.3%	92.3%	0.0%	56	57	-1	26,878	30,979	86.8%	133.1	144.1	-11.0
	6月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	67	71	-4	30,678	35,913	85.4%	131.1	135.0	-3.9
	7月	13	12	92.3%	84.6%	7.7%	65	58	7	23,879	24,854	96.1%	125.7	128.8	-3.1
	8月	13	12	92.3%	92.3%	0.0%	69	52	17	20,347	26,500	76.8%	105.4	132.5	-27.1
	9月	13	13	100.0%	92.3%	7.7%	66	52	14	24,413	30,189	80.9%	125.8	146.5	-20.7
	10月	13	12	92.3%	84.6%	7.7%	59	55	4	28,022	33,163	84.5%	129.7	165.8	-36.1
	11月	12	11	91.7%	100.0%	-8.3%	49	67	-18	26,637	32,443	82.1%	154.0	146.8	7.2
	12月	12	12	100.0%	92.3%	7.7%	68	56	12	24,206	30,403	79.6%	132.3	144.8	-12.5
	2019年1月	13	13	100.0%	92.3%	7.7%	68	53	15	25,303	28,122	90.0%	129.1	149.6	-20.5
	2月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	67	64	3	25,321	26,940	94.0%	138.4	128.9	9.5
	3月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	55	67	-12	23,709	26,940	88.0%	137.0	118.7	18.3
四国	2018年4月	6	4	66.7%	100.0%	-33.3%	7	11	-4	4,060	5,206	78.0%	51.4	45.3	6.1
	5月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	7	9	-2	3,426	4,864	70.4%	43.9	51.2	-7.3
	6月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	6	9	-3	4,693	5,996	78.3%	54.6	78.9	-24.3
	7月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	7	8	-1	3,293	5,175	63.6%	43.3	53.4	-10.1
	8月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	7	9	-2	2,993	3,931	76.1%	38.9	43.7	-4.8
	9月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	7	8	-1	3,088	5,321	58.0%	40.1	57.2	-17.1
	10月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	7	8	-1	3,913	4,644	84.3%	44.5	47.9	-3.4
	11月	6	4	66.7%	83.3%	-16.7%	7	8	-1	3,701	4,251	87.1%	45.7	50.0	-4.3
	12月	6	4	66.7%	66.7%	0.0%	7	7	0	2,955	3,876	76.2%	38.9	46.1	-7.2
	2019年1月	6	4	66.7%	66.7%	0.0%	7	7	0	2,606	3,489	74.7%	36.2	44.7	-8.5
	2月	6	4	66.7%	66.7%	0.0%	6	7	-1	2,821	4,351	64.8%	35.7	53.7	-18.0
	3月	6	4	66.7%	66.7%	0.0%	7	7	0	2,760	4,286	64.4%	34.9	51.0	-16.1

■ 平成30年度　支社別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入施設数	月次報告入力済施設数	入力率			クロネコDM便配達従事者人数			クロネコDM便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
九州	2018年4月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	92	88	4	39,172	45,387	86.3%	109.1	120.7	-11.6
	5月	16	15	93.8%	100.0%	-6.3%	86	91	-5	34,703	41,120	84.4%	103.0	107.9	-4.9
	6月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	88	89	-1	40,143	46,083	87.1%	109.4	116.4	-7.0
	7月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	87	90	-3	30,043	40,554	74.1%	84.4	106.4	-22.0
	8月	16	15	93.8%	100.0%	-6.3%	80	92	-12	27,594	37,018	74.5%	87.6	102.8	-15.2
	9月	16	15	93.8%	94.1%	-0.4%	81	85	-4	32,721	38,466	85.1%	110.5	112.5	-2.0
	10月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	87	91	-4	45,569	43,277	105.3%	130.9	116.0	14.9
	11月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	88	89	-1	35,184	40,105	87.7%	105.7	110.2	-4.5
	12月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	90	92	-2	32,714	38,339	85.3%	103.9	107.4	-3.5
	2019年1月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	90	93	-3	30,279	38,814	78.0%	98.3	106.0	-7.7
	2月	16	13	81.3%	94.1%	-12.9%	78	68	10	26,330	34,508	76.3%	97.9	103.0	-5.1
	3月	15	15	100.0%	94.1%	5.9%	87	86	1	31,701	37,898	83.6%	95.8	100.0	-4.2
沖縄	2018年4月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	72	112	64.3%	8.0	5.9	2.1
	5月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	118	111	106.3%	7.9	6.5	1.4
	6月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	126	153	82.4%	7.9	10.2	-2.3
	7月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	196	0.0%		12.3	
	8月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	140	0.0%		10.0	
	9月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	172	0.0%		11.5	
	10月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	155	0.0%		11.1	
	11月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	140	0.0%		8.8	
	12月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	227	0.0%		16.2	
	2019年1月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	305	0.0%		9.8	
	2月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	305	0.0%		9.8	
	3月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	135	72	187.5%	8.4	8.0	0.4
全国	2018年4月	317	298	94.0%	92.7%	1.3%	1,694	1,643	51	430,502	445,485	96.6%	81.0	86.4	-5.4
	5月	318	296	93.1%	93.3%	-0.3%	1,687	1,651	36	413,784	430,604	96.1%	77.1	81.6	-4.5
	6月	319	294	92.2%	93.3%	-1.1%	1,689	1,617	72	430,207	468,149	91.9%	77.2	83.7	-6.5
	7月	321	296	92.2%	93.4%	-1.1%	1,609	1,633	-24	373,242	424,680	87.9%	69.5	80.5	-11.0
	8月	324	293	90.4%	94.6%	-4.2%	1,653	1,622	31	337,761	427,840	78.9%	67.9	78.5	-10.6
	9月	324	297	91.7%	92.7%	-1.1%	1,688	1,657	31	361,832	465,598	77.7%	77.2	89.7	-12.5
	10月	319	294	92.2%	95.3%	-3.1%	1,687	1,743	-56	430,432	489,828	87.9%	79.9	88.9	-9.0
	11月	321	298	92.8%	95.0%	-2.1%	1,646	1,706	-60	400,531	450,429	88.9%	76.8	84.8	-8.0
	12月	318	294	92.5%	94.7%	-2.3%	1,662	1,704	-42	342,607	401,501	85.3%	73.3	77.0	-3.7
	2019年1月	320	295	92.2%	94.7%	-2.5%	1,638	1,701	-63	347,687	413,533	84.1%	73.7	82.5	-8.8
	2月	321	296	92.2%	95.0%	-2.8%	1,665	1,693	-28	354,601	409,502	86.6%	74.0	79.5	-5.5
	3月	320	302	94.4%	94.1%	0.3%	1,675	1,680	-5	380,273	444,300	85.6%	73.4	80.5	-7.1

２．平成 30 年度収支決算報告書

貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日現在
（平成 30 年度）

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	68,621,012	72,545,563	-3,924,551
現金	435,482	398,100	37,382
普通預金	68,185,530	72,147,463	-3,961,933
流動資産合計	68,621,012	72,545,563	-3,924,551
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券（指定）	9,148,800,000	8,539,200,000	609,600,000
投資有価証券（一般）	1,013,515,500	945,983,250	67,532,250
計	10,162,315,500	9,485,183,250	677,132,250
基本財産合計	10,162,315,500	9,485,183,250	677,132,250
固定資産合計	10,162,315,500	9,485,183,250	677,132,250
資産合計	10,230,936,512	9,557,728,813	673,207,699
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	953,011	1,613,702	-660,691
預り金	19,329	34,110	-14,781
流動負債合計	972,340	1,647,812	-675,472
負債合計	972,340	1,647,812	-675,472
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	9,148,800,000	8,539,200,000	609,600,000
（うち基本財産への充当額）	(9,148,800,000)	(8,539,200,000)	609,600,000
（うち特定財産への充当額）	( )	( )	( )
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,081,164,172	1,016,881,001	64,283,171
（うち基本財産への充当額）	(1,013,515,500)	(945,983,250)	67,532,250
（うち特定財産への充当額）	( )	( )	( )
正味財産合計	10,229,964,172	9,556,081,001	673,883,171
負債及び正味財産合計	10,230,936,512	9,557,728,813	673,207,699

平成 30 年度正味財産増減計算書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	99,526,000	96,549,300	2,976,700
基本財産株式配当	99,526,000	96,549,300	2,976,700
受取会費	100,778,500	99,541,500	1,237,000
賛助会費収入	100,778,500	99,541,500	1,237,000
受取寄付金	64,236,492	62,956,840	1,279,652
寄付金収入	64,236,492	62,956,840	1,279,652
指定寄付金収入	0	0	0
雑収益	5,779	50,858	△ 45,079
雑収入	5,779	50,858	△ 45,079
経常収益計	264,546,771	259,098,498	5,448,273
（2）経常費用			
事業費	255,843,723	218,735,517	37,108,206
給料手当	12,737,745	12,287,009	450,736
旅費交通費	11,898,574	10,598,756	1,299,818
通信運搬費	30,593,762	23,386,437	7,207,325
備品消耗品費	427,019	81,294	345,725
図書印刷費	4,877,979	8,600,083	△ 3,722,104
事務室維持費	5,446,672	5,369,479	77,193
会議費	1,797,234	916,428	880,806
支払手数料	350,852	234,468	116,384
雑費	769,933	56,711	713,222
奨学金支給	23,700,000	24,000,000	△ 300,000
助成金支給	79,426,640	61,931,808	17,494,832
震災支援費	8,973,200	0	8,973,200
会場費	13,950,309	9,086,662	4,863,647
運営費	3,932,636	3,716,391	216,245
講師諸費	3,367,454	3,314,248	53,206
ビデオ・パンフ作成費	9,721,759	8,546,934	1,174,825
システム費用	5,678,365	4,410,685	1,267,680
就労支援費	4,560,000	4,480,000	80,000
委託費	18,466,683	10,052,210	8,414,473
ホームページ運営費	1,570,320	939,600	630,720
贈呈費	12,296,587	25,426,314	△ 13,129,727
共済分担金	1,300,000	1,300,000	0

科　　目	当年度	前年度	増　減
管理費	11,952,127	12,509,817	△ 557,690
給料手当	2,478,135	2,614,468	△ 136,333
福利厚生費	227,985	261,856	△ 33,871
会議費	1,147,704	966,421	181,283
旅費交通費	447,283	1,073,808	△ 626,525
通信運搬費	2,352,127	1,720,496	631,631
消耗什器備品費	178,975	237,536	△ 58,561
図書印刷費	2,964,351	3,024,687	△ 60,336
事務室維持費	993,122	1,195,607	△ 202,485
事務機器賃借料	501,630	526,822	△ 25,192
賦課金	72,000	230,000	△ 158,000
支払手数料	179,968	127,821	52,147
支払利息	0	76,482	△ 76,482
雑費	408,847	453,813	△ 44,966
経常費用計	267,795,850	231,245,334	36,550,516
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,249,079	27,853,164	△ 31,102,243
基本財産評価損益等	67,532,250	119,112,000	△ 51,579,750
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	374,500	△ 374,500
評価損益等計	67,532,250	119,486,500	△ 51,954,250
当期経常増減額	64,283,171	147,339,664	△ 83,056,493
２．経常外増減の部			
（１）経常外収益			
前期経費振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
（２）経常外費用			
有価証券償還差損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	64,283,171	147,339,664	△ 83,056,493
一般正味財産期首残高	1,016,881,001	869,541,337	147,339,664
一般正味財産期末残高	1,081,164,172	1,016,881,001	64,283,171
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	609,600,000	1,075,200,000	△ 465,600,000
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	609,600,000	1,075,200,000	△ 465,600,000
当期指定正味財産増減額	609,600,000	1,075,200,000	△ 465,600,000
指定正味財産期首残高	8,539,200,000	7,464,000,000	1,075,200,000
指定正味財産期末残高	9,148,800,000	8,539,200,000	609,600,000
Ⅲ　正味財産期末残高	10,229,964,172	9,556,081,001	673,883,171

〈参考資料〉

正味財産増減計算書 内訳表

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公１ 助成事業	公２ 研修・育成	公３ 表彰事業	公４ 広報啓発等	公５ 震災助成	共通	小計		
Ⅰ　一般正味財産増減の部									
1．経常増減の部									
（1）経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	79,620,800	79,620,800	19,905,200	99,526,000
基本財産株式配当	0	0	0	0	0	79,620,800	79,620,800	19,905,200	99,526,000
基本財産債券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	80,622,800	80,622,800	20,155,700	100,778,500
賛助会費収入	0	0	0	0	0	80,622,800	80,622,800	20,155,700	100,778,500
受取寄付金	0	0	0	0	0	51,389,194	51,389,194	12,847,298	64,236,492
寄付金収入	0	0	0	0	0	51,389,194	51,389,194	12,847,298	64,236,492
指定寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	5,779	5,779
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	5,779	5,779
経常収益計	0	0	0	0	0	211,632,794	211,632,794	52,913,977	264,546,771
（2）経常費用									
事業費	108,968,917	59,459,879	11,100,358	61,893,185	8,974,712	5,446,672	255,843,723		255,843,723
給料手当	2,968,445	6,181,211	1,942,963	1,645,126	0	0	12,737,745		12,737,745
旅費交通費	749,635	6,180,938	1,784,142	3,183,859	0	0	11,898,574		11,898,574
通信運搬費	351,628	1,615,763	15,852	28,610,519	0	0	30,593,762		30,593,762
備品消耗品費	110,907	26,242	109,837	180,033	0	0	427,019		427,019
図書印刷費	27,216	143,600	648,000	4,059,163	0	0	4,877,979		4,877,979
事務室維持費	0	0	0	0	0	5,446,672	5,446,672		5,446,672
会議費	425,050	868,208	385,575	118,401	0	0	1,797,234		1,797,234
支払手数料	162,236	67,280	3,132	116,692	1,512	0	350,852		350,852
雑費	3,000	4,802	505,440	256,691	0	0	769,933		769,933
奨学金支給	23,700,000	0	0	0	0	0	23,700,000		23,700,000
助成金支給	79,426,640	0	0	0	0	0	79,426,640		79,426,640
震災支援費	0	0	0	0	8,973,200	0	8,973,200		8,973,200
会場費	4,000	11,824,843	1,865,870	255,596	0	0	13,950,309		13,950,309
運営費	271,568	3,661,068	0	0	0	0	3,932,636		3,932,636
講師諸費	0	3,095,365	10,023	262,066	0	0	3,367,454		3,367,454
ビデオ / パンフ作成費	689,220	8,509,015	505,524	18,000	0	0	9,721,759		9,721,759
システム費用	68,572	5,132,433	0	477,360	0	0	5,678,365		5,678,365
就労支援費	0	4,560,000	0	0	0	0	4,560,000		4,560,000
委託費	0	3,431,255	324,000	14,711,428	0	0	18,466,683		18,466,683
ホームページ運営費	10,800	587,520	0	972,000	0	0	1,570,320		1,570,320
贈呈費	0	3,570,336	3,000,000	5,726,251	0	0	12,296,587		12,296,587
共済分担金	0	0	0	1,300,000	0	0	1,300,000		1,300,000
管理費								11,952,127	11,952,127
給料手当								2,478,135	2,478,135
福利厚生費								227,985	227,985
会議費								1,147,704	1,147,704
旅費交通費								447,283	447,283
通信運搬費								2,352,127	2,352,127
賦課金								72,000	72,000
消耗什器備品費								178,975	178,975
図書印刷費								2,964,351	2,964,351
事務室維持費								993,122	993,122
事務機器賃借料								501,630	501,630
支払手数料								179,968	179,968
雑費								408,847	408,847
経常費用計	108,968,917	59,459,879	11,100,358	61,893,185	8,974,712	5,446,672	255,843,723	11,952,127	267,795,850

科　　目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公１ 助成事業	公２ 研修・育成	公３ 表彰事業	公４ 広報啓発等	公５ 震災助成	共通	小計		
評価損益等調整前当期経常増減額	△108,968,917	△59,459,879	△11,100,358	△61,893,185	△8,974,712	206,186,122	△44,210,929	40,961,850	△3,249,079
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	67,532,250	67,532,250	0	67,532,250
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	67,532,250	67,532,250	0	67,532,250
当期経常増減額	△108,968,917	△59,459,879	△11,100,358	△61,893,185	△8,974,712	273,718,372	23,321,321	40,961,850	64,283,171
2．経常外増減の部									
（1）経常外収益									
前期経費振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△108,968,917	△59,459,879	△11,100,358	△61,893,185	△8,974,712	273,718,372	23,321,321	40,961,850	64,283,171
一般正味財産期首残高	△446,069,703	△250,248,699	△41,196,931	△196,551,367	△7,152,988	1,874,185,456	932,965,768	83,915,233	1,016,881,001
一般正味財産期末残高	△555,038,620	△309,708,578	△52,297,289	△258,444,552	△16,127,700	2,147,903,828	956,287,089	124,877,083	1,081,164,172
Ⅱ　指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	609,600,000	609,600,000	0	609,600,000
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	609,600,000	609,600,000	0	609,600,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	609,600,000	609,600,000	0	609,600,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	8,539,200,000	8,539,200,000	0	8,539,200,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	9,148,800,000	9,148,800,000	0	9,148,800,000
Ⅲ　正味財産期末残高	△555,038,620	△309,708,578	△52,297,289	△258,444,552	△16,127,700	11,296,703,828	10,105,087,089	124,877,083	10,229,964,172

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

（1）計算書類は公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日、改正平成 21 年 10 月 16 日　内閣府公益認定等委員会）を適用している。

（2）有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券……償却原価法（定額法）

その他の有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法

時価のないもの……移動平均法による原価法

（3）固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法

（4）消費税の会計処理

税込み方式

2．会計方針の変更　該当なし

3．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（指定）	8,539,200,000	609,600,000	0	9,148,800,000
投資有価証券（一般）	945,983,250	67,532,250	0	1,013,515,500
小　　計	9,485,183,250	677,132,250	0	10,162,315,500
特定資産	－	－	－	－
小　　計	－	－	－	－
合　　計	9,485,183,250	677,132,250	0	10,162,315,500

4．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
投資有価証券（指定）	9,148,800,000	9,148,800,000	0	0
投資有価証券（一般）	1,013,515,500	0	1,013,515,500	0
小　　計	10,162,315,500	9,148,800,000	1,013,515,500	0
特定資産	－	－	－	－
小　　計	－	－	－	－
合　　計	10,162,315,500	9,148,800,000	1,013,515,500	0

5．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし　　重要性が希薄なため経費処理

6．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

7．担保に供している資産　　**該当なし**

8．保証債務等の偶発債務　　**該当なし**

9．関連当事者との取引の内容　　**該当なし**

10．重要な後発事象　　**該当なし**

財　産　目　録

平成 31 年 3 月 31 日　現在

（平成 30 年度）

（単位：円）

科　　目	金　　額	使用目的等
Ⅰ 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	68,621,012	
現金	435,482	運転資金
普通預金	68,185,530	
みずほ銀行銀座中央支店 1	18,185,530	運転資金
みずほ銀行銀座中央支店 2	50,000,000	運転資金
流 動 資 産 合 計	68,621,012	
2 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券　3,554,500 株	10,162,315,500	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社（株式）		うち 80％を公益保有財産として運用
株数　取得価額		益を公益目的事業に使用し、20％を
3,200,000 株　5,568,000,000 円	9,148,800,000	管理業務のための財産として運用益
354,500 株　776,195,475 円	1,013,515,500	を法人会計に使用している。
固 定 資 産 合 計	10,162,315,500	
資　産　合　計	10,230,936,512	
Ⅱ 負債の部		
1 流動負債		
未払金	953,011	3 月経費等未払分
預り金	19,329	謝礼金に対する源泉所得税
流 動 負 債 合 計	972,340	
負　債　合　計	972,340	
正　味　財　産	10,229,964,172	

附　属　明　細　書

１．基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

２．引当金の明細　　該当なし

以　上

令和元年５月

公益財団法人ヤマト福祉財団

平成 30 年度事業報告　附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年５月
公益財団法人ヤマト福祉財団

〈参考資料〉

平成 30 年度収支決算書

（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

（単位：円）

科　　目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
Ⅰ　事業活動収支の部					
1．事業活動収入					
（1）基本財産運用収入	76,800,000	19,200,000	96,000,000	99,526,000	-3,526,000
①基本財産株式配当	76,800,000	19,200,000	96,000,000	99,526,000	-3,526,000
（2）寄付金収入	44,800,000	11,200,000	56,000,000	64,236,492	-8,236,492
①運用財産	44,800,000	11,200,000	56,000,000	64,236,492	-8,236,492
②基本財産指定・(繰入増加)	0	0	0	0	0
（3）賛助会費収入	72,960,000	18,240,000	91,200,000	100,778,500	-9,578,500
（4）雑収入	0	0	0	5,779	-5,779
事　業　活　動　収　入　計	194,560,000	48,640,000	243,200,000	264,546,771	-21,346,771
2．事業活動支出					
事業費支出	231,300,000	－	231,300,000	255,843,723	-24,543,723
（公 1）助成事業	107,000,000	－	107,000,000	108,968,917	-1,968,917
①奨学金支給	24,000,000	－	24,000,000	23,700,000	300,000
②助成金	80,000,000	－	80,000,000	79,426,640	573,360
ⅰ福祉助成金	10,000,000	－	10,000,000	8,368,416	1,631,584
ⅱ給料増額支援助成金	70,000,000	－	70,000,000	71,058,224	-1,058,224
③諸経費	3,000,000	－	3,000,000	5,842,277	-2,842,277
（公 2）研修・育成事業	53,000,000	－	53,000,000	59,459,879	-6,459,879
①セミナー事業	23,000,000	－	23,000,000	28,276,372	-5,276,372
ⅰ会場費	5,000,000	－	5,000,000	5,712,334	-712,334
ⅱ運営費	8,500,000	－	8,500,000	9,897,229	-1,397,229
ⅲビデオ作成費	2,500,000	－	2,500,000	3,377,700	-877,700
ⅳ諸経費	7,000,000	－	7,000,000	9,289,109	-2,289,109
②雇用促進事業	7,000,000	－	7,000,000	7,253,006	-253,006
ⅰシステム費	500,000	－	500,000	609,120	-109,120
ⅱ就労支援費	4,500,000	－	4,500,000	4,560,000	-60,000
ⅲ諸経費	2,000,000	－	2,000,000	2,083,886	-83,886
③育成プロジェクト	23,000,000	－	23,000,000	23,930,501	-930,501
ⅰ会場費	3,000,000	－	3,000,000	716,704	2,283,296
ⅱ講師諸費	1,000,000	－	1,000,000	1,244,244	-244,244
ⅲ事業改革モデル化資金	3,000,000	－	3,000,000	2,802,060	197,940
ⅳ管理会計ソフト運用費	3,000,000	－	3,000,000	5,132,433	-2,132,433
ⅴ諸経費	3,000,000	－	3,000,000	3,160,008	-160,008
ⅵ水稲自然栽培検証プロジェクト	10,000,000	－	10,000,000	10,875,052	-875,052
（公 3）表彰事業	9,000,000	－	9,000,000	11,100,358	-2,100,358
①贈呈費	3,000,000	－	3,000,000	3,000,000	0
②会場費	2,000,000	－	2,000,000	1,865,870	134,130
③経費	4,000,000	－	4,000,000	6,234,488	-2,234,488

科　　目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
（公４）広報・啓発等事業	57,300,000	－	57,300,000	61,893,185	-4,593,185
①広報事業	44,000,000	－	44,000,000	44,992,437	-992,437
ⅰホームページ運営費	2,000,000	－	2,000,000	972,000	1,028,000
ⅱ委託費	10,000,000	－	10,000,000	10,489,056	-489,056
ⅲ諸経費	32,000,000	－	32,000,000	33,531,381	-1,531,381
②啓発事業	700,000	－	700,000	928,353	-228,353
ⅰ会場費	400,000	－	400,000	255,596	144,404
ⅱ運営費	100,000	－	100,000	159,082	-59,082
ⅲ諸経費	200,000	－	200,000	513,675	-313,675
③その他事業	12,600,000	－	12,600,000	15,972,395	-3,372,395
ⅰ全Ａネット調査費用	2,600,000	－	2,600,000	2,600,000	0
ⅱＪＤＦほか	1,000,000	－	1,000,000	1,000,000	0
ⅲきょうされん	0	－	0	3,300,000	-3,300,000
ⅳネパール小児白内障治療ＰＪ	3,000,000	－	3,000,000	9,072,395	-6,072,395
ⅴパラリンピック関連	3,000,000	－	3,000,000	0	3,000,000
ⅵその他	3,000,000	－	3,000,000	0	3,000,000
（公５）復興・再生支援事業	0	－	0	8,974,712	-8,974,712
①震災支援費	0	－	0	8,973,200	-8,973,200
②諸経費	0	－	0	1,512	-1,512
共通	5,000,000	－	5,000,000	5,446,672	-446,672
①諸経費	5,000,000	－	5,000,000	5,446,672	-446,672
管理費支出	－	11,900,000	11,900,000	11,952,127	-52,127
①人件費	－	2,000,000	2,000,000	2,478,135	-478,135
②福利厚生費	－	250,000	250,000	227,985	22,015
③旅費	－	1,300,000	1,300,000	447,283	852,717
④通信運搬費	－	1,500,000	1,500,000	2,352,127	-852,127
⑤備品消耗品費	－	300,000	300,000	178,975	121,025
⑥図書印刷費	－	3,500,000	3,500,000	2,964,351	535,649
⑦事務室維持費	－	1,000,000	1,000,000	993,122	6,878
⑧事務機器賃借料	－	400,000	400,000	501,630	-101,630
⑨会議費	－	900,000	900,000	1,147,704	-247,704
⑩賦課金	－	200,000	200,000	72,000	128,000
⑪支払手数料	－	100,000	100,000	179,968	-79,968
⑫雑費	－	450,000	450,000	408,847	41,153
事　業　活　動　支　出　計	231,300,000	11,900,000	243,200,000	267,795,850	-24,595,850
Ⅰ　事業活動収支の部	-36,740,000	36,740,000	0	-3,249,079	3,249,079
Ⅱ　投資活動収支の部	0	0	0	0	0
Ⅲ　財務活動収支の部	0	0	0	0	0
Ⅳ　予備費支出	0	0	0	0	0
当期収支差額	-36,740,000	36,740,000	0	-3,249,079	3,249,079

監査報告書

公益財団法人ヤマト福祉財団
理事長　瀬戸 薫　殿

平成 31 年 4 月 25 日

監事　神保 清一　印

監事　新里 智弘　印

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告致します。

1　監査の方法及びその内容

理事及び職員と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2　監査意見

(1)事業報告等の監査結果

一　事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

３．平成 30 年度寄付金寄贈者名簿
賛助会員数一覧
４．役員名簿

寄付金寄贈者名簿

（敬称略：順不同）

寄付者名	寄付者名	寄付者名
都　築　幹　彦	田　宮　真　智　子	町　田　　武
ヤマトホールディングス㈱	㈱　ポ　ピ　ン　ズ	（社福）すずらんの会
広島ケナフの会	㈱プランニングハウスＨＡＲＡ	

夏季カンパ

寄　付　者　名
ヤマトグループ企業労働組合連合会

賛助会員数一覧

平成 31 年 3 月 31 日現在

会社名	会員数
ヤマトホールディングス株式会社	176
ヤマト運輸株式会社	60,052
沖縄ヤマト運輸株式会社	272
ヤマトグローバルエキスプレス株式会社	969
エキスプレスネットワーク株式会社	8
ヤマトダイアログ＆メディア株式会社	13
ヤマトコンタクトサービス株式会社	222
ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社	715
ヤマトロジスティクス株式会社	957
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン	670
ヤマトパッキングサービス株式会社	59
ヤマト包装技術研究所株式会社	30
湖南工業株式会社	286
ヤマトホームコンビニエンス株式会社	1,313
ヤマトシステム開発株式会社	1,584
ヤマトWebソリューションズ株式会社	10

会社名	会員数
ヤマトフィナンシャル株式会社	285
ヤマトリース株式会社	89
ヤマトクレジットファイナンス株式会社	86
ヤマトオートワークス株式会社	1,434
ヤマトオートワークス北信越株式会社	10
ヤマトオートワークス岩手株式会社	22
ヤマトオートワークス沖縄株式会社	1
ボックスチャーター株式会社	23
ヤマトボックスチャーター株式会社	1,173
ヤマトマネージメントサービス株式会社	135
ヤマトマルチチャーター株式会社	370
神戸ヤマト運輸株式会社	40
株式会社スワン	10
ヤマトグループ健康保険組合	23
ヤマト運輸労働組合	43
合　　計	71,080

役　員　名　簿

理事

令和元年６月 18 日現在

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	理事長	山内　雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長
2	理事	渡辺　　修	元環境事務次官
3	同	町田　　武	元三郷市教育委員会　教育委員長
4	同	西堀　　利	みずほフィナンシャルグループ　名誉顧問
5	同	藤掛　稔子	
6	同	森下　明利	ヤマト運輸労働組合　中央執行委員長
7	同	日浦美智江	社会福祉法人訪問の家　顧問
8	同	柴崎　憲二	元ヤマト運輸株式会社　監査役
9	同	早川　雅人	ヤマト福祉財団常務理事

監事

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	監事	神保　清一	元ヤマト運輸株式会社代表取締役専務執行役員
2	同	新里　智弘	公認会計士

評議員

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	評議員	今野　由梨	ダイヤル・サービス株式会社　代表取締役社長
2	同	藤井　克徳	きょうされん　専務理事
3	同	内田　五郎	元ヤマトシステム開発株式会社　代表取締役社長
4	同	吉井　　毅	元新日本製鉄（現日本製鉄）株式会社　代表取締役副社長
5	同	上杉　郷一	ヤマト運輸労働組合　副中央執行委員長
6	同	川田　　博	元ヤマトホールディングス株式会社　監査役
7	同	上林　孝典	元伊藤忠商事取締役副社長
8	同	玉川　雅浩	元ヤマトシステム開発株式会社　代表取締役常務執行役員

福祉助成金選考委員　　令和元年６月 18 日現在

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	選考委員	朝日　雅也	埼玉県立大学　保健医療福祉学部　社会福祉学科　教授
2	同	上杉　郷一	ヤマト運輸労働組合　副中央執行委員長
3	同	柴崎　憲二	元ヤマト運輸株式会社　監査役
4	同	大谷　友樹	ヤマトホールディングス株式会社　常務執行役員
5	同	山内　雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員　　令和元年６月 18 日現在

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	選考委員	藤井　克徳	きょうされん　専務理事
2	同	渡辺　　修	元環境事務次官
3	同	今野　由梨	ダイヤル・サービス株式会社　代表取締役社長
4	同	森下　明利	ヤマト運輸労働組合　中央執行委員長
5	同	山内　雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長

５．２０１９年度事業計画書
同　　収支予算書
資金調達及び設備投資の見込みについて

2019年度　事業計画書

（自・2019年４月１日～至・2020年３月31日）

はじめに

障がい者の就労は、障がい者施設の増加や障がい者雇用の高まりを背景に一般にも広く認知されるようになりました。ヤマト福祉財団も寄付者の期待に応えて、障がい者の経済的な自立の実現をめざし、本年も引き続きパワーアップフォーラムの開催、実践塾の実施、給料増額助成金の贈呈により、多くの人たちが行動を起すよう推進します。また、奨学金など重度障がい者に対する助成活動を引き続き行い、社会参加につながるようにいたします。

昨年は西日本豪雨災害、胆振東部地震と大きな災害が発生し、障がい者施設にも被害が発生しています。そして、障がい者の防災についても社会的に課題を残しました。これらの被害や課題の解決のための助成活動について現事業を見直して取り組むこととといたします。

ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者によるネパールでの小児眼科医療については、前年度に実施したスクリーニング調査の結果に基づいて医療活動の支援を実施します。

（公１）助成事業　　（１１２,０００千円）

（１）奨学金　　（２４,０００千円）

40名の障がいのある大学生に対して奨学金を給付します。

（２）助成金　　（８５,０００千円）

・給料増額支援助成金

障がい者の給料増額につながる設備・備品購入として、障がい者施設を対象に助成します。

（７５,０００千円）

・障がい者福祉助成金

障がい者の福祉に資する活動（講演会・研修・文化・スポーツ等）について、障がい者団体を対象に助成します。

（１０,０００千円）

（３）諸経費（調査費・贈呈式他費用）　　（３,０００千円）

（公２）研修・育成事業　　（６２,７００千円）

（１）セミナー事業　　（２８,０００千円）

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」を福岡、東京、大阪の3箇所で開催します。また、沖縄県限定とした地域密着型パワーアップフォーラムを開催します。沖縄県については、地元実行委員を募り４つの分科会で活動しフォーラムで活動報告いたします。

（２）雇用促進事業　　（７,０００千円）

ＤＭ便配達施設の事例報告やヤマト自立センターの支援など、障がい者就労の拡大を図ります。

（３）育成プロジェクト　　（２７,７００千円）

より高い工賃を達成することに特に強い意欲のある施設職員を集め、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者による実践塾を開講します。開講にあたっては、塾の成果を報告する「ステップアップセミナー」を開催し、実践塾参加へ促します。

また、修了した塾生に対してフォローアップ研修を行って実践継続を促し、先行的・先駆的な取り組みを支援しモデル化するための資金を塾参加施設の申請に応じて提供します。

休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動も支援します。

実践塾費用	（３，０００千円）
事業改革モデル化資金	（６，０００千円）
管理会計システム運用・改善費	（３，０００千円）
諸経費（交通費等）	（４，７００千円）
「自然栽培パーティ」プロジェクト	（１０，０００千円）

（公３）表彰事業　（１０，０００千円）

（１）ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈　（１０，０００千円）

障がい者就労施設や一般企業等にあって、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を贈呈します。

（公４）広報・啓発等事業　（５６，８００千円）

（１）広報事業　（４６，０００千円）

財団ニュースを年４回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、インターネット等を通じて広く一般に啓発広報を行ないます。

（２）啓発事業　（８００千円）

障がい者本人によるクロネコＤＭ便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。

（３）その他事業　（１０，０００千円）

・全Ａネットによる好事例集・良質なＡ型事業所認定事業　（３，０００千円）

これまで、全国の就労継続Ａ型事業所を対象とした実態調査を実施し実情を明らかにし、この結果をもとに､全Ａネットが行う好事例集の作成や良質なＡ型事業所認定制度事業の立ち上げを支援しました。本年は、フォーラムを愛知県名古屋市で開催し、好事例に選ばれた事業所による事例発表を行います。また、全国のA型事業所の健全な発展につながるよう、全Aネットが主催する職員研修を支援します。

・日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業　（１，０００千円）

「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するＮＧＯパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートします。

・ネパール小児白内障眼科医療に対する協力事業　（３，０００千円）

第17回ヤマト福祉財団小倉昌男賞を受賞した竹内昌彦氏が立ち上げた基金と共同で立ち上げたネパールで貧困のため治療を諦めている小児白内障患者の医療事業について、小学校２校において眼科検診による要治療者スクリーニングを実施しました。本年度は、このスクリーニング結果に基づいて治療支援を行います。また、ネパール西部地区の小学校女性教員のネットワークを通じて、要治療者の情報を集める体制を整えます。

・パラリンピック開催への協力　（３，０００千円）

パラリンピックの準備期間として選手に障がい者が生産した農産物を食材として提供し、地方の障がい者もパラリンピックに協力できるようにします。

（公５）復興・再生支援事業　（１０，０００千円）

被災した障がい者就労施設の再生支援を行います。また、障がい者の防災についての調査と支援を行います。

以上

2019 年度収支予算書

（2019 年 4 月 1 日 ~2020 年 3 月 31 日）

（単位 : 千円）

科　　目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
Ⅰ　事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
（1）基本財産運用収入	79,600	19,900	99,500	96,000
①基本財産株式配当	79,600	19,900	99,500	96,000
（2）寄付金収入	51,200	12,800	64,000	56,000
①運用財産	51,200	12,800	64,000	56,000
②基本財産指定・(繰入増加)	0	0	0	0
（3）賛助会費収入	83,200	20,800	104,000	91,200
（4）雑収入	0	0	0	0
①受取利息	0	0	0	0
②雑収入	0	0	0	0
事　業　活　動　収　入　計	214,000	53,500	267,500	243,200
2．事業活動支出				
事業費支出	256,500	—	256,500	231,300
（公 1）助成事業	112,000	—	112,000	107,000
①奨学金支給	24,000	—	24,000	24,000
②助成金	85,000	—	85,000	80,000
ⅰ福祉助成金	10,000	—	10,000	10,000
ⅱ給料増額支援助成金	75,000	—	75,000	70,000
③諸経費	3,000	—	3,000	3,000
（公 2）研修・育成事業	62,700	—	62,700	53,000
①セミナー事業	28,000	—	28,000	23,000
ⅰ会場費	6,000	—	6,000	5,000
ⅱ運営費	10,000	—	10,000	8,500
ⅲビデオ作成費	2,500	—	2,500	2,500
ⅳ諸経費	9,500	—	9,500	7,000
②雇用促進事業	7,000	—	7,000	7,000
ⅰシステム費	500	—	500	500
ⅱ就労支援費	4,500	—	4,500	4,500
ⅲ諸経費	2,000	—	2,000	2,000
③育成プロジェクト	27,700	—	27,700	23,000
ⅰ会場費	3,000	—	3,000	3,000
ⅱ講師諸費	1,000	—	1,000	1,000
ⅲ事業改革モデル化資金	6,000	—	6,000	3,000
ⅳ管理会計ソフト運用費	3,000	—	3,000	3,000
ⅴ諸経費	4,700	—	4,700	3,000
ⅵ自然栽培パーティプロジェクト	10,000	—	10,000	10,000
（公 3）表彰事業	10,000	—	10,000	9,000
①贈呈費	3,000	—	3,000	3,000
②会場費	2,000	—	2,000	2,000
③経費	5,000	—	5,000	4,000

（単位：千円）

科　　目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
（公４）広報・啓発等事業	56,800	－	56,800	57,300
①広報事業	46,000	－	46,000	44,000
ⅰホームページ運営費	2,000	－	2,000	2,000
ⅱ委託費	10,000	－	10,000	10,000
ⅲ諸経費	34,000	－	34,000	32,000
②啓発事業	800	－	800	700
ⅰ会場費	400	－	400	400
ⅱ運営費	200	－	200	100
ⅲ共催・講演費	0	－	0	0
ⅳ経費	200	－	200	200
③その他事業	10,000	－	10,000	12,600
ⅰきょうされんアーカイブ	0	－	0	0
ⅱ全Ａネット調査費等	3,000	－	3,000	2,600
ⅲパラリンピック関連	3,000	－	3,000	3,000
ⅳＪＤＦほか	1,000	－	1,000	1,000
ⅴネパール小児白内障治療ＰＪ	3,000	－	3,000	3,000
ⅵその他	0	－	0	3,000
（公５）復興・再生支援事業	10,000	－	10,000	0
①震災支援費	9,000	－	9,000	0
②諸経費	1,000	－	1,000	0
共通	5,000	－	5,000	5,000
①諸経費	5,000	－	5,000	5,000
管理費支出	－	11,000	11,000	11,900
①人件費	－	2,000	2,000	2,000
②福利厚生費	－	250	250	250
③旅費	－	1,000	1,000	1,300
④通信運搬費	－	1,500	1,500	1,500
⑤備品消耗品費	－	300	300	300
⑥図書印刷費	－	3,000	3,000	3,500
⑦事務室維持費	－	1,000	1,000	1,000
⑧事務機器賃借料	－	400	400	400
⑨会議費	－	800	800	900
⑩賦課金	－	200	200	200
⑪支払手数料	－	100	100	100
⑫支払利息	－	0	0	0
⑬雑費	－	450	450	450
⑭予備費	－	0	0	0
事　業　活　動　支　出　計	256,500	11,000	267,500	243,200
Ⅰ　事業活動収支の部	-42,500	42,500	0	0
Ⅱ　投資活動収支の部	0	0	0	0
Ⅲ　財務活動収支の部	0	0	0	0
Ⅳ　予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	-42,500	42,500	0	0

※やむを得ぬ場合は、理事長は科目間の流用を行うことができる。

資金調達及び設備投資の見込みについて

（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

（1）資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

（2）設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

以上